

平成30年度 年報

第29号



原三信

救急指定 医療法人 **原三信病院**

日本医療機能評価機構認定病院

創立139年

原三信病院年報 第 29 号

平成 30 年度（平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月）

▶ 目次 ◀

1. 巻頭言	1
--------	---

2. 病院概要	2
---------	---

3. 診療統計	
1. 患者統計	7
2. 診療科別患者統計	10
3. 病棟別入院患者統計	12
4. 紹介・逆紹介統計	14
5. 科別手術統計	17
6. 健康管理センター統計	17
7. 救急統計	18
8. 患者構成	23
9. 診療実績	27
10. 診療技術部統計	32

4. 学術発表	
1. 論文・著書	37
2. 学会	38
3. 講演・司会・座長	47

5. 一年の流れ	55
----------	----

6. 組織紹介	
1. 組織図	57
2. 職員配置	58
3. 管理職名簿	59

7. 医学総会	61
---------	----

8. 院内活動	
1. 診療部	65
2. 看護部	96
3. 診療技術部	102
4. 事務部	103

9. 委員会活動報告	106
------------	-----

10. 院外研修生受入状況	119
---------------	-----

11. 香椎原病院	121
-----------	-----

編集後記	122
------	-----

2019年5月1日に新しい天皇が即位され、元号も「令和」に変わりました。平成の時代はバブル崩壊後の経済的には沈滞した時期が続きましたが、別の観点で見ると日本では戦争のない平和な時代でした。令和の世はぜひ平和で安寧をもたらすとともに、明るく希望に満ちた時代になって欲しいと思います。

平成30年度は記憶も薄れがちですが、「7月豪雨」という九州、中国、四国、関西にまたがる豪雨による災害が発生し、200名を超える死者が出ました。また、夏の台風21号での関西空港の渇水を起こした高潮の被害は強く印象に残っています。そして、9月には北海道に全停電をもたらした「北海道胆振東部地震」などやはり災害続きの一年でした。日本列島はどうしても大雨、台風、地震といった自然災害からは逃れられないようです。

さて、医療に目を転じると、新専門医制度が4月からスタートしました。いろいろ問題を抱えての船出です。個人的には専門医の育成も大事ですが地域での総合医に当たる医師の育成も考えて欲しいと思います。また、「医師の働き方改革」も議論されるようになりました。2019年中には一応の見解がまとまり、2024年から発行する予定です。病院で働く医師の一人ひとりが健康で最高の仕事が出来、病院も健全な経営が出来、病人に良質な医療が安定して提供出来る、そのような制度になることを期待しています。

遅くなりましたが、原三信病院の2018年度の年報がまとまりましたのでお届けいたします。2018年は原三信病院ではソフトを充実させることに専念した1年でした。最後になりますが、この場を借りて日頃ご厚情を賜っている院外各位に心から感謝申し上げます。引き続きご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

医療法人 原三信病院
理事長 平 祐二



医療法人 原三信病院
理事長

平 祐二

日本循環器科学会専門医
日本内科学会認定医
医学博士

略 歴

昭和27年 福岡県に生まれる
昭和46年 福岡県立修猷館高校卒業
昭和53年 九州大学医学部卒業
昭和53年 九州大学循環器内科へ入局
昭和60年 九州大学医学部助手
昭和61年 カナダ・マニトバ大学へ心臓生理学研究のため留学
平成2年 医療法人三信会原病院副院長へ就任
平成5年 医療法人原三信病院院長へ就任
平成12年 医療法人原三信病院理事長へ就任

2 病院概要

病床数 359床（一般病棟入院基本料7対1）

実習施設 看護学生実習病院

施設認定 救急指定・開放型病院・臨床研修病院・日本医療機能評価機構（3rdG：V.1.1）

日本人間ドック学会機能評価認定

- 【学会認定】
- ・日本泌尿器科学会専門医教育施設
 - ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
 - ・日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
 - ・日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
 - ・日本消化器内視鏡学会指導施設
 - ・日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設
 - ・非血縁者間骨髓採取、末梢血幹細胞採取、移植認定施設
 - ・マンモグラフィ検診画像認定施設
 - ・日本内分泌、甲状腺外科学会専門医認定施設
 - ・日本カプセル内視鏡学会指導施設
 - ・日本脈管学会認定研修関連施設
 - ・健康保険組合連合会指定
 - ・日本麻酔科学会認定病院
 - ・日本高血圧学会認定施設
 - ・日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設
 - ・日本産科婦人科学会専門研修連携施設
 - ・日本消化管学会胃腸科指導施設
 - ・日本ハイパーサーミア学会認定施設
 - ・日本内科学会教育関連病院
 - ・日本整形外科学会専門医研修施設
 - ・日本透析医学会教育関連施設
 - ・日本乳癌学会認定施設
 - ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
 - ・日本呼吸器学会認定施設
 - ・日本臨床細胞学会認定施設
 - ・日本消化器病学会認定施設
 - ・日本血液学会認定血液研修施設
 - ・日本病院総合診療医学会認定施設
 - ・日本静脈経腸栄養学会認定 NST 稼働施設
 - ・健康保険組合連合会指定日帰り人間ドック実施施設
 - ・日本腎臓学会研修施設
 - ・日本呼吸器内視鏡学会関連認定施設
 - ・日本消化器外科学会専門医修練施設
 - ・浅大腿動脈ステントグラフト実施施設
 - ・非血縁者間造血幹細胞移植認定施設

教育制度 海外研修制度（韓国：東岡病院）

厚生施設 看護師寮、職員保養施設（糸島市志摩岐志）

分院 医療法人 原三信病院 香椎原病院

院長 寺田 憲司

療養型病床／診療科目：内科・循環器内科・リハビリテーション科

病床数：250床

（療養病棟：147床、回復期リハビリテーション病棟：45床、介護医院：58床）

【沿革】

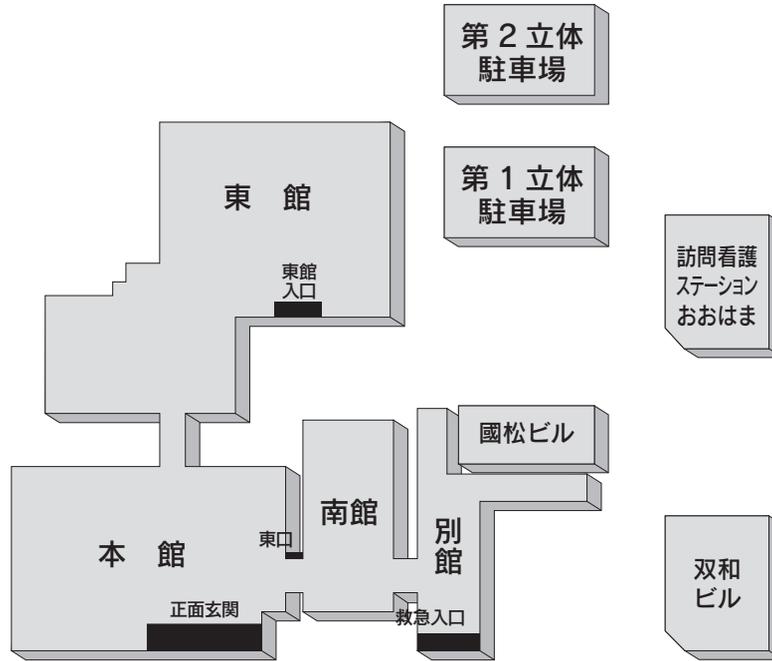
- 沿革 慶長5年 筑前52万石の黒田長政公より黒田藩御殿医として召し抱えられる（1600年）（以来、代々三信を襲名）
- 貞享3年 六代原三信が長崎出島オランダ館に留学（1685年）オランダ医師、アルブルト・コロウヌより蘭方外科医免状を受ける
- 明治12年 十二代原三信、福岡県より外科医術開業免状を受け、現在地に開業
- 明治35年 十三代原三信、九州初の私立病院を設立（病床数30）
- 明治36年 愛宕下に分院設立
- 昭和30年 医療法人三信会原病院設立（病床数69）
- 昭和41年 総合病院許可（病床数166）
- 昭和44年 人工腎臓室新設、病棟増床（病床数300）
- 昭和54年 創立百周年（病床数426）
- 昭和61年 結石破碎センター開設
- オランダ国立ライデン大学より原三信理事長（十五代）へ、ブルーハーフェ・メダル贈呈

- 六代原三信蘭方医三百年記念奨学会設立
- 平成元年 無菌室新設、病床増床（病床数 441）
- 平成2年 海外研修開始（アメリカ、ドイツ）
- 平成3年 循環器病棟開設（病床数 500）
- 平成4年 手術室増設
- 平成5年 病院名を三信会原病院から原三信病院へ変更、院長交代
- 平成6年 海外研修開始（韓国）
- 平成7年 訪問看護ステーション「おおはま」開設
第1回原三信病院医学総会開催
- 平成8年 医療法人 明錬会 香椎原病院と合併
- 平成9年 海外研修開始（ニュージーランド）
- 平成10年 日帰り手術開始（デイサージェリーセンター開設）
不妊センター開設・脳神経外科開設
原三信病院附属呉服町診療所開設
- 平成11年 救急指定取得
- 平成12年 香椎原病院療養型病床群完成（病床数 200）
- 平成13年 開放型病院認可
内視鏡センター開設
検査室ワンフロア化
皮膚科・耳鼻咽喉科・眼科・神経科閉鎖
- 平成14年 総合診療科開設
心臓血管造影センター増設
睡眠呼吸障害センター開設
ME 機器・医材管理室開設
病棟再編成
電子カルテシステム運用開始
- 平成15年 日本医療機能評価機構認定（一般病院B）
前立腺がん治療（HIFU）開始
病棟再編成（病床数 372）
- 平成16年 画像診断システム運用開始・コールセンター開設
品質管理室設置
香椎原病院回復期リハビリテーション病棟開設（病床数 250）
- 平成17年 館内禁煙実施
脳神経内科開設
- 平成18年 外来化学療法室設置
シャトルバス運行開始（原三信病院～香椎原病院）
原三信泌尿器クリニック開設
- 平成19年 病棟再編成（病床数 359）
敷地内禁煙開始・生活習慣病外来開設
病院機能評価 ver.5.0 受審
物忘れ外来・神経泌尿器外来開設
- 平成20年 日本医療機能評価機構更新認定（ver.5.0）
一般病棟入院基本料7対1看護配置基準取得
密封小線源治療開始
健康管理センターホテルドック開始
- 平成21年 創立130周年

- 院内 P H S 電話使用開始
- 腎移植外来開始
- P D 外来・腎不全外来開始
- 平成 22 年 リンパ浮腫外来新設
- 看護部組織及び病棟クラーク所属変更
- 時短正職員制度開始
- 医療安全管理室設置
- 平成 23 年 第 9 回日本ヘルニア学会学術集会（福岡サンパレス・福岡国際会議場）
- クールビズ導入・外来新患受付時間変更
- 平成 24 年 フットケア外来開設
- ハイパーサーミア（温熱療法）外来開設
- 歯科土曜外来開始
- 土曜日ハビリ開始
- 原三信病院～博多港間 送迎バス試験運行開始
- 平成 25 年 日本医療機能評価機構更新認定（ver.6.0）
- 病院敷地内禁煙開始
- 感染管理推進室設置
- 診療支援課設置
- 原三信病院～博多港間 送迎バス正式運行開始
- 人間ドック健診施設機能評価認定
- 歯科電子カルテシステム運用開始
- 平成 26 年 企画情報室 診療情報管理係新設
- セカンドオピニオン外来開始
- 外来患者支援システム運用開始
- 新東館、泌尿器センターオープン
- がん相談支援センター設置
- 平成 27 年 医療連携課運用開始
- 臨床研究事務局運用開始
- 腎臓病センター運用開始
- 平成 28 年 東館（新棟）オープン
- ロボット支援手術（ダヴィンチ）開始
- 呉服町腎クリニック巡回バス運用開始
- 平成 29 年 健康管理センター、内視鏡センター、日帰り手術センターリニューアルオープン
- 病院基本理念等変更
- 平成 30 年 日本医療機能評価機構更新認定：3rdG（ver.1.1）
- 呉服町腎クリニック透析用ベッド数変更（52 床→40 床）
- 原三信病院・香椎原病院 リハビリテーション合同運営開始
- 人間ドック健診施設機能評価更新
- 緩和ケア外来（精神・身体）開始
- タイムレコーダー運用開始

施設概況

敷地面積 6,316㎡
 建物面積 4,720㎡
 延床面積 25,870㎡



病院立面図

東館		本館		南館		別館	
8F	東館8階病棟	8F	リハビリテーション室				
7F	東館7階病棟	7F	歯科 医療安全管理室 感染管理推進室 褥瘡管理室				
6F	東館6階病棟	6F	管理部門				
5F	東館5階病棟	5F	本館5階病棟 日帰り手術センター		本館5階病棟		
4F	東館4階病棟	4F	本館4階病棟 睡眠呼吸障害センター		管理部門		
3F	病理診断科 手術室・中央材料室 心臓・血管造影室	3F	本館3階病棟		糖尿病教室 ME室 臨床研究事務局		管理部門
2F	泌尿器センター・外科・婦人科 外来化学療法室 検査部門・結石破砕室・透視下手術室	2F	健康管理センター 内視鏡センター		管理部門		管理部門
1F	総合案内 MRI室 CT室 ハイパーサーミア室	1F	総合受付・入院受付 内科・整形外科・脳神経科・放射線科 検査科・医療連携課・談話室		薬剤科・売店 がん相談支援センター 医療相談		腎臓病センター 救急外来
B1F	放射線治療室 RI室・密封小線源治療室	B1F	管理部門				

平成31年3月31日現在

3 診療統計

【目次】

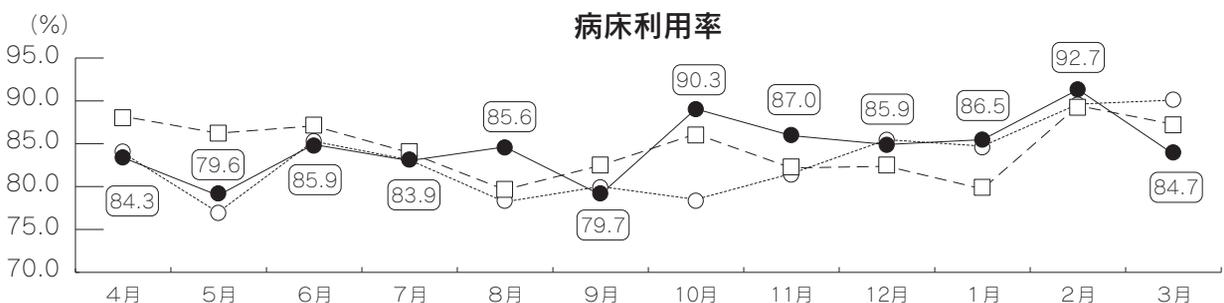
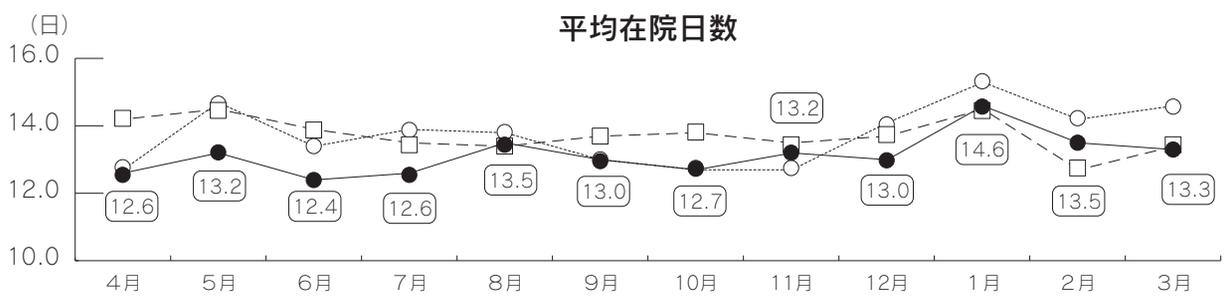
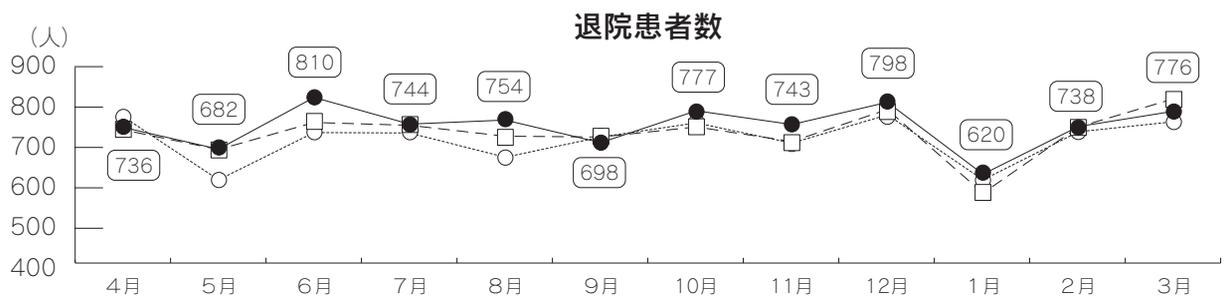
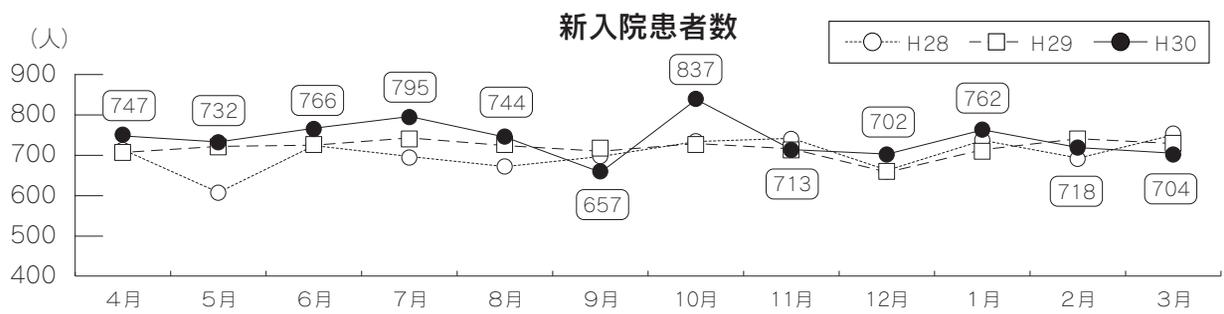
1. 患者統計	7
2. 診療科別患者統計	10
3. 病棟別入院患者統計	12
4. 紹介・逆紹介統計	14
5. 科別手術統計	17
6. 健康管理センター統計	17
7. 救急統計	18
8. 患者構成	23
9. 診療実績	27
10. 診療技術部統計	32

1. 患者統計

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
入院延べ患者数 (人)	110,350	111,994	111,979
新入院患者数 (人)	8,420	8,606	8,877
外来延べ患者数 (人)	181,143	180,405	176,239
初診患者数 (人)	23,671	23,770	23,354
健康診断者数 (人)	12,845	13,363	14,052
平均在院日数 (日)	13.8	13.7	13.1
平均通院日数 (日)	7.7	7.6	7.5
病床利用率 (%)	84.2	85.5	85.5

月別患者数（入院）

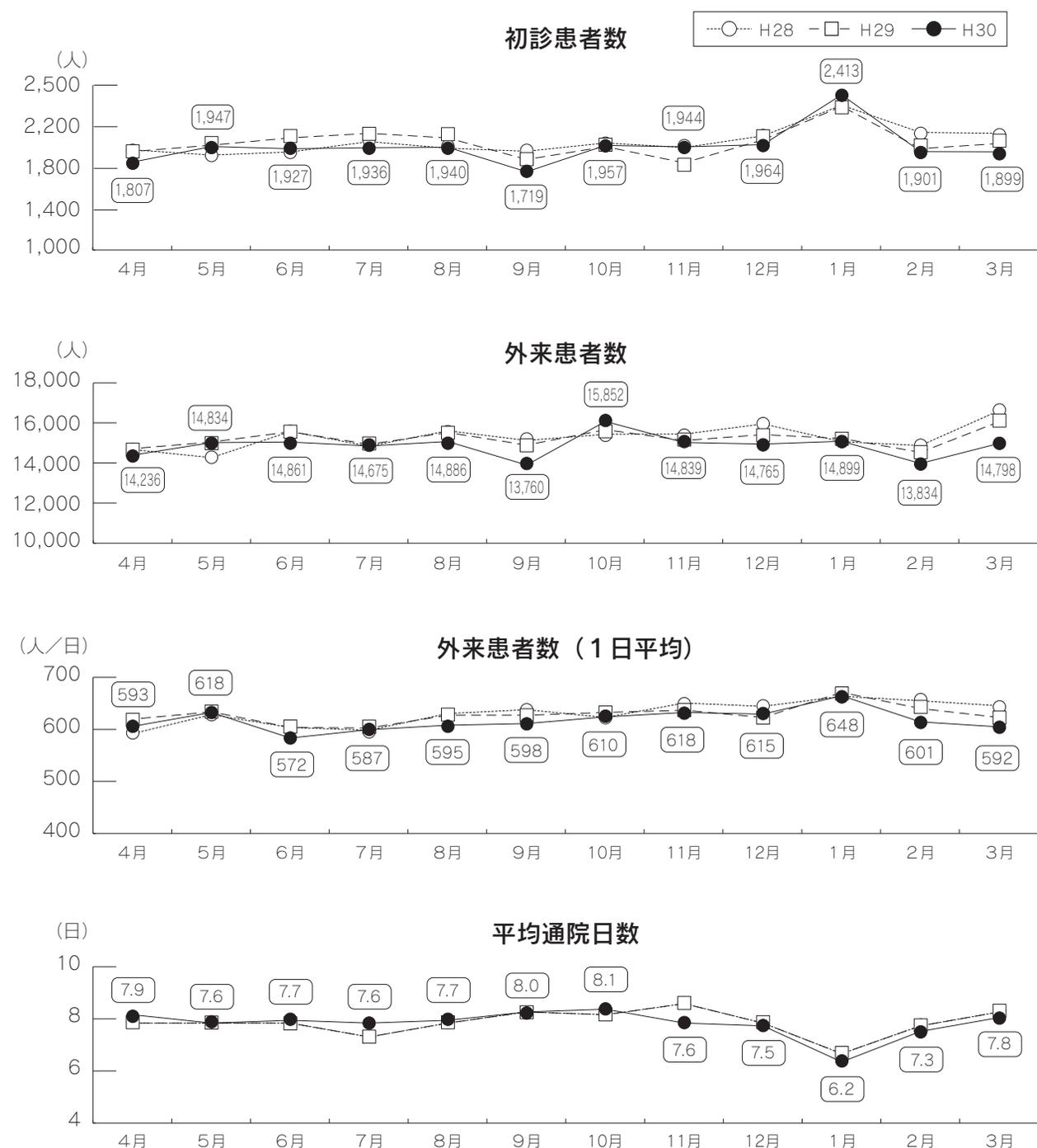
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新入院患者数 (人)	H28	713	607	723	696	671	696	733	741	662	736	692	750	8,420
	H29	706	721	724	742	723	709	728	715	657	713	740	728	8,606
	H30	747	732	766	795	744	657	837	713	702	762	718	704	8,877
入院患者数 (人)	H28	9,146	8,622	9,296	9,346	8,774	8,692	8,807	8,860	9,626	9,539	9,466	10,176	110,350
	H29	9,630	9,712	9,499	9,443	8,936	8,971	9,709	8,942	9,255	8,949	9,114	9,834	111,994
	H30	9,078	8,855	9,255	9,340	9,521	8,580	10,054	9,368	9,558	9,631	9,316	9,423	111,979
退院患者数 (人)	H28	763	606	723	722	662	712	747	697	767	606	725	750	8,480
	H29	730	681	748	741	714	712	737	701	780	573	737	807	8,661
	H30	736	682	810	744	754	698	777	743	798	620	738	776	8,876
平均在院日数 (日)	H28	12.7	14.7	13.4	13.9	13.8	13.0	12.7	12.7	14.1	15.3	14.2	14.6	13.8
	H29	14.2	14.5	13.9	13.5	13.4	13.7	13.8	13.5	13.7	14.5	12.7	13.4	13.7
	H30	12.6	13.2	12.4	12.6	13.5	13.0	12.7	13.2	13.0	14.6	13.5	13.3	13.1
病床利用率 (%)	H28	84.9	77.5	86.3	84.0	78.8	80.7	79.1	82.3	86.5	85.7	90.9	91.4	84.2
	H29	89.4	87.3	88.2	84.9	80.3	83.3	87.2	83.0	83.2	80.4	90.7	88.4	85.5
	H30	84.3	79.6	85.9	83.9	85.6	79.7	90.3	87.0	85.9	86.5	92.7	84.7	85.5



月別患者数（外来）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初診患者数 (人)	H28	1,917	1,870	1,898	1,991	1,932	1,904	1,979	1,938	2,043	2,319	2,074	2,066	23,931
	H29	1,902	1,959	2,025	2,066	2,024	1,830	1,946	1,800	2,007	2,309	1,928	1,974	23,770
	H30	1,807	1,947	1,927	1,936	1,940	1,719	1,957	1,944	1,964	2,413	1,901	1,899	23,354
外来患者数 (人)	H28	14,500	14,112	15,370	14,662	15,402	14,941	15,234	15,243	15,732	14,879	14,694	16,374	181,143
	H29	14,545	14,862	15,357	14,754	15,321	14,716	15,453	14,936	15,218	15,033	14,367	15,843	180,405
	H30	14,236	14,834	14,861	14,675	14,886	13,760	15,852	14,839	14,765	14,899	13,834	14,798	176,239
1日平均 外来患者数 (人/日)	H28	580	614	591	586	616	623	609	635	629	647	639	630	616
	H29	606	619	591	590	613	613	618	622	609	654	625	609	614
	H30	593	618	572	587	595	598	610	618	615	648	601	592	604
平均通院日数 (日)	H28	7.6	7.6	7.6	7.1	7.6	8.0	7.9	8.3	7.6	6.5	7.5	8.0	7.6
	H29	7.6	7.6	7.6	7.1	7.6	8.0	7.9	8.3	7.6	6.5	7.5	8.0	7.6
	H30	7.9	7.6	7.7	7.6	7.7	8.0	8.1	7.6	7.5	6.2	7.3	7.8	7.5

※本院、腎クリニック、泌尿器クリニック合算、診療日数は本院準拠



2. 診療科別患者統計

診療科別患者数（入院）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合診療科	新入院患者数	26	31	34	35	31	25	28	21	24	29	26	20	330
	患者数	453	401	373	356	362	316	294	207	343	283	269	305	3,962
	退院患者数	27	29	36	29	35	24	27	15	27	23	25	20	317
	平均在院日数	17.1	13.4	10.7	11.1	11.0	12.9	10.7	11.5	13.5	10.9	10.5	15.3	12.2
消化管 内科	新入院患者数	95	76	81	105	77	62	95	86	80	96	96	80	1,029
	患者数	732	657	698	876	786	490	717	708	795	854	760	624	8,697
	退院患者数	87	68	88	97	84	65	80	87	82	80	93	81	992
	平均在院日数	8.0	9.1	8.3	8.7	9.8	7.7	8.2	8.2	9.8	9.7	8.0	7.8	8.6
肝胆膵 内科	新入院患者数	19	19	21	19	18	26	28	13	23	18	16	20	240
	患者数	189	223	263	289	159	227	297	283	331	335	209	278	3,083
	退院患者数	21	14	22	15	20	22	23	16	19	18	12	21	223
	平均在院日数	9.5	13.5	12.2	17.0	8.4	9.5	11.6	19.5	15.8	18.6	14.9	13.6	13.3
循環器科	新入院患者数	65	45	55	54	42	49	56	65	71	62	66	54	684
	患者数	813	600	581	527	570	417	612	670	865	749	695	677	7,776
	退院患者数	69	54	52	50	48	45	58	63	83	53	63	66	704
	平均在院日数	12.1	12.1	10.9	10.1	12.7	8.9	10.7	10.5	11.2	13.0	10.8	11.3	11.2
血液内科	新入院患者数	36	36	31	38	37	31	45	31	25	50	31	34	425
	患者数	1,236	1,251	1,127	1,214	1,168	1,313	1,583	1,470	1,345	1,412	1,270	1,312	15,701
	退院患者数	40	34	33	35	29	32	36	37	43	36	36	37	428
	平均在院日数	32.5	35.7	35.2	33.3	35.4	41.7	39.1	43.2	39.6	32.8	37.9	37.0	36.8
腎臓内科	新入院患者数	22	24	23	16	19	12	22	16	16	19	15	14	218
	患者数	301	289	412	414	398	256	300	263	185	298	182	233	3,531
	退院患者数	22	14	24	13	25	17	18	16	21	16	18	15	219
	平均在院日数	13.7	15.2	17.5	28.6	18.1	17.7	15.0	16.4	10.0	17.0	11.0	16.1	16.2
呼吸器科	新入院患者数	52	55	53	61	49	42	60	41	55	51	47	55	621
	患者数	653	750	823	798	806	807	849	830	830	906	909	840	9,801
	退院患者数	54	47	61	56	45	51	53	43	55	37	47	56	605
	平均在院日数	12.3	14.7	14.4	13.6	17.1	17.4	15.0	19.8	15.1	20.6	19.3	15.1	16.0
糖尿病内科	新入院患者数	4	3	2	5	6	8	5	3	5	9	4	2	56
	患者数	67	76	44	49	90	59	56	29	62	111	93	64	800
	退院患者数	3	4	4	3	8	5	5	1	5	5	6	4	53
	平均在院日数	19.1	21.7	14.7	12.3	12.9	9.1	11.2	14.5	12.4	15.9	18.6	21.3	14.7
脳神経内科	新入院患者数	9	8	17	11	13	7	9	11	7	13	8	12	125
	患者数	124	185	196	129	121	205	101	91	97	192	185	243	1,869
	退院患者数	10	8	19	7	11	10	8	8	5	9	11	8	114
	平均在院日数	13.1	23.1	10.9	14.3	10.1	24.1	11.9	9.6	16.2	17.5	19.5	24.3	15.6
睡眠呼吸 障害 センター	新入院患者数	11	20	21	20	17	18	21	20	16	15	14	18	211
	患者数	22	39	43	39	34	37	41	40	33	29	28	37	422
	退院患者数	11	19	22	19	17	19	20	20	17	14	14	19	211
	平均在院日数	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
外科	新入院患者数	72	66	58	53	54	57	59	62	53	64	54	62	714
	患者数	801	927	934	645	958	758	839	841	957	1,028	1,126	906	10,720
	退院患者数	65	69	68	55	56	66	64	68	68	50	77	81	787
	平均在院日数	11.7	13.7	14.8	11.9	17.4	12.3	13.6	12.9	15.8	18.0	17.2	12.7	14.3
整形外科	新入院患者数	53	52	61	56	64	40	70	56	56	60	65	56	689
	患者数	969	993	1,156	1,087	1,175	905	1,161	1,246	1,196	1,051	1,103	1,219	13,261
	退院患者数	50	49	67	56	61	50	55	60	64	53	59	67	691
	平均在院日数	18.8	19.7	18.1	19.4	18.8	20.1	18.6	21.5	19.9	18.6	17.8	19.8	19.2
泌尿器科	新入院患者数	237	247	249	252	260	221	268	221	213	220	215	215	2,818
	患者数	2,145	1,920	1,939	2,184	2,065	2,171	2,460	1,943	1,892	1,791	1,823	1,945	24,278
	退院患者数	231	233	253	244	247	242	261	237	242	185	215	231	2,821
	平均在院日数	9.2	8.0	7.7	8.8	8.1	9.4	9.3	8.5	8.3	8.8	8.5	8.7	8.6
婦人科	新入院患者数	34	32	38	42	33	43	46	43	30	28	33	37	439
	患者数	197	191	209	254	213	254	271	242	214	144	199	214	2,602
	退院患者数	32	27	42	41	38	37	47	41	40	21	33	41	440
	平均在院日数	6.0	6.5	5.2	6.1	6.0	6.4	5.8	5.8	6.1	5.9	6.0	5.5	5.9
脳神経外科	新入院患者数	12	17	21	27	19	15	20	21	27	26	24	18	247
	患者数	376	343	454	471	563	356	430	489	400	435	440	441	5,198
	退院患者数	14	12	18	23	26	11	17	28	26	18	26	22	241
	平均在院日数	28.9	23.7	23.3	18.8	25.0	27.4	23.2	20.0	15.1	19.8	17.6	22.1	21.3
歯科 口腔外科	新入院患者数	0	1	1	1	5	1	5	3	1	2	4	7	31
	患者数	0	10	3	8	53	9	43	16	13	13	25	85	278
	退院患者数	0	1	1	1	4	2	5	3	1	2	3	7	30
	平均在院日数	0.0	10.0	3.0	8.0	11.8	6.0	8.6	5.3	13.0	6.5	7.1	12.1	9.1

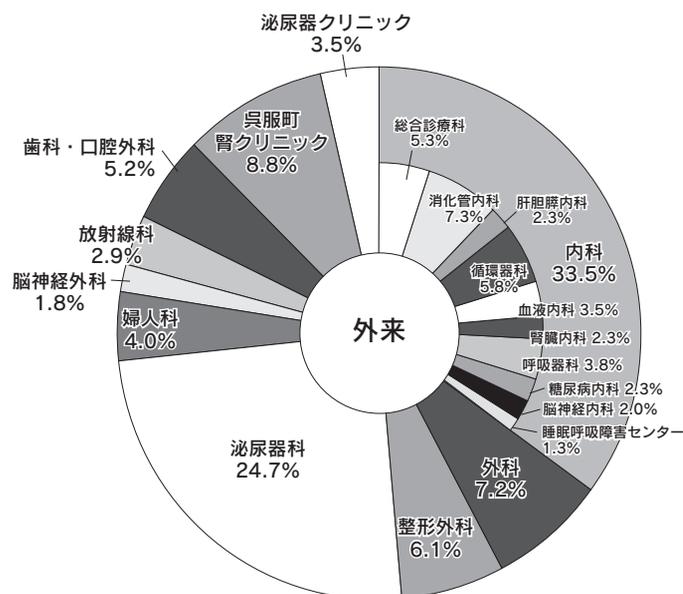
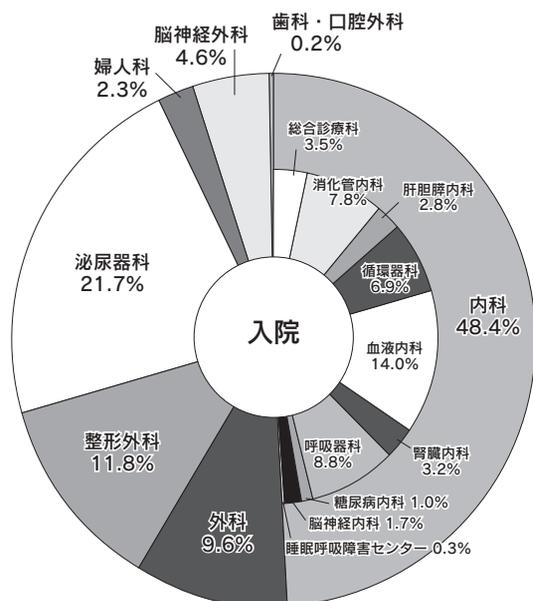
※単位は008ページ月別患者数（入院）を参照

診療科別患者数（外来）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合診療科	初診患者数	223	268	242	231	237	190	193	218	234	428	230	207	2,901
	患者数	747	939	822	854	870	753	867	859	834	1,126	841	833	10,345
	1日平均患者数	31.1	39.1	31.6	34.2	34.8	32.7	33.3	35.8	34.8	49.0	36.6	33.3	35.4
	通院日数	3.3	3.5	3.4	3.7	3.7	4.0	4.5	3.9	3.6	2.6	3.7	4.0	3.6
消化管内科	初診患者数	189	223	232	193	197	183	226	224	252	313	212	192	2,636
	患者数	1,044	1,096	1,158	1,178	1,181	1,137	1,301	1,221	1,220	1,227	1,122	1,256	14,141
	1日平均患者数	43.5	45.7	44.5	47.1	47.2	49.4	50.0	50.9	50.8	53.3	48.8	50.2	48.4
	通院日数	5.5	4.9	5.0	6.1	6.0	6.2	5.8	5.5	4.8	3.9	5.3	6.5	5.4
肝胆膵内科	初診患者数	41	55	40	30	44	47	34	53	53	58	32	42	529
	患者数	361	388	352	370	369	375	370	382	427	368	316	367	4,445
	1日平均患者数	15.0	16.2	13.5	14.8	14.8	16.3	14.2	15.9	17.8	16.0	13.7	14.7	15.2
	通院日数	8.8	7.1	8.8	12.3	8.4	8.0	10.9	7.2	8.1	6.3	9.9	8.7	8.4
循環器科	初診患者数	98	111	92	102	70	78	87	87	92	174	117	113	1,221
	患者数	977	956	938	950	902	845	958	910	917	1,022	948	960	11,283
	1日平均患者数	40.7	39.8	36.1	38.0	36.1	36.7	36.8	37.9	38.2	44.4	41.2	38.4	38.6
	通院日数	10.0	8.6	10.2	9.3	12.9	10.8	11.0	10.5	10.0	5.9	8.1	8.5	9.2
血液内科	初診患者数	45	50	44	60	71	64	58	66	85	88	71	45	747
	患者数	566	562	552	572	578	507	587	576	594	637	566	536	6,833
	1日平均患者数	23.6	23.4	21.2	22.9	23.1	22.0	22.6	24.0	24.8	27.7	24.6	21.4	23.4
	通院日数	12.6	11.2	12.5	9.5	8.1	7.9	10.1	8.7	7.0	7.2	8.0	11.9	9.1
腎臓内科	初診患者数	12	24	17	30	14	15	22	22	23	33	20	15	247
	患者数	360	372	371	340	415	365	403	378	374	375	365	386	4,504
	1日平均患者数	15.0	15.5	14.3	13.6	16.6	15.9	15.5	15.8	15.6	16.3	15.9	15.4	15.4
	通院日数	30.0	15.5	21.8	11.3	29.6	24.3	18.3	17.2	16.3	11.4	18.3	25.7	18.2
呼吸器科	初診患者数	73	98	102	113	99	74	83	93	120	156	118	86	1,215
	患者数	559	566	568	605	609	532	651	655	630	715	651	620	7,361
	1日平均患者数	23.3	23.6	21.8	24.2	24.4	23.1	25.0	27.3	26.3	31.1	28.3	24.8	25.2
	通院日数	7.7	5.8	5.6	5.4	6.2	7.2	7.8	7.0	5.3	4.6	5.5	7.2	6.1
糖尿病内科	初診患者数	20	14	10	9	17	10	9	20	11	25	19	11	175
	患者数	390	384	360	345	386	347	398	371	363	389	356	369	4,458
	1日平均患者数	16.3	16.0	13.8	13.8	15.4	15.1	15.3	15.5	15.1	16.9	15.5	14.8	15.3
	通院日数	19.5	27.4	36.0	38.3	22.7	34.7	44.2	18.6	33.0	15.6	18.7	33.5	25.5
脳神経内科	初診患者数	34	42	41	31	19	23	31	35	26	59	25	29	395
	患者数	306	333	342	313	304	287	344	340	285	337	306	315	3,812
	1日平均患者数	12.8	13.9	13.2	12.5	12.2	12.5	13.2	14.2	11.9	14.7	13.3	12.6	13.1
	通院日数	9.0	7.9	8.3	10.1	16.0	12.5	11.1	9.7	11.0	5.7	12.2	10.9	9.7
睡眠呼吸障害センター	初診患者数	13	18	18	10	13	10	15	9	13	10	6	11	146
	患者数	191	216	216	189	196	199	219	203	215	219	181	199	2,443
	1日平均患者数	8.0	9.0	8.3	7.6	7.8	8.7	8.4	8.5	9.0	9.5	7.9	8.0	8.4
	通院日数	14.7	12.0	12.0	18.9	15.1	19.9	14.6	22.6	16.5	21.9	30.2	18.1	16.7
外科	初診患者数	65	53	70	71	64	62	63	53	50	57	42	48	698
	患者数	1,180	1,127	1,209	1,166	1,158	1,136	1,227	1,188	1,149	1,173	1,001	1,152	13,866
	1日平均患者数	49.2	47.0	46.5	46.6	46.3	49.4	47.2	49.5	47.9	51.0	43.5	46.1	47.5
	通院日数	18.2	21.3	17.3	16.4	18.1	18.3	19.5	22.4	23.0	20.6	23.8	24.0	19.9
整形外科	初診患者数	151	158	161	173	157	140	172	142	154	146	138	166	1,858
	患者数	906	1,006	940	996	1,040	881	1,082	959	1,057	975	924	976	11,742
	1日平均患者数	37.8	41.9	36.2	39.8	41.6	38.3	41.6	40.0	44.0	42.4	40.2	39.0	40.2
	通院日数	6.0	6.4	5.8	5.8	6.6	6.3	6.3	6.8	6.9	6.7	6.7	5.9	6.3
泌尿器科	初診患者数	481	443	469	484	517	439	489	481	445	430	437	487	5,602
	患者数	3,996	3,972	4,152	4,092	4,131	3,739	4,455	3,920	3,971	3,610	3,686	4,123	47,847
	1日平均患者数	166.5	165.5	159.7	163.7	165.2	162.6	171.3	163.3	165.5	157.0	160.3	164.9	163.9
	通院日数	8.3	9.0	8.9	8.5	8.0	8.5	9.1	8.1	8.9	8.4	8.4	8.5	8.5
婦人科	初診患者数	99	101	118	135	108	79	108	94	74	93	85	92	1,186
	患者数	535	606	696	743	678	618	749	687	640	595	555	614	7,716
	1日平均患者数	22.3	25.3	26.8	29.7	27.1	26.9	28.8	28.6	26.7	25.9	24.1	24.6	26.4
	通院日数	5.4	6.0	5.9	5.5	6.3	7.8	6.9	7.3	8.6	6.4	6.5	6.7	6.5
脳神経外科	初診患者数	45	46	56	44	45	39	63	34	44	39	36	36	527
	患者数	263	273	303	287	267	320	331	311	307	308	257	330	3,557
	1日平均患者数	11.0	11.4	11.7	11.5	10.7	13.9	12.7	13.0	12.8	13.4	11.2	13.2	12.2
	通院日数	5.8	5.9	5.4	6.5	5.9	8.2	5.3	9.1	7.0	7.9	7.1	9.2	6.7
放射線科	初診患者数	30	28	28	38	29	33	35	42	29	29	25	31	377
	患者数	558	590	518	455	533	447	533	495	334	294	416	362	5,535
	1日平均患者数	23.3	24.6	19.9	18.2	21.3	19.4	20.5	20.6	13.9	12.8	18.1	14.5	19.0
	通院日数	18.6	21.1	18.5	12.0	18.4	13.5	15.2	11.8	11.5	10.1	16.6	11.7	14.7
歯科 口腔外科	初診患者数	141	171	155	132	150	141	169	154	149	145	172	172	1,851
	患者数	769	879	845	761	808	757	880	826	850	888	839	906	10,008
	1日平均患者数	32.0	36.6	32.5	30.4	32.3	32.9	33.8	34.4	35.4	38.6	36.5	36.2	34.3
	通院日数	5.5	5.1	5.5	5.8	5.4	5.4	5.2	5.4	5.7	6.1	4.9	5.3	5.4
呉服町 腎クリニック	患者数	1,374	1,476	1,434	1,432	1,495	1,404	1,503	1,434	1,415	1,440	1,269	1,396	17,072
	1日平均患者数	55.0	54.7	55.2	55.1	55.4	56.2	55.7	55.2	54.4	53.3	52.9	53.7	54.7
泌尿器 クリニック	患者数	584	516	584	538	608	484	640	553	586	548	581	576	6,798
	1日平均患者数	29.2	27.2	27.8	25.6	30.4	26.9	29.1	26.3	30.8	28.8	30.6	27.4	28.3

※単位は009ページ月別患者数（外来）を参照

診療科別患者率



3. 病棟別入院患者統計

病棟名	主な診療科	ベッド数
本館3階病棟	呼吸器科・脳神経内科	48
本館4階病棟	消化管内科・肝胆膵内科・腎臓内科・睡眠呼吸障害センター	50
本館5階病棟	総合診療科・糖尿病内科・日帰り手術センター	35
東館4階病棟	泌尿器科	46
東館5階病棟	循環器科・泌尿器科	46
東館6階病棟	外科・婦人科	46
東館7階病棟	脳神経外科・整形外科	46
東館8階病棟	血液内科	42
合計		359

病棟別入院患者数

(単位：件)

病棟名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本館3階	入院	101	88	98	109	89	60	114	73	100	103	115	121	1,171
	在院	1,014	1,062	1,080	1,075	1,139	1,032	1,235	1,180	1,090	1,236	1,154	1,182	13,479
	退院	94	79	110	93	93	68	89	82	94	83	111	118	1,114
	在院(延)	1,108	1,141	1,190	1,168	1,232	1,100	1,324	1,262	1,184	1,319	1,265	1,300	14,593
	死亡者数	1	2	4	5	4	2	4	2	2	2	5	4	37
	在院日数	11.4	13.7	11.4	11.6	13.5	17.2	13.0	16.3	12.2	14.2	11.2	10.9	12.8
本館4階	入院	121	115	112	119	94	111	161	124	125	100	106	58	1,346
	在院	1,076	1,065	1,167	1,237	1,058	917	1,202	1,131	1,172	1,273	1,109	1,036	13,443
	退院	115	100	121	106	110	119	141	122	130	88	116	77	1,345
	在院(延)	1,191	1,165	1,288	1,343	1,168	1,036	1,343	1,253	1,302	1,361	1,225	1,113	14,788
	死亡者数	1	3	2	2	2	0	2	1	0	5	2	4	24
	在院日数	10.1	10.8	11.1	11.9	11.5	9.0	8.9	10.2	10.2	14.5	11.0	16.5	11.0
本館5階	入院	112	135	129	120	151	110	129	122	107	136	112	107	1,470
	在院	632	610	617	678	743	622	741	673	721	720	747	761	8,265
	退院	104	136	139	112	140	111	124	110	117	106	114	119	1,432
	在院(延)	736	746	756	790	883	733	865	783	838	826	861	880	9,697
	死亡者数	0	1	1	1	0	1	1	0	0	1	0	0	6
	在院日数	6.8	5.5	5.6	6.8	6.1	6.6	6.8	6.8	6.8	7.5	6.8	7.6	6.7
東館4階	入院	98	106	116	105	94	84	110	112	101	106	111	105	1,248
	在院	1,166	1,028	1,114	1,174	1,211	1,081	1,237	1,100	1,120	1,149	1,110	1,130	13,620
	退院	103	99	113	106	95	92	113	121	128	87	105	115	1,277
	在院(延)	1,269	1,127	1,227	1,280	1,306	1,173	1,350	1,221	1,248	1,236	1,215	1,245	14,897
	死亡者数	0	1	1	3	1	2	1	0	3	3	1	0	16
	在院日数	12.6	11.0	10.7	12.1	13.8	13.3	12.1	10.5	10.9	12.8	11.3	11.3	11.8
東館5階	入院	100	102	122	130	128	114	129	111	99	122	100	126	1,383
	在院	1,129	1,020	1,084	1,091	1,112	979	1,210	1,125	1,189	1,139	1,117	1,090	13,285
	退院	111	94	122	120	127	123	119	120	118	105	105	135	1,399
	在院(延)	1,240	1,114	1,206	1,211	1,239	1,102	1,329	1,245	1,307	1,244	1,222	1,225	14,684
	死亡者数	3	0	1	1	3	1	0	1	1	3	0	0	14
	在院日数	11.8	11.4	9.9	9.7	9.7	9.3	10.7	10.8	12.0	11.0	11.9	9.4	10.6
東館6階	入院	121	99	105	121	94	101	118	108	90	94	89	111	1,251
	在院	994	1,017	1,046	961	1,116	972	1,097	992	1,081	1,095	1,109	1,062	12,542
	退院	112	92	114	120	95	104	118	112	108	71	102	130	1,278
	在院(延)	1,106	1,109	1,160	1,081	1,211	1,076	1,215	1,104	1,189	1,166	1,211	1,192	13,820
	死亡者数	3	5	1	2	2	6	1	0	0	0	3	2	25
	在院日数	9.5	11.6	10.6	9.0	12.8	10.5	10.3	10.0	12.0	14.1	12.7	9.9	10.9
東館7階	入院	65	58	55	59	57	56	53	45	65	70	65	53	701
	在院	1,205	1,219	1,246	1,272	1,229	1,101	1,298	1,219	1,267	1,242	1,153	1,204	14,655
	退院	62	54	59	58	62	57	50	53	72	61	60	57	705
	在院(延)	1,267	1,273	1,305	1,330	1,291	1,158	1,348	1,272	1,339	1,303	1,213	1,261	15,360
	死亡者数	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2	0	1	5
	在院日数	20.0	22.7	22.9	22.7	21.7	20.5	26.2	26.0	19.5	19.9	19.4	22.9	21.8
東館8階	入院	29	29	29	32	37	21	23	18	15	31	20	23	307
	在院	1,126	1,152	1,091	1,108	1,159	1,178	1,257	1,205	1,120	1,157	1,079	1,182	13,814
	退院	35	28	32	29	32	24	23	23	31	19	25	25	326
	在院(延)	1,161	1,180	1,123	1,137	1,191	1,202	1,280	1,228	1,151	1,176	1,104	1,207	14,140
	死亡者数	1	1	1	3	1	2	3	2	1	3	3	2	23
	在院日数	36.3	41.4	36.8	37.3	34.5	53.4	55.7	59.9	50.0	47.0	49.1	50.3	44.7
合計	入院	747	732	766	795	744	657	837	713	702	762	718	704	8,877
	在院	8,342	8,173	8,445	8,596	8,767	7,882	9,277	8,625	8,760	9,011	8,578	8,647	103,103
	退院	736	682	810	744	754	698	777	743	798	620	738	776	8,876
	在院(延)	9,078	8,855	9,255	9,340	9,521	8,580	10,054	9,368	9,558	9,631	9,316	9,423	111,979
	死亡者数	9	14	11	17	14	14	12	6	7	19	14	13	150
	在院日数	12.2	12.5	11.7	12.1	12.7	12.7	12.5	12.9	12.7	13.9	12.8	12.7	12.6

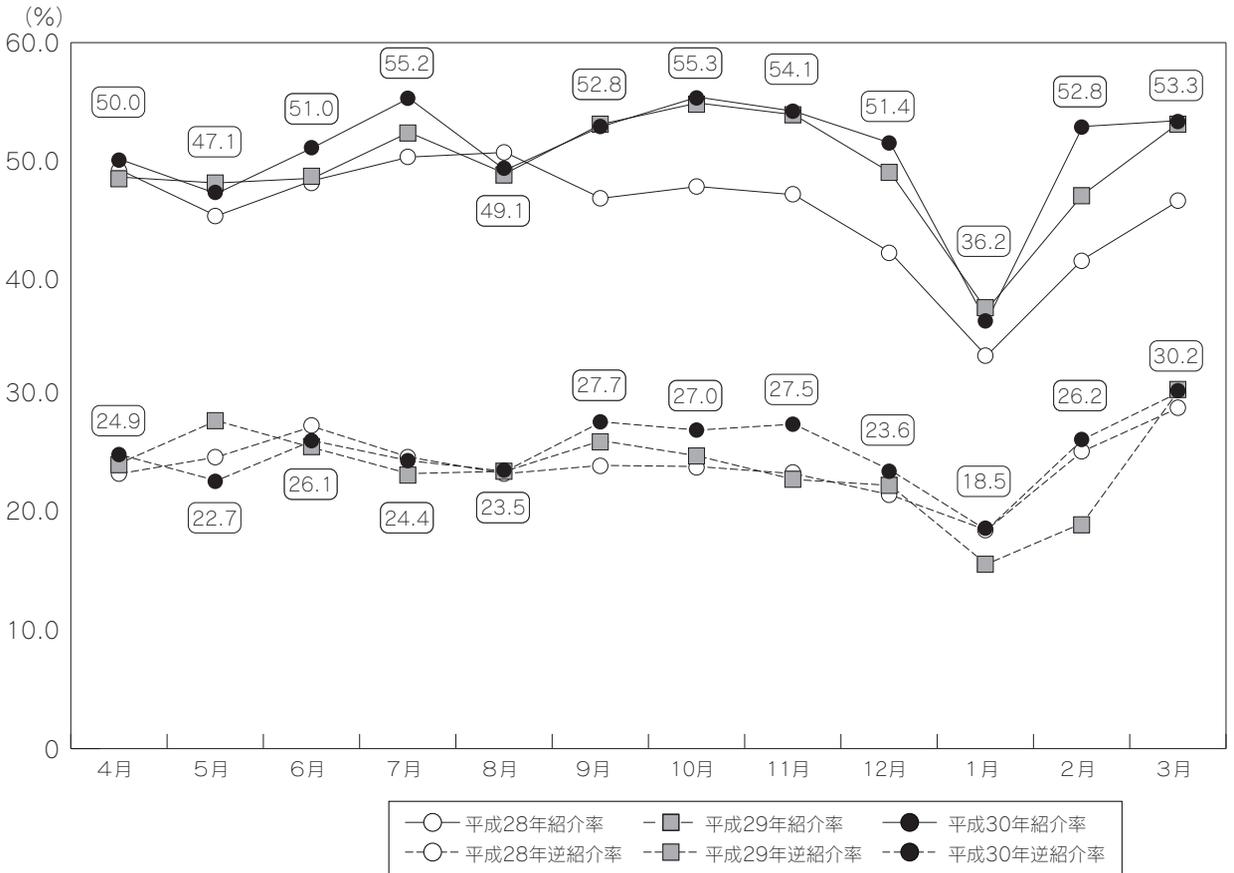
【注釈】

- ・「入院」新規入院患者数、「在院」24時時点で病床を利用している患者数、「退院」退院患者数、「在院(延)」在院患者数に退院患者数を加算した数、「死亡」退院患者の内、死亡した患者数(再掲)
- ・「在院日数」は「在院(延)」÷((「新入院」+「退院」)÷2)で求めた数

4. 紹介・逆紹介統計

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初診紹介件数 (件)	H28	638	571	655	669	620	586	629	606	569	526	601	681	7,351
	H29	623	636	691	732	638	662	755	657	641	565	622	734	7,956
	H30	680	652	726	758	628	616	769	716	657	585	661	643	8,091
救急車数 (件)	H28	223	205	204	246	275	233	244	234	219	202	169	199	2,653
	H29	212	211	201	259	268	208	211	223	249	239	216	222	2,719
	H30	176	208	210	265	261	199	202	221	252	216	222	250	2,682
初診件数 (件)	H28	1,753	1,718	1,783	1,824	1,770	1,753	1,830	1,786	1,871	2,184	1,855	1,891	22,018
	H29	1,721	1,764	1,844	1,896	1,855	1,642	1,764	1,636	1,821	2,162	1,782	1,799	21,686
	H30	1,713	1,827	1,835	1,854	1,810	1,543	1,756	1,731	1,768	2,213	1,671	1,674	21,395
紹介率 (%)	H28	49.1	45.2	48.2	50.2	50.6	46.7	47.7	47.0	42.1	33.3	41.5	46.5	45.4
	H29	48.5	48.0	48.4	52.3	48.8	53.0	54.8	53.8	48.9	37.2	47.0	53.1	49.2
	H30	50.0	47.1	51.0	55.2	49.1	52.8	55.3	54.1	51.4	36.2	52.8	53.3	50.4
逆紹介件数 (件)	H28	409	424	486	450	413	421	438	417	402	405	467	546	5,278
	H29	416	491	470	442	435	429	437	373	406	338	340	546	5,123
	H30	426	415	479	452	425	427	474	476	418	409	438	506	5,345
逆紹介率 (%)	H28	23.3	24.7	27.3	24.7	23.3	24.0	23.9	23.3	21.5	18.5	25.2	28.9	24.0
	H29	24.2	27.8	25.5	23.3	23.5	26.1	24.8	22.8	22.3	15.6	19.1	30.4	23.6
	H30	24.9	22.7	26.1	24.4	23.5	27.7	27.0	27.5	23.6	18.5	26.2	30.2	25.0

紹介・逆紹介率



診療科別紹介・逆紹介統計 (内科系)

(単位：件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合診療科	初診紹介件数	27	40	48	41	31	31	43	25	41	35	43	25	430
	救急車数	13	21	18	32	39	15	18	17	15	19	12	17	236
	初診件数	243	288	264	249	262	208	206	233	251	458	252	222	3,136
	紹介率 (%)	16.5	21.2	25.0	29.3	26.7	22.1	29.6	18.0	22.3	11.8	21.8	18.9	21.2
	逆紹介件数	13	22	18	15	22	18	15	12	15	17	9	14	190
	逆紹介率 (%)	5.3	7.6	6.8	6.0	8.4	8.7	7.3	5.2	6.0	3.7	3.6	6.3	6.1
消化管 内科	初診紹介件数	65	78	77	80	60	75	88	95	76	65	65	64	888
	救急車数	22	39	35	38	36	32	32	36	42	34	39	42	427
	初診件数	196	237	235	207	208	198	247	245	271	334	231	213	2,822
	紹介率 (%)	44.4	49.4	47.7	57.0	46.2	54.0	48.6	53.5	43.5	29.6	45.0	49.8	46.6
	逆紹介件数	26	15	19	22	25	20	27	27	29	17	17	20	264
	逆紹介率 (%)	13.3	6.3	8.1	10.6	12.0	10.1	10.9	11.0	10.7	5.1	7.4	9.4	9.4
肝胆膵 内科	初診紹介件数	15	15	18	14	18	22	18	25	39	24	10	20	238
	救急車数	13	11	16	10	8	7	6	7	7	5	6	5	101
	初診件数	42	56	41	29	47	53	40	57	63	63	37	50	578
	紹介率 (%)	66.7	46.4	82.9	82.8	55.3	54.7	60.0	56.1	73.0	46.0	43.2	50.0	58.7
	逆紹介件数	5	5	6	8	7	5	9	2	5	5	3	5	65
	逆紹介率 (%)	11.9	8.9	14.6	27.6	14.9	9.4	22.5	3.5	7.9	7.9	8.1	10.0	11.2
循環器科	初診紹介件数	35	37	30	33	20	25	28	27	26	27	34	37	359
	救急車数	27	24	33	37	31	38	23	23	32	24	37	27	356
	初診件数	98	115	96	106	75	89	97	99	106	186	137	119	1,323
	紹介率 (%)	63.3	53.0	65.6	66.0	68.0	70.8	52.6	50.5	54.7	27.4	51.8	53.8	54.0
	逆紹介件数	56	52	42	43	22	39	51	48	43	33	45	47	521
	逆紹介率 (%)	57.1	45.2	43.8	40.6	29.3	43.8	52.6	48.5	40.6	17.7	32.8	39.5	39.4
血液内科	初診紹介件数	16	15	8	14	18	18	18	16	9	15	11	11	169
	救急車数	14	19	25	32	26	15	22	29	29	29	16	21	277
	初診件数	47	49	44	61	71	68	62	67	88	93	75	48	773
	紹介率 (%)	63.8	69.4	75.0	75.4	62.0	48.5	64.5	67.2	43.2	47.3	36.0	66.7	57.7
	逆紹介件数	17	12	5	8	11	12	9	23	10	17	12	10	146
	逆紹介率 (%)	36.2	24.5	11.4	13.1	15.5	17.6	14.5	34.3	11.4	18.3	16.0	20.8	18.9
腎臓内科	初診紹介件数	13	20	24	18	11	18	18	19	20	24	16	15	216
	救急車数	3	2	4	6	5	0	3	2	5	6	3	5	44
	初診件数	12	25	19	31	19	24	28	29	25	39	21	19	291
	紹介率 (%)	133.3	88.0	147.4	77.4	84.2	75.0	75.0	72.4	100.0	76.9	90.5	105.3	89.3
	逆紹介件数	17	6	8	11	12	12	10	12	13	10	12	12	135
	逆紹介率 (%)	141.7	24.0	42.1	35.5	63.2	50.0	35.7	41.4	52.0	25.6	57.1	63.2	46.4
呼吸器科	初診紹介件数	49	32	43	54	30	31	45	43	47	23	62	42	501
	救急車数	16	32	28	45	38	33	20	29	30	32	33	29	365
	初診件数	82	103	111	122	106	89	95	106	138	173	130	100	1,355
	紹介率 (%)	79.3	62.1	64.0	81.1	64.2	71.9	68.4	67.9	55.8	31.8	73.1	71.0	63.9
	逆紹介件数	28	26	35	28	33	28	33	29	30	33	30	24	357
	逆紹介率 (%)	34.1	25.2	31.5	23.0	31.1	31.5	34.7	27.4	21.7	19.1	23.1	24.0	26.3
糖尿病内科	初診紹介件数	3	3	2	5	4	4	3	3	2	3	7	4	43
	救急車数	5	4	1	4	4	4	5	12	6	1	5	3	54
	初診件数	20	13	10	9	18	11	11	22	12	27	20	16	189
	紹介率 (%)	40.0	53.8	30.0	100.0	44.4	72.7	72.7	68.2	66.7	14.8	60.0	43.8	51.3
	逆紹介件数	3	4	2	2	3	4	7	2	9	4	9	6	55
	逆紹介率 (%)	15.0	30.8	20.0	22.2	16.7	36.4	63.6	9.1	75.0	14.8	45.0	37.5	29.1
脳神経内科	初診紹介件数	21	19	27	18	14	12	16	12	12	18	5	16	190
	救急車数	2	3	5	4	1	3	4	4	2	5	3	5	41
	初診件数	36	44	45	32	25	26	42	39	30	62	27	32	440
	紹介率 (%)	63.9	50.0	71.1	68.8	60.0	57.7	47.6	41.0	46.7	37.1	29.6	65.6	52.5
	逆紹介件数	21	25	29	19	3	13	20	17	8	8	20	16	199
	逆紹介率 (%)	58.3	56.8	64.4	59.4	12.0	50.0	47.6	43.6	26.7	12.9	74.1	50.0	45.2
睡眠呼吸 障害 センター	初診紹介件数	9	15	16	10	7	6	10	7	11	4	3	9	107
	救急車数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	初診件数	13	19	18	10	14	10	15	10	15	10	7	11	152
	紹介率 (%)	69.2	78.9	88.9	100.0	50.0	60.0	66.7	70.0	73.3	40.0	42.9	81.8	70.4
	逆紹介件数	2	2	1	1	3	3	5	5	5	4	8	6	45
	逆紹介率 (%)	15.4	10.5	5.6	10.0	21.4	30.0	33.3	50.0	33.3	40.0	114.3	54.5	29.6

診療科別紹介・逆紹介統計 (外科系)

(単位：件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	初診紹介件数	31	28	22	35	25	32	37	27	30	13	25	21	326
	救急車数	3	1	3	1	4	2	8	2	7	1	3	3	38
	初診件数	74	57	70	73	72	71	76	65	60	62	55	58	793
	紹介率(%)	45.9	50.9	35.7	49.3	40.3	47.9	59.2	44.6	61.7	22.6	50.9	41.4	45.9
	逆紹介件数	23	22	24	16	16	16	11	14	21	15	17	27	222
	逆紹介率(%)	31.1	38.6	34.3	21.9	22.2	22.5	14.5	21.5	35.0	24.2	30.9	46.6	28.0
整形外科	初診紹介件数	37	53	35	49	38	35	48	33	38	45	45	39	495
	救急車数	20	19	16	18	22	19	27	22	30	15	24	41	273
	初診件数	158	163	163	173	167	154	189	146	165	157	147	172	1,954
	紹介率(%)	36.1	44.2	31.3	38.7	35.9	35.1	39.7	37.7	41.2	38.2	46.9	46.5	39.3
	逆紹介件数	61	71	75	63	67	55	60	87	56	75	90	94	854
	逆紹介率(%)	38.6	43.6	46.0	36.4	40.1	35.7	31.7	59.6	33.9	47.8	61.2	54.7	43.7
泌尿器科	初診紹介件数	286	204	261	259	255	223	293	277	233	201	248	253	2,993
	救急車数	17	14	9	13	24	13	9	21	24	20	19	28	211
	初診件数	482	449	481	487	527	454	505	487	450	434	440	500	5,696
	紹介率(%)	62.9	48.6	56.1	55.9	52.9	52.0	59.8	61.2	57.1	50.9	60.7	56.2	56.3
	逆紹介件数	95	93	137	121	127	117	140	100	93	97	100	137	1,357
	逆紹介率(%)	19.7	20.7	28.5	24.8	24.1	25.8	27.7	20.5	20.7	22.4	22.7	27.4	23.8
婦人科	初診紹介件数	35	52	70	72	67	45	59	60	40	53	52	52	657
	救急車数	1	2	1	3	1	2	1	1	1	1	1	3	18
	初診件数	100	104	125	135	116	80	113	102	77	96	89	99	1,236
	紹介率(%)	36.0	51.9	56.8	55.6	58.6	58.8	53.1	59.8	53.2	56.3	59.6	55.6	54.6
	逆紹介件数	22	15	27	30	23	24	23	30	25	25	26	30	300
	逆紹介率(%)	22.0	14.4	21.6	22.2	19.8	30.0	20.4	29.4	32.5	26.0	29.2	30.3	24.3
脳神経外科	初診紹介件数	6	16	15	15	3	5	7	5	4	7	9	3	95
	救急車数	20	17	16	22	22	16	24	16	22	23	21	21	240
	初診件数	49	50	58	53	53	44	71	39	50	44	43	43	597
	紹介率(%)	53.1	66.0	53.4	69.8	47.2	47.7	43.7	53.8	52.0	68.2	69.8	55.8	56.1
	逆紹介件数	9	17	17	20	17	18	17	22	20	15	10	18	200
	逆紹介率(%)	18.4	34.0	29.3	37.7	32.1	40.9	23.9	56.4	40.0	34.1	23.3	41.9	33.5
放射線科	初診紹介件数	32	25	30	41	27	34	38	42	29	28	26	32	384
	救急車数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	初診件数	31	28	27	39	29	33	36	42	30	30	27	33	385
	紹介率(%)	103.2	89.3	111.1	105.1	93.1	103.0	105.6	100.0	96.7	96.7	96.3	97.0	100.0
	逆紹介件数	27	25	32	36	29	39	35	43	35	30	27	36	394
	逆紹介率(%)	87.1	89.3	118.5	92.3	100.0	118.2	97.2	102.4	116.7	100.0	100.0	109.1	102.3
歯科 口腔外科	初診紹介件数	36	41	37	41	37	40	42	47	42	39	64	56	522
	救急車数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	初診件数	140	173	155	134	150	142	168	154	150	150	172	174	1862
	紹介率(%)	25.7	23.7	23.9	30.6	24.7	28.2	25.0	31.2	28.0	26.0	37.2	32.2	28.1
	逆紹介件数	33	35	30	36	30	43	40	46	43	33	48	57	474
	逆紹介率(%)	23.6	20.2	19.4	26.9	20.0	30.3	23.8	29.9	28.7	22.0	27.9	32.8	25.5

5. 科別手術室統計

(単位：件)

診療科		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	H29	81	55	76	60	55	66	59	67	69	58	66	61	773
	H30	77	73	61	44	57	42	66	70	65	63	67	69	754
消化管内科	H29	0	0	0	0	0	3	1	0	0	1	1	0	6
	H30	0	1	0	0	1	1	0	0	1	0	2	1	7
肝胆脾内科	H29	4	2	2	0	2	0	0	1	3	1	1	0	16
	H30	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
循環器科	H29	65	39	61	43	46	52	48	59	57	41	43	48	602
	H30	62	49	43	36	36	28	55	52	53	49	53	57	573
血液内科	H29	1	1	1	2	0	1	0	0	0	0	0	1	7
	H30	0	1	0	0	0	1	0	2	0	0	0	1	5
腎臓内科	H29	11	13	12	15	7	10	10	7	9	15	21	12	142
	H30	15	22	17	8	20	12	11	16	11	14	12	10	168
外科	H29	54	62	55	69	63	61	76	50	60	48	57	74	729
	H30	63	56	49	43	55	48	66	62	57	60	61	62	682
整形外科	H29	43	40	35	33	45	37	33	44	41	47	53	55	506
	H30	52	44	58	49	57	38	59	51	47	61	63	54	633
泌尿器科	H29	204	209	238	231	233	222	230	219	183	180	214	213	2,576
	H30	202	190	203	211	219	176	233	172	191	180	172	180	2,329
婦人科	H29	28	30	34	23	24	30	25	29	31	35	31	35	355
	H30	31	27	35	41	30	37	40	43	29	22	33	37	405
脳神経外科	H29	5	10	14	4	5	6	10	6	12	11	9	7	99
	H30	7	7	14	12	4	6	12	7	13	9	9	12	112
歯科 口腔外科	H29	2	0	1	0	0	2	4	1	0	1	5	3	19
	H30	0	0	1	1	5	1	5	2	1	2	4	7	29
合計	H29	417	406	453	420	425	424	437	416	396	380	435	448	5,057
	H30	432	397	421	401	427	348	481	407	403	397	409	421	4,944
ESWL (再掲)	H29	5	6	5	10	17	10	5	7	12	6	5	5	93
	H30	6	9	3	5	7	3	6	2	4	4	1	2	52
DS (再掲)	H29	64	63	78	74	76	82	69	65	79	65	70	72	857
	H30	58	75	73	60	88	57	60	64	53	53	55	51	747

[注釈] 消化器内視鏡等は含まず。

6. 健康管理センター統計

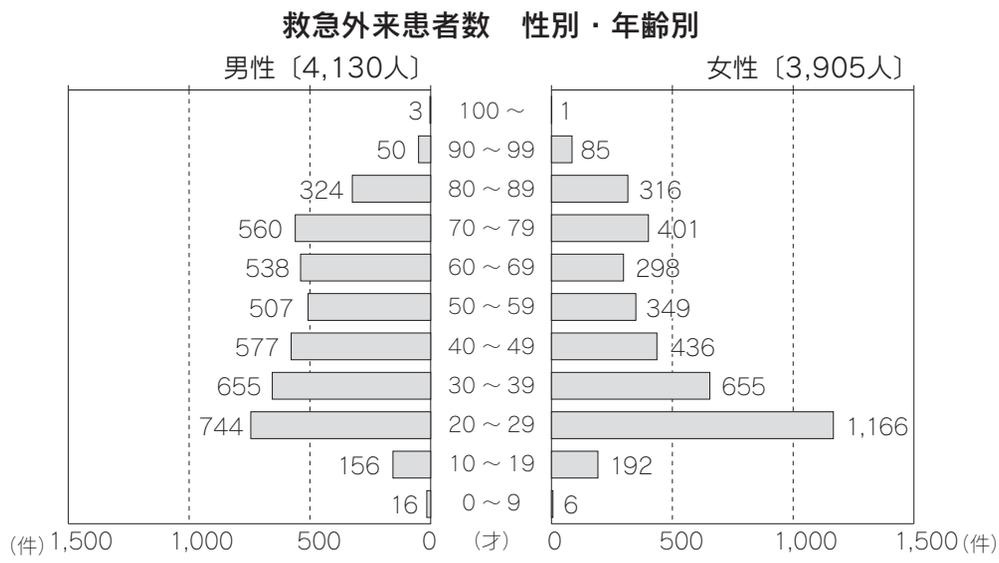
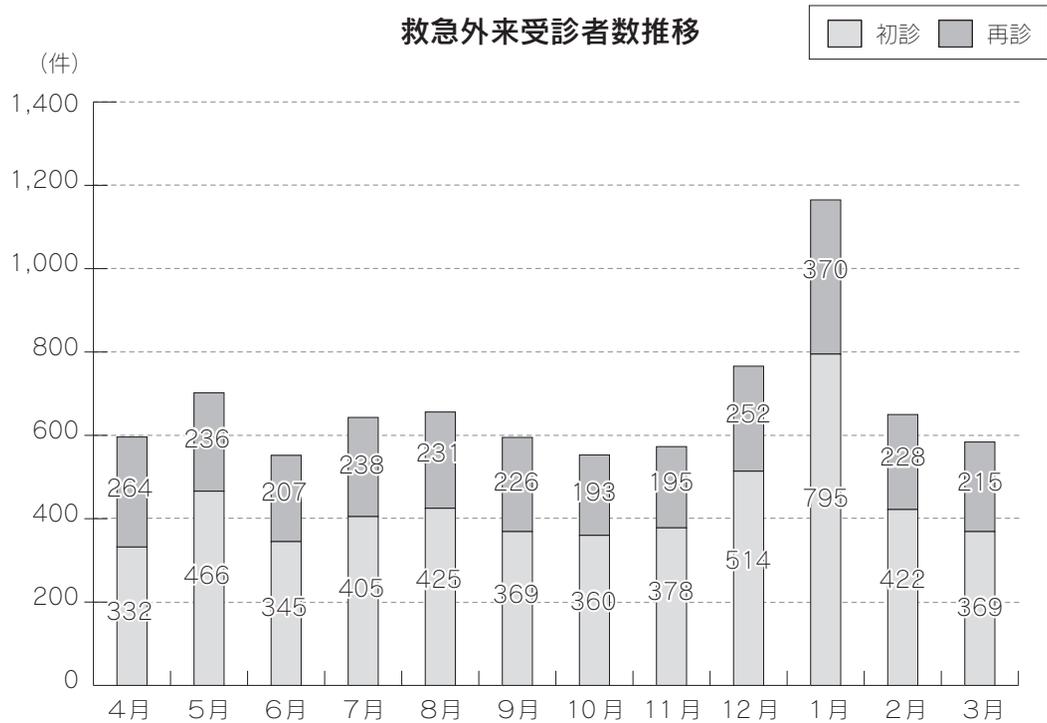
(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来受診者数	H28	826	1,111	1,383	1,255	1,068	1,065	1,005	1,066	934	868	986	1,003	12,570
	H29	859	1,107	1,602	1,236	1,124	1,246	1,136	1,064	970	861	990	986	13,181
	H30	951	1,294	1,471	1,270	1,086	1,281	1,273	1,202	949	932	1,033	1,152	13,894
入院ドック 受診者数	H28	8	12	20	16	25	23	31	26	29	22	31	32	275
	H29	16	19	15	12	18	12	16	23	16	11	15	9	182
	H30	10	11	19	20	14	14	18	12	8	11	7	14	158
合計	H28	875	1,126	1,617	1,248	1,142	1,258	1,152	1,087	986	872	1,005	995	13,363
	H29	875	1,126	1,617	1,248	1,142	1,258	1,152	1,087	986	872	1,005	995	13,363
	H30	961	1,305	1,490	1,290	1,100	1,295	1,291	1,214	957	943	1,040	1,166	14,052

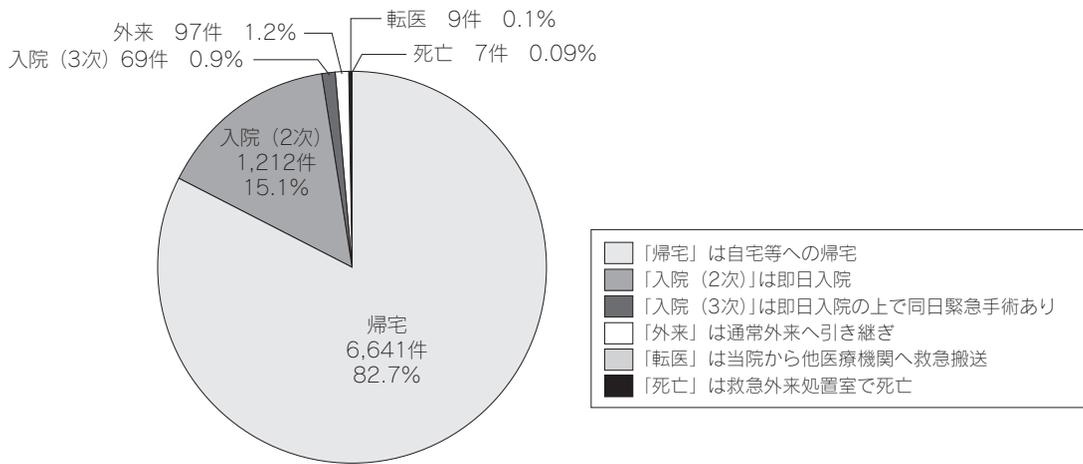
7. 救急統計

(単位：件)

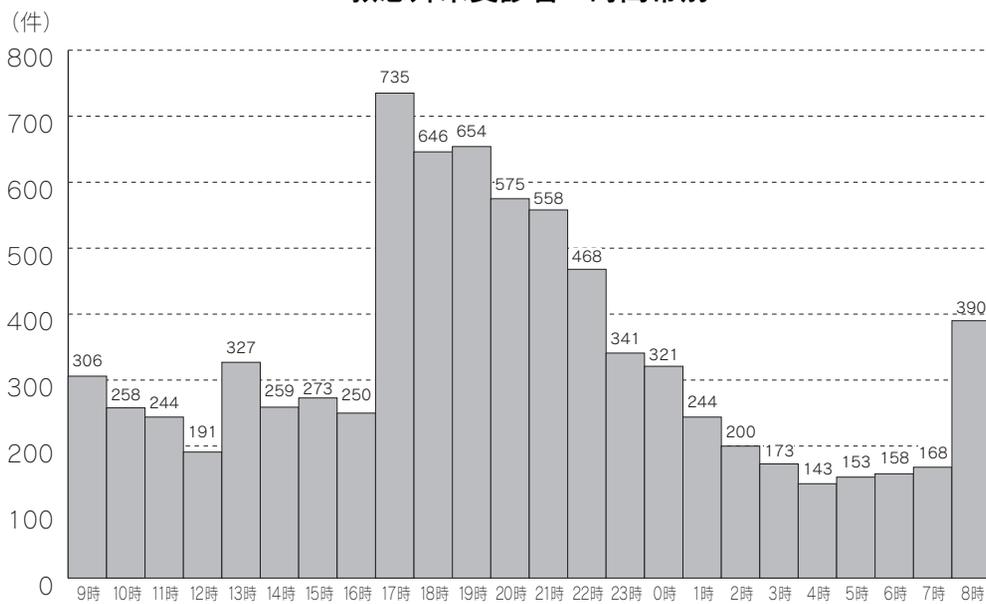
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
救急外来受診者数	H29	684	706	554	687	735	606	595	639	775	1,121	748	654	8,504
	初診	391	413	352	435	444	369	348	380	500	764	485	404	5,285
	再診	293	293	202	252	291	237	247	259	275	357	263	250	3,219
	H30	596	702	552	643	656	595	553	573	766	1,165	650	584	8,035
初診	332	466	345	405	425	369	360	378	514	795	422	369	5,180	
再診	264	236	207	238	231	226	193	195	252	370	228	215	2,855	



救急外来受診者 転帰別

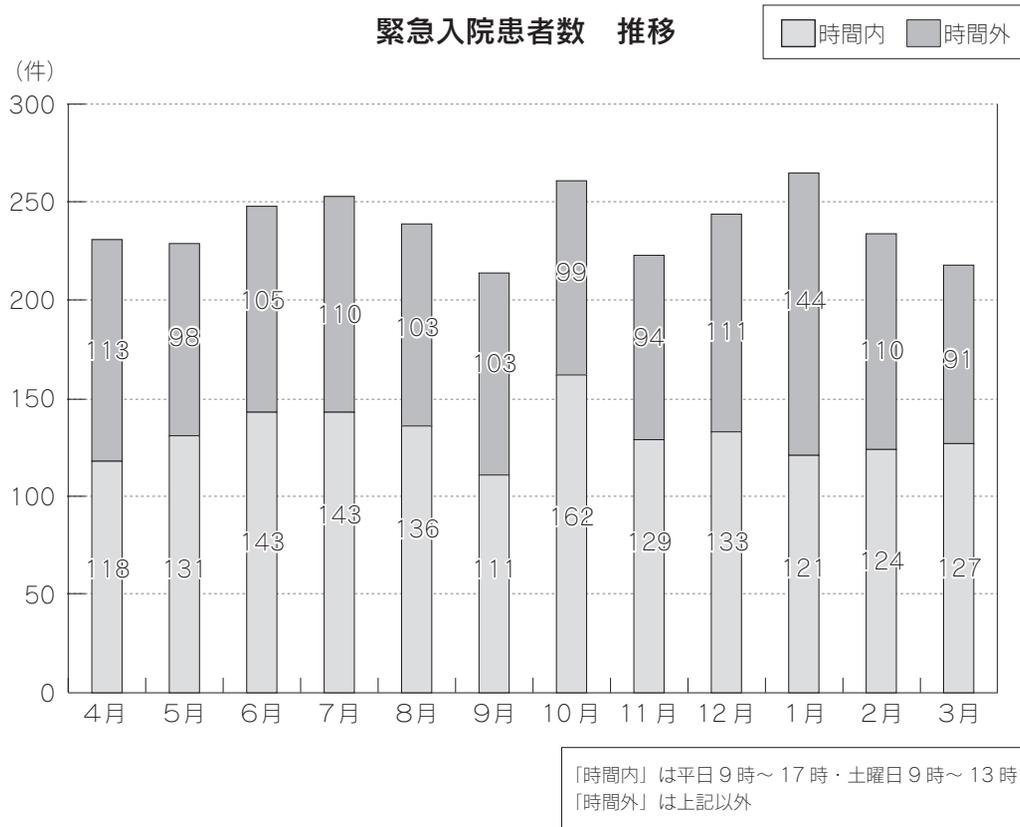


救急外来受診者 時間帯別



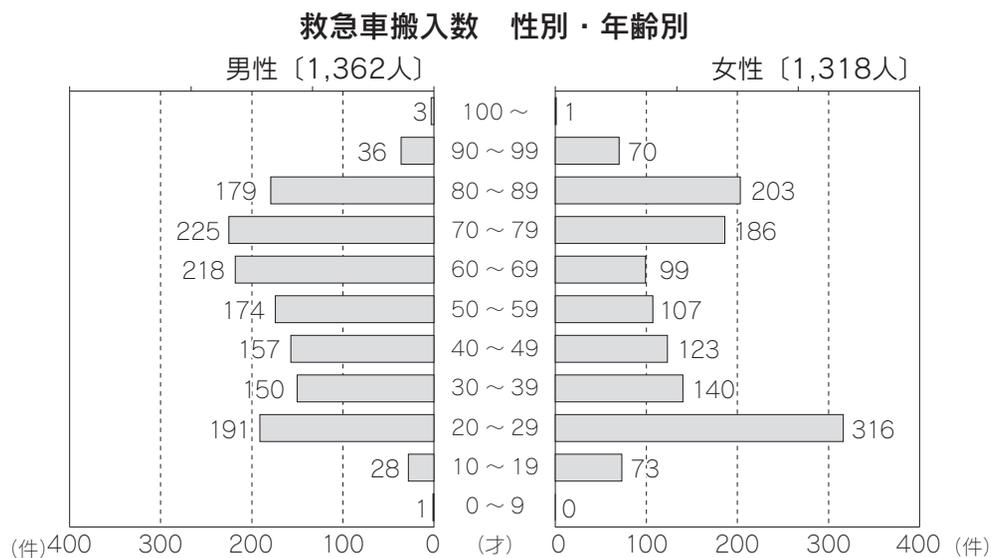
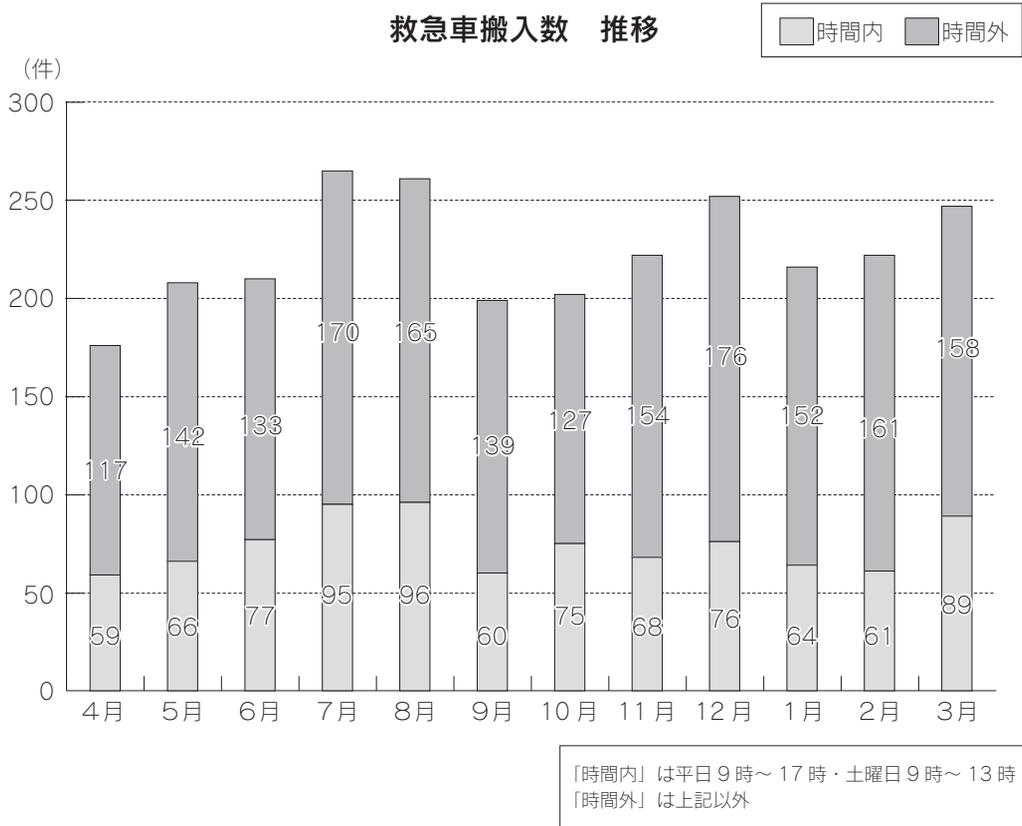
(単位：件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
即入院数	H29	216	237	212	238	246	208	200	224	224	250	215	215	2,685
	時間内	127	140	126	125	138	120	112	109	134	135	117	131	1,514
	時間外	89	97	86	113	108	88	88	115	90	115	98	84	1,171
	H30	231	229	248	253	239	214	261	223	244	265	234	218	2,859
	時間内	118	131	143	143	136	111	162	129	133	121	124	127	1,578
	時間外	113	98	105	110	103	103	99	94	111	144	110	91	1,281

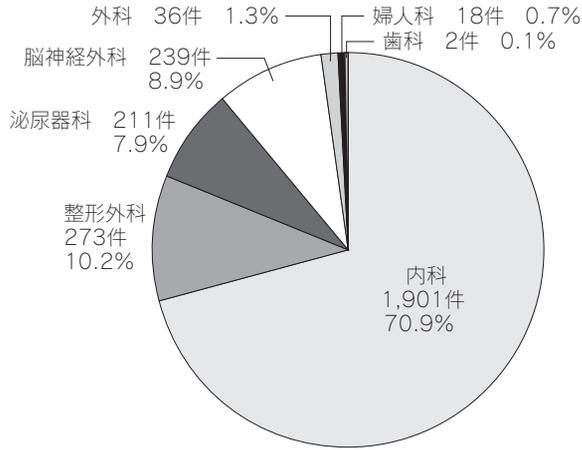


(単位：件)

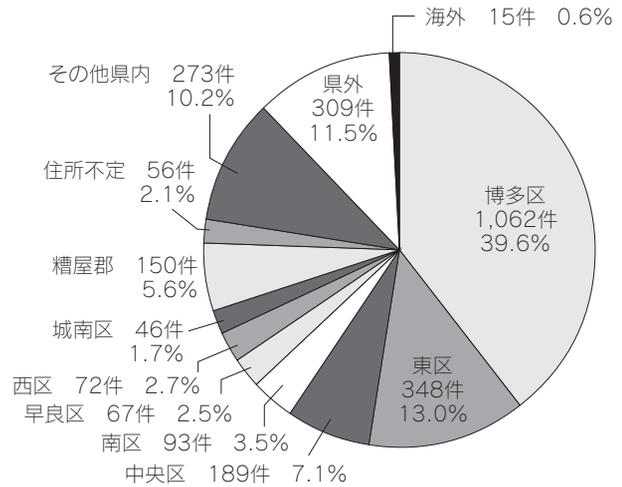
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
救急車搬入数	H29	212	212	201	259	268	208	211	223	249	239	216	222	2,720
	時間内	71	68	64	88	76	62	68	62	72	76	63	78	848
	時間外	141	144	137	171	192	146	143	161	177	163	153	144	1,872
	H30	176	208	210	265	261	199	202	222	252	216	222	247	2,680
	時間内	59	66	77	95	96	60	75	68	76	64	61	89	886
	時間外	117	142	133	170	165	139	127	154	176	152	161	158	1,794



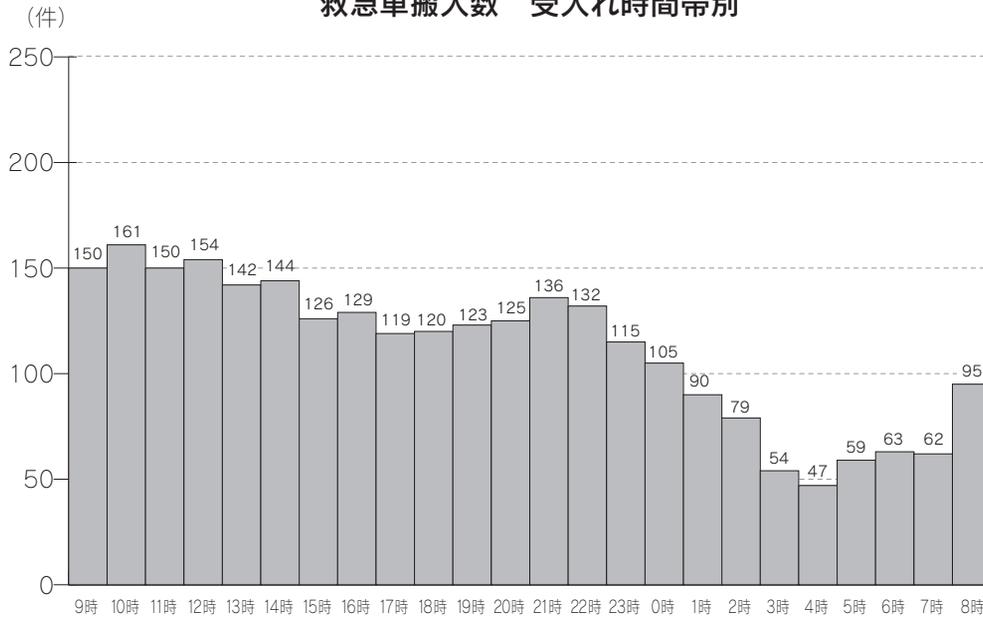
救急車搬入数 受付診療科別



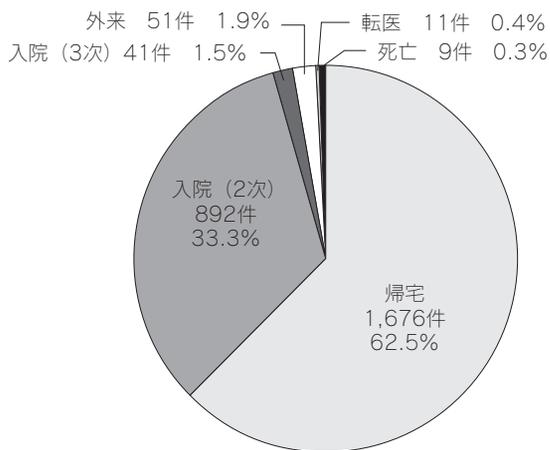
救急車搬入数 患者住所別



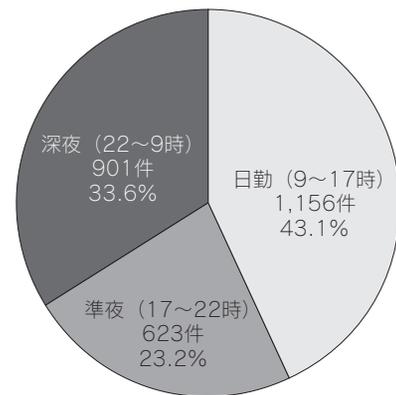
救急車搬入数 受入れ時間帯別



救急車搬入数 転帰別



救急車搬入数 受入れ時間帯別



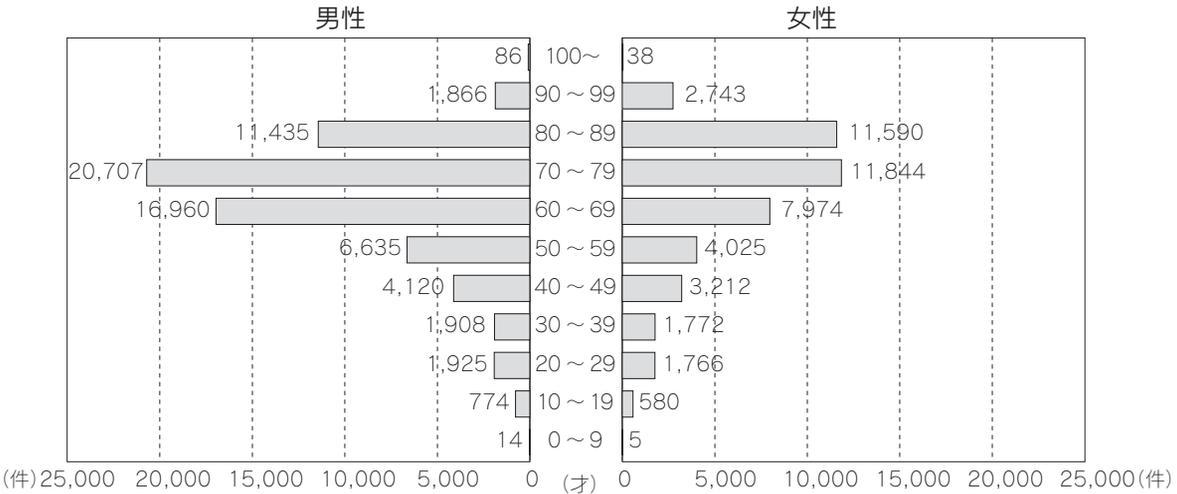
□ 「帰宅」は自宅等への帰宅
 ■ 「入院 (2次)」は即日入院
 ■ 「入院 (3次)」は即日入院の上で同日緊急手術あり
 □ 「外来」は通常外来へ引き継ぎ
 ■ 「転医」は当院から他医療機関へ救急搬送
 ■ 「死亡」は救急外来処置室で死亡

8. 患者構成

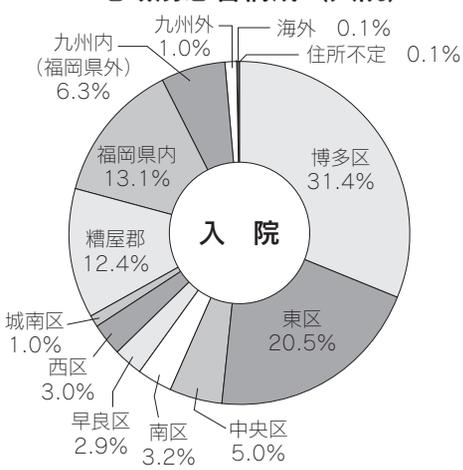
年齢別患者数（入院） 在院延べ患者数 (単位：件)

年齢	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
100～	男性	0	19	6	12	6	0	0	0	12	31	0	0	86
	女性	0	22	0	0	0	0	0	0	0	11	5	0	38
90～99	男性	158	120	158	141	182	104	239	144	154	118	130	218	1,866
	女性	178	166	203	218	306	231	200	155	403	329	233	121	2,743
80～89	男性	948	852	715	912	786	936	1,014	1,095	1,087	1,204	1,046	840	11,435
	女性	1,017	944	1,048	959	1,063	1,010	1,124	921	745	859	1,039	861	11,590
70～79	男性	1,643	1,608	1,752	1,681	1,674	1,449	1,824	1,741	2,014	1,922	1,695	1,704	20,707
	女性	789	911	1,021	916	1,019	1,004	1,034	942	996	971	1,024	1,217	11,844
60～69	男性	1,517	1,360	1,508	1,584	1,399	1,273	1,504	1,245	1,308	1,431	1,314	1,517	16,960
	女性	770	653	765	613	583	632	695	689	530	692	757	595	7,974
50～59	男性	537	395	594	572	507	489	599	503	638	653	531	617	6,635
	女性	294	394	348	350	263	280	430	379	321	254	317	395	4,025
40～49	男性	324	433	387	338	470	316	260	415	398	240	278	261	4,120
	女性	344	310	262	246	284	253	300	283	244	208	245	233	3,212
30～39	男性	178	147	110	199	218	103	122	142	174	128	223	164	1,908
	女性	116	114	80	120	94	131	240	290	143	182	151	111	1,772
20～29	男性	140	151	120	227	200	104	150	157	160	195	164	157	1,925
	女性	66	109	97	143	202	165	227	168	127	130	98	234	1,766
10～19	男性	46	66	47	42	123	82	65	58	73	51	39	82	774
	女性	13	81	33	53	142	18	25	39	31	22	27	96	580
0～9	男性	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	14
	女性	0	0	1	0	0	0	2	2	0	0	0	0	5
合計	男性	5,491	5,151	5,397	5,722	5,565	4,856	5,777	5,500	6,018	5,973	5,420	5,560	66,430
	女性	3,587	3,704	3,858	3,618	3,956	3,724	4,277	3,868	3,540	3,658	3,896	3,863	45,549

年齢別延べ患者数（入院）(年間)



地域別患者構成（入院）

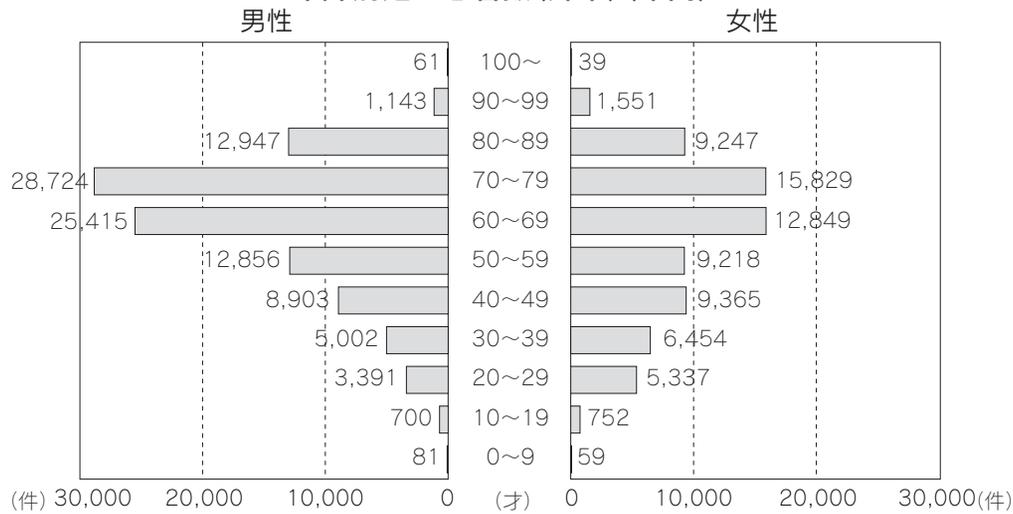


年齢別患者数（外来）延べ患者数

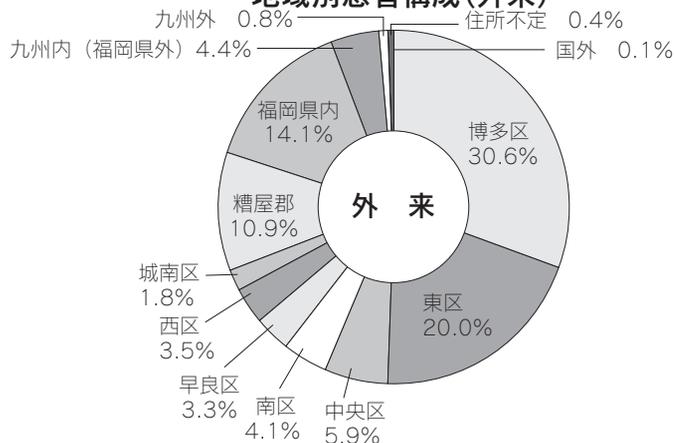
(単位：件)

年齢	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
100～	男性	2	11	4	3	3	3	3	3	7	16	2	4	61
	女性	2	3	2	3	3	2	2	3	2	2	9	6	39
90～99	男性	95	83	98	85	104	92	94	97	92	103	87	113	1,143
	女性	137	128	122	110	104	122	144	129	137	151	140	127	1,551
80～89	男性	1,056	1,115	1,072	1,075	1,085	957	1,226	1,023	1,052	1,070	1,067	1,149	12,947
	女性	788	772	797	763	794	736	857	728	743	738	734	797	9,247
70～79	男性	2,349	2,421	2,438	2,405	2,387	2,124	2,635	2,464	2,421	2,306	2,278	2,496	28,724
	女性	1,220	1,318	1,344	1,287	1,309	1,260	1,414	1,370	1,265	1,303	1,316	1,423	15,829
60～69	男性	2,159	2,238	2,176	2,126	2,212	2,062	2,295	2,173	2,076	1,988	1,878	2,032	25,415
	女性	1,029	1,044	1,127	1,095	1,081	980	1,128	1,101	1,104	1,006	1,006	1,148	12,849
50～59	男性	1,001	1,016	1,046	1,098	1,122	1,026	1,173	1,127	1,133	1,073	983	1,058	12,856
	女性	768	720	719	762	747	723	817	819	832	778	752	781	9,218
40～49	男性	681	733	762	758	781	746	822	711	691	772	685	761	8,903
	女性	780	785	777	745	851	804	925	803	744	773	665	713	9,365
30～39	男性	422	474	441	407	425	401	384	419	408	506	368	347	5,002
	女性	495	529	549	564	543	470	624	557	540	558	515	510	6,454
20～29	男性	235	303	278	263	300	245	269	230	315	370	304	281	3,391
	女性	406	435	467	510	448	375	402	406	456	573	428	431	5,337
10～19	男性	28	61	48	58	49	60	63	60	71	84	59	59	700
	女性	54	59	71	80	60	49	67	52	65	83	50	62	752
0～9	男性	1	13	4	12	13	5	6	6	4	6	5	6	81
	女性	1	4	0	7	5	3	6	7	14	3	4	5	59
合計	男性	8,029	8,468	8,367	8,290	8,481	7,721	8,970	8,313	8,270	8,294	7,716	8,306	99,225
	女性	5,680	5,797	5,975	5,926	5,945	5,524	6,386	5,975	5,902	5,968	5,619	6,003	70,700

年齢別延べ患者数(外来)(年間)



地域別患者構成(外来)



退院（転科含む）患者疾病別統計表

(単位：件)

コード	病名	総数	総合診療科	消化器科		循環器科	血液内科	腎臓内科	呼吸器科	糖尿病内科	脳神経内科	障害センタ－ 睡眠呼吸	外科	整形外科	泌尿器科	婦人科	脳神経外科	歯科・口腔外科	
				消化管内科	肝胆脾内科														
I	(A00.0-B99) 感染症および寄生虫症	男	80	15	19	12	2	9	1	13	0	2	0	4	0	2	0	1	0
		女	80	11	28	6	1	5	0	12	0	3	0	8	0	1	4	1	0
II	(C00.0-D48.9) 新生物	男	2,004	3	184	39	2	172	1	144	0	0	0	178	10	1,251	0	19	1
		女	862	2	76	20	0	157	1	78	0	0	0	140	4	184	171	27	2
III	(D50.0-D89.9) 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	男	29	2	3	0	1	13	0	1	0	0	0	6	0	3	0	0	0
		女	18	3	3	0	1	7	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0
IV	(E00.0-E90) 内分泌・栄養および代謝疾患	男	62	16	3	1	4	1	1	1	30	1	0	0	1	2	0	1	0
		女	51	16	2	1	1	1	1	2	22	1	0	1	0	0	1	2	0
V	(F00.0-F99) 精神および行動の障害	男	49	11	12	1	14	4	0	5	0	2	0	0	0	0	0	0	0
		女	25	4	7	1	8	1	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
VI	(G00.0-G99.8) 神経系の疾患	男	231	6	1	0	3	0	1	0	0	36	163	0	1	0	0	20	0
		女	95	2	2	0	3	1	0	0	0	19	48	0	6	1	0	13	0
VII	(H00.0-H59.9) 眼および付属器の疾患	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
VIII	(H60.0-H95.9) 耳および乳様突起の疾患	男	21	14	2	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0
		女	26	18	3	0	0	0	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0
IX	(I00-I99) 循環器系の疾患	男	603	2	14	1	471	3	6	3	1	19	0	2	7	3	0	71	0
		女	245	7	3	0	188	1	3	1	0	11	0	2	1	1	0	27	0
X	(J00-J99.8) 呼吸器系の疾患	男	310	40	5	3	11	25	1	180	0	2	0	36	1	4	0	2	0
		女	230	35	3	1	10	8	2	153	0	6	0	8	0	2	1	1	0
XI	(K00.0-K93.8) 消化器系の疾患	男	830	6	392	91	3	5	1	1	0	0	0	321	0	2	0	0	8
		女	429	5	221	48	2	1	0	0	0	0	0	129	2	2	2	0	17
XII	(L00-L99.8) 皮膚および皮下組織の疾患	男	16	5	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	5	1	0	1	0
		女	16	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0	3	7	2	0	0	0
XIII	(M00.00-M99.99) 筋骨格系および結合組織の疾患	男	87	7	1	0	2	1	0	0	0	6	0	3	66	1	0	0	0
		女	107	8	1	0	1	1	1	1	0	2	0	0	91	0	0	1	0
XIV	(N00-N99.9) 腎尿路生殖器系の疾患	男	903	17	1	1	6	2	91	1	0	1	0	9	1	772	0	1	0
		女	964	34	6	1	6	0	69	2	1	0	0	20	0	581	244	0	0
XV	(O00.0-O99.8) 妊娠、分娩および産じょく	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	0	0
XVI	(P00.0-P96.9) 周産期に発生した病態	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
XVII	(Q00.0-Q99.9) 先天奇形・変形および染色体異常	男	12	2	1	0	0	0	5	0	0	0	0	0	1	0	0	3	0
		女	10	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	5	1	0	0
XVIII	(R00.0-R99) 症状・兆候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	男	33	7	5	0	2	2	0	11	0	1	0	1	1	3	0	0	0
		女	21	4	7	0	1	0	0	6	0	1	0	0	0	0	0	2	0
XIX	(S00.0-T98.3) 損傷・中毒およびその他の外因の影響	男	343	7	9	3	1	4	22	1	0	1	0	3	237	14	0	39	2
		女	344	10	3	1	6	1	24	0	0	0	0	1	270	3	2	23	0
XXI	(Z00.0-Z99.9) 健康状態に影響を及ぼす要因および保健サービスの利用	男	12	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
		女	7	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
合計		男	5,625	160	652	152	523	252	131	362	31	72	163	566	331	2,059	0	160	11
		女	3,549	160	366	79	229	190	102	261	25	47	48	313	382	783	448	97	19
		計	9,174	320	1,018	231	752	442	233	623	56	119	211	879	713	2,842	448	257	30

死亡退院患者疾病別統計表

(単位：件)

コード	病名		総数	総合診療科	消化器科		循環器科	血液内科	腎臓内科	呼吸器科	糖尿病内科	脳神経内科	障害センター 睡眠呼吸	外科	整形外科	泌尿器科	婦人科	脳神経外科	歯科・口腔外科
					消化管内科	肝胆膵内科													
I	(A00.0-B99) 感染症および寄生虫症	男	7	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	0	1	0	0	0
		女	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
II	(C00.0-D48.9) 新生物	男	53	0	5	7	0	11	0	5	0	0	0	10	0	13	0	2	0
		女	16	0	1	2	0	5	0	1	0	0	0	4	0	2	0	1	0
III	(D50.0-D89.9) 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
IV	(E00.0-E90) 内分泌・栄養および代謝疾患	男	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
V	(F00.0-F99) 精神および行動の障害	男	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
VI	(G00.0-G99.8) 神経系の疾患	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
VII	(H00.0-H59.9) 眼および付属器の疾患	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
VIII	(H60.0-H95.9) 耳および乳様突起の疾患	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
IX	(I00-I99) 循環器系の疾患	男	6	0	0	0	1	2	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0
		女	6	0	1	0	2	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
X	(J00-J99.8) 呼吸器系の疾患	男	32	5	2	1	0	6	1	12	0	0	0	4	0	0	0	1	0
		女	12	2	0	0	3	1	0	5	0	0	0	0	1	0	0	0	0
XI	(K00.0-K93.8) 消化器系の疾患	男	3	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
XII	(L00-L99.8) 皮膚および皮下組織の疾患	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
XIII	(M00.00-M99.99) 肋骨格系および結合組織の疾患	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
XIV	(N00-N99.9) 腎尿路生殖器系の疾患	男	2	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
XV	(O00.0-O99.8) 妊娠、分娩および産じょく	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
XVI	(P00.0-P96.9) 周産期に発生した病態	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
XVII	(Q00.0-Q99.9) 先天奇形・変形および染色体異常	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
XVIII	(R00.0-R99) 症状・兆候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	4	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
XIX	(S00.0-T98.3) 損傷・中毒およびその他の外因の影響	男	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
XXI	(Z00.0-Z99.9) 健康状態に影響を及ぼす要因および保健サービスの利用	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		男	107	7	7	9	3	22	1	20	0	1	0	19	0	15	0	3	0
		女	43	5	2	3	6	7	0	7	0	1	0	8	1	2	0	1	0
		計	150	12	9	12	9	29	1	27	0	2	0	27	1	17	0	4	0

9. 診療実績

〈病院全体〉

DPC14 桁分類

※ CCPM：手術処置と副傷病等の組み合わせに基づく医療資源必要度分類
 ※ 短手3：短期滞在手術等基本料3

No.	DPC14 桁	DPC 名称	症例数	平均日数
1	110080xx991x0x	前立腺の悪性腫瘍 手術なし 処置1:前立腺針生検法 副傷病なし	383	2.3
2	060100xx01xx0x	小腸大腸の良性疾患 内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術 副傷病なし	326	3.4
3	11012xxx020x0x	上部尿路疾患 経尿道的尿路結石除去術 処置1なし 副傷病なし	319	5.8
4	030250xx991xxx	睡眠時無呼吸 手術なし 処置1:終夜睡眠ポリグラフィ 1及び2以外の場合	211	2.0
5	110070xx02020x	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 処置1なし 処置2:化学療法(2) 副傷病なし	175	8.6
6	110200xx02xxxx	前立腺肥大症等 経尿道的前立腺手術等	167	8.3
7	110420xx02xx0x	水腎症等 経尿道的尿管ステント留置術等 副傷病なし	158	3.2
8	120090xx97xxxx	生殖器脱出症 その他の手術	151	9.7
9	11013xxx06xxxx	下部尿路疾患 膀胱結石、異物摘出術 経尿道的手術等	147	4.1
10	050050xx99100x	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 処置1:心臓カテーテル法による諸検査 処置2なし 副傷病なし	135	3.2
11	110310xx99xx0x	腎臓または尿路の感染症 手術なし 副傷病なし	132	12.0
12	060160x001xxxx	鼠径ヘルニア 15歳以上 ヘルニア手術 鼠径ヘルニア等	126	4.6
12	110070xx99x20x	膀胱腫瘍 手術なし 処置2:化学療法(2) 副傷病なし	126	10.0
14	040040xx9910xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 処置1:気管支ファイバースコープ等 処置2なし	112	3.9
15	110070xx0200xx	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 処置1なし 処置2なし	106	8.0
16	040080xxCCPM04	肺炎等(04) 75歳以上の市中肺炎 手術なし 処置2なし 重症度:中	92	18.1
17	110080xx01xxxx	前立腺の悪性腫瘍 前立腺悪性腫瘍手術等	90	16.2
18	050050xx02000x	狭心症、慢性虚血性心疾患 経皮的冠動脈形成術等 処置1なし 処置2なし 副傷病なし	85	6.4
19	050130xx99000x	心不全 手術なし 処置1なし 処置2なし 副傷病なし	80	18.5
20	120060xx02xxxx	子宮の良性腫瘍 腹腔鏡下腔式子宮全摘術等	76	6.0

Kコード別分類

No.	Kコード	手術名称	症例数	平均日数	術前日数	術後日数
1	K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術(長径2cm未満)	349	5.8	1.1	3.7
2	K7811	経尿道的尿路結石除去術(レーザー)	306	5.9	1.4	3.4
3	K80361	膀胱悪性腫瘍手術(経尿道的手術)(電解質溶液利用)	297	8.9	1.7	6.2
4	K783-2	経尿道的尿管ステント留置術	277	7.5	1	5.4
5	K841-22	経尿道的レーザー前立腺切除術(その他)	151	8.2	1.5	5.6
6	K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	107	12.4	2.9	8.5
7	K5493	経皮的冠動脈ステント留置術(その他)	102	10.1	3	6.1
8	K8882	子宮附属器腫瘍摘出術(両側)(腹腔鏡)	98	5.4	1	3.4
9	K634	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術(両側)	94	4	0.7	2.3
10	K843-4	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる)	90	16.2	2.9	12.3
11	K802-22	膀胱脱手術(その他)	87	9.9	2.4	6.5
12	K8512	会陰形成手術(筋層に及ぶ)	74	10	2.5	6.5
13	K0483	骨内異物(挿入物を含む)除去術(前腕、下腿)	67	9.4	0.9	7.5
14	K872-3	子宮鏡下有茎粘膜下筋腫切出術、子宮内膜ポリープ切除術	66	3.3	1	1.3
15	K6532	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術(早期悪性腫瘍粘膜下層)	65	9	1	7
16	K800-3	膀胱水圧拡張術	62	3	0.5	1.6
17	K7212	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術(長径2cm以上)	58	7.3	1.3	5
17	K616	四肢の血管拡張術・血栓除去術	58	26.8	8.2	17.6
19	K079-21	関節鏡下靭帯断裂形成手術(十字靭帯)	57	20	1	18
20	K877-2	腹腔鏡下腔式子宮全摘術	55	7.3	1	5.3
20	K773-2	腹腔鏡下腎(尿管)悪性腫瘍手術	55	17.4	3.5	12.9

〈内科系〉
総合診療科

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数
1	110310xx99xx0x	腎臓または尿路の感染症 手術なし 副傷病なし	42	11.5
2	030400xx99xxxx	前庭機能障害 手術なし	22	4.8
3	100380xxxxxxxx	体液量減少症	19	9.9
4	040081xx99x00x	誤嚥性肺炎 手術なし 処置2なし 副傷病なし	13	27.5
5	170020xxxxxx0x	精神作用物質使用による精神および行動の障害 副傷病なし	12	1.6
5	030410xxxxxxxx	めまい	12	6.3
5	040080xxCCPM04	肺炎等(04)75歳以上の市中肺炎 手術なし 処置2なし 重症度:中	12	11.5
8	040070xxxxx0xx	インフルエンザ、ウイルス性肺炎 処置2なし	9	8.8
9	080020xxxxxxxx	带状疱疹	8	9.9
9	040080xxCCPM12	肺炎等(12)15歳以上その他の肺炎等 手術なし 処置2なし	8	16.3

脳神経内科

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数
1	010060xxCCPM02	脳梗塞(02)手術なし 処置1なし 処置2:脳血管疾患等リハ(2) 副傷病:なし/水頭症等(1)他	15	15.1
2	010230xx99x00x	てんかん 手術なし 処置2なし 副傷病なし	10	6.7
3	010060xxCCPM04	脳梗塞(04)手術なし 処置1なし 処置2:ラジカット(4) 副傷病:なし/水頭症等(1)他	6	11.5
4	010080xx99x001	脳脊髄の感染を伴う炎症 手術なし 処置2なし 副傷病なし 15歳以上	5	8.2
4	030400xx99xxxx	前庭機能障害 手術なし	5	13.0
6	010200xx99x00x	水頭症 手術なし 処置2なし 副傷病なし	4	4.8
6	010069xx99000x	脳卒中の続発症 手術なし 処置1なし 処置2なし 副傷病なし	4	13.5

消化管内科

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数
1	060100xx01xx0x	小腸大腸の良性疾患 内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術 副傷病なし	324	3.4
2	060020xx04x0xx	胃の悪性腫瘍 内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 処置2なし	62	9.0
3	060102xx99xxxx	穿孔または膿瘍を伴わない憩室性疾患 手術なし	46	8.2
4	060090xx02xxxx	胃の良性腫瘍 内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 その他のポリープ・粘膜切除術等	33	6.7
5	060100xx01xx1x	小腸大腸の良性疾患 内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術 副傷病:頻脈性不整脈等	26	3.4
5	060210xx9910xx	ヘルニアの記載のない腸閉塞 手術なし 処置1:イレウス用ロングチューブ挿入法 処置2なし	26	13.5
7	060130xx99000x	食道、胃、十二指腸、他腸の炎症 手術なし 処置1なし 処置2なし 副傷病なし	23	6.7
7	060190xx99x0xx	虚血性腸炎 手術なし 処置2なし	23	11.7
9	060380xxxxx0xx	ウイルス性腸炎 処置2なし	21	6.2
9	060102xx02xxxx	穿孔または膿瘍を伴わない憩室性疾患 小腸結腸内視鏡的止血術等	21	7.6
9	060210xx99000x	ヘルニアの記載のない腸閉塞 手術なし 処置1なし 処置2なし 副傷病なし	21	8.0

肝胆膵内科

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数
1	060050xx99x00x	肝・肝内胆管の悪性腫瘍 手術なし 処置2なし 副傷病なし	25	11.6
2	060300xx0100xx	肝硬変 食道・胃静脈瘤手術等 処置1なし 処置2なし	22	7.7
3	060570xx99xxxx	その他の消化管の障害 手術なし	21	4.1
4	060300xx99x00x	肝硬変 手術なし 処置2なし 副傷病なし	20	9.0
5	060340xx03x00x	胆管結石、胆管炎 限局性腹腔膿瘍手術等 処置2なし 副傷病なし	15	11.4
6	060335xx99x00x	胆嚢水腫、胆嚢炎等 手術なし 処置2なし 副傷病なし	12	10.8
7	060340xx99x00x	胆管結石、胆管炎 手術なし 処置2なし 副傷病なし	11	17.4
8	060350xx99x00x	急性膵炎 手術なし 処置2なし 副傷病なし	8	11.3
9	060270xx99x0xx	劇症肝炎、急性肝不全、急性肝炎 手術なし 処置2なし	7	15.9
10	060050xx97x00x	肝・肝内胆管の悪性腫瘍 その他の手術 処置2なし 副傷病なし	5	11.8
10	060050xx97x2xx	肝・肝内胆管の悪性腫瘍 その他の手術 処置2:化学療法なしかつ放射線療法あり(2)	5	14.2

循環器科

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数
1	050050xx99100x	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 処置1:心臓カテーテル法による諸検査 処置2なし 副傷病なし	133	3.2
2	050050xx02000x	狭心症、慢性虚血性心疾患 経皮的冠動脈形成術等 処置1なし 処置2なし 副傷病なし	85	6.4
3	050130xx99000x	心不全 手術なし 処置1なし 処置2なし 副傷病なし	78	18.4
4	050050xx99200x	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 処置1:心カテ検査+血管内超音波検査 処置2なし 副傷病なし	47	4.0
5	050170xx03000x	閉塞性動脈疾患 動脈塞栓除去術 その他のもの等 処置1なし 処置2なし 副傷病なし	28	7.8
6	050070xx99000x	頻脈性不整脈 手術なし 処置1なし 処置2なし 副傷病なし	24	3.5
6	050210xx97000x	徐脈性不整脈 その他の手術 処置1なし 処置2なし 副傷病なし	24	16.0
8	170020xxxxxx0x	精神作用物質使用による精神および行動の障害 副傷病なし	20	1.4
9	050050xx02030x	狭心症、慢性虚血性心疾患 経皮的冠動脈形成術等 処置1なし 処置2:tPA等 (3) 副傷病なし	14	11.3
10	050050xx99130x	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 処置1:心臓カテーテル法による諸検査 処置2:tPA等 (3) 副傷病なし	13	5.2
10	050030xx97000x	急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞 その他の手術 処置1なし 処置2なし 副傷病なし	13	14.7

血液内科

※ adv ; DPC 対象外

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数
1	130030xx99x40x	非ホジキンリンパ腫 手術なし 処置2: リツキサン (4) 副傷病なし	38	21.9
2	130030xx97x40x	非ホジキンリンパ腫 その他の手術 処置2: リツキサン (4) 副傷病なし	28	35.5
3	130030xxxxadv	非ホジキンリンパ腫 + 高額薬剤使用等により DPC 対象外	26	67.3
4	130040xxxxadv	多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物 + 高額薬剤使用等により DPC 対象外	23	42.7
5	130040xx99x5xx	多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物 手術なし 処置2: ファリーダック等 (5)	22	33.6
6	130010xx97x2xx	急性白血病 その他の手術 処置2: 化学療法 (2)	17	51.5
7	040080xxCCPM01	肺炎等 (01) 15歳～74歳の市中肺炎 手術なし 処置2なし 副傷病なし 軽症	16	13.4
8	130060xx99x4xx	骨髄異形成症候群 手術なし 処置2: ビダーザ (4)	13	18.1
9	130030xx97x3xx	非ホジキンリンパ腫 その他の手術 処置2: 化学療法ありかつ放射線療法なし (3)	12	51.0
10	130030xx99x30x	非ホジキンリンパ腫 手術なし 処置2: 化学療法ありかつ放射線療法なし (3) 副傷病なし	11	24.3

腎臓内科

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数
1	110280xx03x0xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 内シャント血栓除去術等 処置2なし	47	1.6
2	110280xx99000x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 処置1なし 処置2なし 副傷病なし	28	14.6
3	110280xx02x1xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 動脈形成術、吻合術 その他の動脈等 処置2: 人工腎臓 (1)	18	44.8
4	110280xx991x0x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 処置1: 経皮的針生検法 副傷病なし	14	12.0
5	110280xx02x00x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 動脈形成術、吻合術 その他の動脈等 処置2なし 副傷病なし	13	13.2
6	180040xx97x0xx	手術・処置等の合併症 その他の手術 処置2なし	12	1.6
6	110280xx99010x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 処置1なし 処置2: 人工腎臓 (1) 副傷病なし	12	17.8
8	110260xx99x0xx	ネフローゼ症候群 手術なし 処置2なし	9	28.0
9	140550xx99x1xx	先天性嚢胞性腎疾患 手術なし 処置2: サムスカ	5	5.2
9	050180xx97xxxx	静脈・リンパ管疾患 その他の手術	5	5.4

呼吸器科

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数
1	040040xx9910xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 処置1: 気管支ファイバースコープ等 処置2なし	109	3.3
2	040080xxCCPM04	肺炎等 (04) 75歳以上の市中肺炎 手術なし 処置2なし 重症度: 中	65	18.4
3	040080xxCCPM02	肺炎等 (02) 15歳～74歳の市中肺炎 手術なし 処置2なし 副傷病なし 重症度: 中	35	16.9
4	040110xxxxx0xx	間質性肺炎 処置2なし	31	22.4
5	040080xxCCPM01	肺炎等 (01) 15歳～74歳の市中肺炎 手術なし 処置2なし 副傷病なし 軽症	27	11.0
6	040040xx9900xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 処置1なし 処置2なし	20	19.9
7	040081xx99x00x	誤嚥性肺炎 手術なし 処置2なし 副傷病なし	18	15.2
8	040100xxxxx00x	喘息 処置2なし 副傷病なし	17	8.5
9	040200xx99x00x	気胸 手術なし 処置2なし 副傷病なし	16	9.6
9	040120xx99000x	慢性閉塞性肺疾患 手術なし 処置1なし 処置2なし 副傷病なし	16	15.9

糖尿病内科

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数
1	100070xxCCPM02	2型糖尿病 末梢循環不全なし (02) 手術なし 処置2: インスリン注射 (1) 85歳未満	28	14.5
2	100070xxCCPM01	2型糖尿病 末梢循環不全なし (01) 処置2なし	6	5.8
3	100060xxCCPM02	1型糖尿病 末梢循環不全なし (02) 手術なし 処置2: インスリン注射 (1) 85歳未満	4	19.8
4	100040xxxxx00x	糖尿病性ケトアシドーシス、非ケトン昏睡 処置2なし 副傷病なし	3	17.7

睡眠呼吸障害センター

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数
1	030250xx991xxx	睡眠時無呼吸 手術なし 処置1: 終夜睡眠ポリグラフィー 1及び2以外の場合	211	2.0

〈外科系〉

外科

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数
1	060160x001xxxx	鼠径ヘルニア 15歳以上 ヘルニア手術 鼠径ヘルニア等	125	4.6
2	060330xx02xxxx	胆嚢疾患 腹腔鏡下胆嚢摘出術等	51	7.3
3	060335xx02000x	胆嚢水腫、胆嚢炎等 腹腔鏡下胆嚢摘出術等 処置1なし 処置2なし 副傷病なし	35	9.4
4	060150xx03xxxx	虫垂炎 虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴わないもの等	30	5.6
4	060150xx02xxxx	虫垂炎 虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴うもの等	30	8.5
6	060035xx01000x	結腸の悪性腫瘍 結腸切除術等 処置1なし 処置2なし 副傷病なし	24	21.3
7	040040xx97x0xx	肺の悪性腫瘍 その他の手術 処置2なし	23	19.4
8	060170xx02xxxx	閉塞、壊疽のない腹腔のヘルニア ヘルニア手術 腹壁瘢痕ヘルニア等	21	11.7
9	060020xx02x00x	胃の悪性腫瘍 胃切除術 悪性腫瘍手術等 処置2なし 副傷病なし	13	22.7
10	110310xx99xx0x	腎臓または尿路の感染症 手術なし 副傷病なし	12	14.8

乳腺内分泌外科

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数
1	090010xx01x0xx	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術等 処置2なし	25	13.6
2	090010xx02x0xx	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術 (腋窩部郭清を伴わないもの) 処置2なし	17	10.0
3	090010xx97x0xx	乳房の悪性腫瘍 その他の手術 処置2なし	10	4.3
4	090020xx97xxxx	乳房の良性腫瘍 その他の手術	4	3.3
5	060050xx97x00x	肝・肝内胆管の悪性腫瘍 その他の手術 処置2なし 副傷病なし	3	4.3

整形外科

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数
1	160620xx01xxxx	肘、膝の外傷 腱縫合術等	74	19.3
2	160800xx01xxxx	股関節・大腿近位の骨折 人工骨頭挿入術 肩、股等	42	26.2
3	160760xx97xxxx	前腕の骨折 その他の手術	37	7.2
4	070230xx01xxxx	膝関節症 人工関節再置換術等	35	30.9
5	160620xx02xxxx	肘、膝の外傷 関節滑膜切除術等	31	10.0
6	160850xx02xxxx	足関節・足部の骨折・脱臼 関節鏡下靭帯断裂縫合術 指 (手、足) その他の靭帯等	24	9.2
7	160690xx99xx0x	胸椎、腰椎以下骨折損傷 手術なし 副傷病なし	22	20.6
8	160620xx97xxxx	肘、膝の外傷 その他の手術	21	5.1
8	070085xx97xxxx	滑膜炎、腱鞘炎、軟骨などの炎症 (上肢以外) その他の手術	21	21.4
10	070370xx99xxxx	脊椎骨粗鬆症 手術なし	19	17.7

泌尿器科

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数
1	110080xx991x0x	前立腺の悪性腫瘍 手術なし 処置1: 前立腺針生検法 副傷病なし	382	2.3
2	11012xxx020x0x	上部尿路疾患 経尿道的尿路結石除去術 処置1なし 副傷病なし	317	5.8
3	110070xx02020x	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 処置1なし 処置2: 化学療法 (2) 副傷病なし	174	8.6
4	110200xx02xxxx	前立腺肥大症等 経尿道的前立腺手術等	166	8.3
5	110420xx02xx0x	水腎症等 経尿道的尿管ステント留置術等 副傷病なし	152	3.3
6	11013xxx06xxxx	下部尿路疾患 膀胱結石、異物摘出術 経尿道的手術等	147	4.1
7	110070xx99x20x	膀胱腫瘍 手術なし 処置2: 化学療法 (2) 副傷病なし	118	9.9
8	110070xx0200xx	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 処置1なし 処置2なし	105	8.0
9	120090xx97xxxx	生殖器脱出症 その他の手術	101	10.1
10	110080xx01xxxx	前立腺の悪性腫瘍 前立腺悪性腫瘍手術等	90	16.2
11	110310xx99xx0x	腎臓または尿路の感染症 手術なし 副傷病なし	65	11.6
12	11012xxx97xx0x	上部尿路疾患 その他の手術 副傷病なし	62	9.1
13	11012xxx040x0x	上部尿路疾患 体外衝撃波腎・尿管結石破碎術 (一連につき) 処置1なし 副傷病なし	51	1.1
14	110060xx99x20x	腎盂・尿管の悪性腫瘍 手術なし 処置2: 化学療法 (2) 副傷病なし	48	11.4
15	110060xx99x0xx	腎盂・尿管の悪性腫瘍 手術なし 処置2なし	47	7.8
16	11001xxx01x0xx	腎腫瘍 腎 (尿管) 悪性腫瘍手術等 処置2なし	44	14.7
17	110080xx9903xx	前立腺の悪性腫瘍 手術なし 処置1なし 処置2: タキソテル等 (3)	43	20.7
18	110070xx99x0xx	膀胱腫瘍 手術なし 処置2なし	40	8.5
19	11013xxx97xxxx	下部尿路疾患 その他の手術	37	5.1
20	110060xx01x0xx	腎盂・尿管の悪性腫瘍 腎 (尿管) 悪性腫瘍手術等 処置2なし	34	16.6

婦人科

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数
1	120060xx02xxxx	子宮の良性腫瘍 腹腔鏡下腔式子宮全摘術等	75	6.1
2	120220xx01xxxx	女性性器のポリープ 子宮全摘術等	62	3.1
3	120090xx97xxxx	生殖器脱出症 その他の手術	49	8.9
4	120060xx01xxxx	子宮の良性腫瘍 子宮全摘術等	44	8.6
5	120100xx01xx0x	子宮内膜症 子宮全摘術等 副傷病なし	43	5.3
5	120070xx02xxxx	卵巣の良性腫瘍 卵巣部分切除術 (腔式を含む) 腹腔鏡によるもの等	43	5.3
7	120230xx02xxxx	子宮の非炎症性障害 子宮鏡下子宮中隔切除術、子宮内腔癒着切除術等	24	2.6
8	120100xx02xxxx	子宮内膜症 腹腔鏡下腔式子宮全摘術等	14	6.7
9	120130xx97xxxx	異所性妊娠 その他の手術	11	4.8
10	120110xx99xx0x	子宮・子宮附属器の炎症性疾患 手術なし 副傷病なし	10	6.9

脳神経外科

No.	DPC14桁	DPC名称	症例数	平均日数
1	160100xx97x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 その他の手術 処置2なし 副傷病なし	26	12.2
2	160100xx99x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 手術なし 処置2なし 副傷病なし	15	10.7
3	010060xxCCPM02	脳梗塞 (02) 手術なし 処置1なし 処置2: 脳血管疾患等リハ (2) 副傷病: なし/水頭症等 (1) 他	14	19.9
4	010060xxCCPM04	脳梗塞 (04) 手術なし 処置1なし 処置2: ラジカット (4) 副傷病: なし/水頭症等 (1) 他	13	21.2
5	010070xx02x2xx	脳血管障害 経皮的頸動脈ステント留置術 処置2:SPECT 等 (2)	10	14.3
6	010010xx9909xx	脳腫瘍 手術なし 処置1なし 処置2: アバスタチン (9)	9	33.1
7	010010xx01x00x	脳腫瘍 頭蓋内腫瘍摘出術等 処置2なし 副傷病なし	8	36.5
8	010061xxxxx0xx	一過性脳虚血発作 処置2なし	7	3.1
8	010050xx02x00x	非外傷性硬膜下血腫 慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術等 処置2なし 副傷病なし	7	15.9
8	010230xx99x00x	てんかん 手術なし 処置2なし 副傷病なし	7	17.3
8	010040x099000x	非外傷性頭蓋内血腫 JCS10未満 手術なし 処置1なし 処置2なし 副傷病なし	7	20.7
8	010010xx9905xx	脳腫瘍 手術なし 処置1なし 処置2: 化学療法ありかつ放射線療法なし (5)	7	26.7

● 10. 診療技術部統計

・ 薬剤科

(単位：件)

項 目		平成28年度	平成29年度	平成30年度	1日平均
処方枚数	入院	67,605	69,063	66,529	232.6
	外来	5,390	5,432	5,472	19.1
	計	72,995	74,495	72,001	251.8
調剤数	入院	126,386	134,421	131,815	460.9
	外来	8,395	8,459	8,589	30.0
	計	134,781	142,880	140,404	490.9
延調剤数	入院	687,514	786,448	751,416	2,627.3
	外来	44,318	37,076	64,637	226.0
	計	731,832	823,524	816,053	2,853.3
薬剤管理指導件数		9,464	9,885	9,890	34.6

・ 超音波検査科

(単位：件)

項 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	1日平均
内 科	4,216	4,311	3,915	13.4
外 科	3,079	3,452	2,905	9.9
泌尿器科	29,979	29,487	28,183	96.5
婦人科	4,273	4,740	5,262	18.0
健 診	5,653	6,079	6,379	21.8
ウロダイナミクス	864	815	858	2.9
合 計	48,064	48,884	47,502	162.7
ドック（再掲）	157	113	100	0.3
穿刺（再掲）	637	750	635	2.2

・ リハビリテーション科

(単位：件)

項 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	1日平均
運 動 器	13,351	11,477	13,860	56.8
脳 血 管	12,548	12,382	8,114	33.3
呼 吸 器	3,125	3,345	4,019	16.5
心 大 血 管	1,665	3,219	3,526	14.5
がんリハビリ	7,810	7,569	10,745	44.0
廃用症候群	3,171	3,045	3,378	13.8
リハビリ総合計画評価科	896	1,976	2,101	8.6

・栄養科（給食件数）

（単位：件）

項 目		平成28年度	平成29年度	平成30年度	1日平均
一般食	常食	137,156	142,232	139,884	383.2
	軟食	11,582	11,397	11,182	30.6
	特室食	15,126	15,557	14,657	40.2
	計	163,864	169,186	165,723	454.0
特食	特食(加算)	71,521	66,648	71,075	194.7
	特食(非加算)	27,207	30,792	27,950	76.6
	計	98,728	97,440	99,025	271.3
その他(検食)		3,558	4,136	4,234	11.6
合 計		266,120	270,762	268,982	736.9
				1食平均	245.6

・栄養科（栄養指導）

（単位：件）

項 目		平成28年度	平成29年度	平成30年度	1日平均
糖 尿 病		364	234	175	0.5
循 環 器 疾 患		72	97	103	0.3
脂 質 異 常 症		11	4	9	0.0
腎 臓 病		795	849	740	2.0
透 析		1,381	1,281	302	0.8
そ の 他		107	101	87	0.2
合 計		2,730	2,566	1,416	3.9

・臨床工学科

（単位：件）

項 目		平成28年度	平成29年度	平成30年度	1日平均
人工呼吸器 使用回数	挿管・気切	43	43	45	0.2
	マ ス ク	41	57	52	0.2
	計	84	100	97	0.4
ペースメーカー	植込・交換	20	28	24	0.1
	外来チェック	126	137	133	0.5
	病棟チェック	36	31	23	0.1
	計	182	196	180	0.7
透 析 回 数	腎クリニック	18,356	17,762	17,669	56.3
	腎センター	1,815	2,069	2,279	7.3
	計	20,171	19,831	19,948	63.9
血液浄化回数		39	50	21	0.1
修 理 件 数	院内修理	277	168	171	0.7
	院外修理	41	27	21	0.1
	計	357	195	192	0.8
ハイパー サーミア	新 患	59	53	46	0.2
	件 数	1,076	1,027	1,142	4.6

・放射線科（検査件数）

（単位：件）

項 目		平成28年度	平成29年度	平成30年度	1日平均	
単 純	胸 部	31,098	31,064	31,334	106.9	
	腹 部	4,903	4,768	3,674	12.5	
	尿 路 系	8,752	8,686	8,174	27.9	
	骨 格	8,384	8,675	7,615	26.0	
	乳 房	2,862	3,018	2,950	10.1	
計		55,999	56,211	53,747	183.4	
造 影	消 化 器	胃・食道	4,028	3,649	3,616	12.3
		大 腸	129	113	93	0.3
		胆 嚢・胆 管	20	4	0	0.0
		術 中 胆 管	96	119	111	0.4
	計		4,273	3,885	3,820	13.0
	H S G		59	65	47	0.2
	尿 路 系		1,764	1,482	1,189	4.1
	透 視 下 造 影		1,744	1,711	1,485	5.1
計		7,840	7,143	6,541	22.3	
C T（東館1F）		14,804	14,308	14,429	49.2	
C T（救急外来）		2,042	2,179	2,271	7.8	
M R I		5,612	5,863	5,671	19.4	
R I		1,130	1,184	1,085	3.7	
R I（治療）		4	44	34	0.1	
心臓カテーテル		600	604	574	2.0	
一般アンギオ		151	150	139	0.5	
骨 塩 定 量		854	986	955	3.3	
合 計		89,036	88,672	85,446	291.6	

・放射線科（治療件数）

項 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	1日平均
外 部 照 射	6,744	7,028	5,682	19.4
治 療 計 画 C T	333	325	296	1.0
密 封 小 線 源	9	3	3	0.0

・臨床検査科（生理検査）

(単位：件)

項 目		平成28年度	平成29年度	平成30年度	1日平均
主な生理検査	心電図	11,861	11,864	11,600	39.7
	特殊心電図	943	944	762	2.6
	心エコー	6,085	6,297	6,216	21.3
	肺機能	3,852	3,969	4,019	13.8
	脳波	144	198	191	0.7
	心臓カテーテル	504	473	452	1.5
	R1心筋シンチ	48	114	113	0.4
	その他	1,995	2,152	1,934	6.6
計	25,432	26,011	25,287	86.6	
健診	心電図	9,572	9,978	10,849	37.2
	聴力	10,058	10,387	11,140	38.2
	眼底	3,849	4,184	4,287	14.7
	肺活量	3,156	3,442	3,443	11.8
	その他	703	615	609	2.1
計	27,338	28,606	30,328	103.9	
睡眠ポリグラフ	148	170	203	0.7	
合計	52,918	54,787	55,818	191.2	

外注検査	297	269	198	0.7
------	-----	-----	-----	-----

・臨床検査科（病理検査）

(単位：件)

項 目		平成28年度	平成29年度	平成30年度	1日平均
細胞検査	泌尿器科	6,566	6,860	6,068	20.8
	婦人科	2,015	1,868	2,048	7.0
	呼吸器科	447	321	476	1.6
	外科	826	555	362	1.2
	その他	227	185	171	0.6
計	10,081	9,789	9,125	31.3	
病理検査	組織検査	4,847	4,848	5,102	17.5
	迅速	45	40	58	0.2
	免疫染色	515	591	553	1.9
計	5,407	5,479	5,713	19.6	
合計	15,488	15,268	14,838	50.8	

健診	婦人科	1,958	2,150	2,363	8.1
	呼吸器科	112	90	0	0.0
	計	2,070	2,240	2,363	8.1

解剖	0	1	2	0.0
----	---	---	---	-----

・臨床検査科（検体検査）

（単位：件）

項 目		平成28年度	平成29年度	平成30年度	1日平均	
検 体	一般検査	一 般	125,800	124,940	123,978	424.6
		糞 便	424	440	394	1.3
		精 液	246	284	210	0.7
		計	126,470	125,664	124,582	427
	血液検査	一 般	97,338	102,551	108,131	370.3
		凝 固	32,637	30,800	32,097	109.9
		骨 髄	962	915	874	3.0
		血 ガ ス	1,844	1,724	1,647	5.6
	計	132,781	135,990	142,749	489	
	生化学検査	単 項 目	1,314,519	1,331,883	1,385,514	4,744.9
		免 疫 血 清	8,326	8,801	8,841	30.3
		輸 血	11,428	11,141	11,056	37.9
		感 染	11,600	12,465	13,046	44.7
		腫瘍マーカー	35,963	34,706	35,037	120.0
		治験・院内業務	200	132	99	0.3
	計	1,382,036	1,399,128	1,453,593	4,978	
	細菌検査	培 養	13,419	11,656	13,441	46.0
		同 定	5,544	4,859	5,291	18.1
		感 受 性	5,522	4,793	5,227	17.9
		S T D	432	324	274	0.9
		そ の 他	10,365	8,980	10,361	35.5
院 内 業 務		763	686	528	1.8	
計	36,045	31,298	35,122	120		
計	1,677,332	1,692,080	1,756,046	6,014		
健 診	検 尿・検 便	15,027	15,737	17,119	58.6	
	血 液	10,468	10,787	11,481	39.3	
	生化学・免疫	161,272	171,848	181,801	622.6	
	計	186,767	198,372	210,401	720.6	
合 計	1,864,099	1,890,452	1,966,447	6,734		
外 注 検 査		48,760	44,596	44,177	151.3	

1. 論文・著書

〈診療部〉

消化管内科

筆頭著者	共同著者	発表課題名	発表誌名		
			掲載著書	巻(号・章):ページ	年号
中村 和彦	—	IL-17	消化器病サイエンス	Vol 2, Nr 2, 89	2018年 6月号
	伊藤 鉄英	パラニューローマ (APUDoma)	日本臨床 別冊 内分泌症候群 IV	386-388	2019年 3月

呼吸器科

筆頭著者	共同著者	発表課題名	発表誌名		
			掲載著書	巻(号・章):ページ	年号
高木 陽一	—	How many staff members know about the Examination of Proficiency in English for Medical Purposes? Questionnaire results of international patient management in Harasanshin Hospital.	Journal of Medical English Education	—	2018年 10月

外科

筆頭著者	共同著者	発表課題名	発表誌名		
			掲載著書	巻(号・章):ページ	年号
当間 宏樹	Kazuhiro Haraguchi, Kei Fujii, Tomonari Kobarai, Ichio Hirota, Toru Eguchi	Laparoscopic and endoscopic cooperative surgery for non-ampullary duodenal epithelial neoplasms	Mini-invasive Surgery	2018;2:21 DOI: 10.20517/2574-1225	2018年

整形外科

筆頭著者	共同著者	発表課題名	発表誌名		
			掲載著書	巻(号・章):ページ	年号
吉武孝次郎	—	後十字靭帯に尿酸結晶沈着とムコイド変性を併発した1例	整形外科と災害外科	第67巻3号	2018年 9月

泌尿器科

筆頭著者	共同著者	発表課題名	発表誌名		
			掲載著書	巻(号・章):ページ	年号
内藤 誠二	—	2018年版発刊によせて	前立腺がん検診ガイドライン2018年版		2018年
横溝 晃	—	ここが聞きたい! 前立腺癌実地診療	Prostate Cancer Front Line	7 (1): 14-17	2018年
	司会: 鈴木和浩 演者: 井上高光	座談会 前立腺癌における Bone Health	Prostate Journal	5 (2): 195-200	2018年
野村 博之	—	特集 尿路性器がん患者の長期フォロー 筋層非浸潤性膀胱癌 (NMIBC) の適切な経過観察法	泌尿器外科	31 (12): 1601-1603	2018年
	山口 秋人	前立腺レーザー蒸散術: LBO か Diode か Thulium か?	泌尿器外科	31 (3): 285-289	2018年
—	—	6. Laser vaporization (PVP/CVP)	泌尿器外科	31 特別号: 94-101	2018年

婦人科

筆頭著者	共同著者	発表課題名	発表誌名		
			掲載著書	巻(号・章):ページ	年号
片岡 恵子	—	子宮脂肪平滑筋腫に対して腹腔鏡下子宮全摘術を施行した1例	福岡産科婦人科学会雑誌	第42巻第2号	2019年 1月
	—	腹腔鏡下卵巣嚢腫摘出術後に腹腔内出血を来し、再手術が必要であった一例	日本産科婦人科内視鏡学会雑誌	Vol.134No2	2019年 1月

2. 学会

〈診療部〉

消化管内科

筆頭発表者	共同発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
中村 和彦	—	炎症性腸疾患診療の up to date	2018年 8月18日	アクロス福岡	第26回 日本大腸検査学会 九州支部会
原口 和太	多田 美苑 松林江里子 松口 崇央 佐々木泰介 瀧澤 延喜 富田 洋介 徳永 紀子 兼城三由紀 松坂 浩史 中村 和彦 千々岩芳春 河野 真司	ESD 困難となりやすい胃体部病変における Pocket-creation method(PCM) の有用性	2018年 6月9日	北九州 国際会議場	第105回 日本消化器内視鏡学会 九州支部例会
松林江里子	多田 美苑 佐々木泰介 松口 崇央 瀧澤 延喜 富田 洋介 徳永 紀子 原口 和太 兼城三由紀 松坂 浩史 中村 和彦 千々岩芳春 当間 宏樹	パンパパー埋没症候群の一例	2018年 6月9日	北九州 国際会議場	第105回 日本消化器内視鏡学会 九州支部例会
	丸山 薫 大久保彰人 松口 崇央 瀧澤 延喜 富田 洋介 徳永 紀子 原口 和太 兼城三由紀 松坂 浩史 中村 和彦 千々岩芳春	胃底腺粘膜型胃癌との鑑別を要した Hamartomatous inverted polyp の一例	2018年 11月10日	城山ホテル 鹿児島	第106回 日本消化器内視鏡学会 九州支部例会
大久保彰人	丸山 薫 松林江里子 松口 崇央 瀧澤 延喜 富田 洋介 徳永 紀子 原口 和太 松坂 浩史 千々岩芳春 中村 和彦 河野 真司	FP 療法が無効であった食道癌肉腫の一例	2018年 11月9日	城山ホテル 鹿児島	第106回 日本消化器内視鏡学会 九州支部例会
徳永 紀子	多田 美苑 松林江里子 佐々木泰介 松口 崇央 瀧澤 延喜 富田 洋介 原口 和太 兼城三由紀 松坂 浩史 千々岩芳春 中村 和彦	食道生検後に巨大血腫が出現した1例	2018年 6月9日	北九州 国際会議場	第105回 日本消化器内視鏡学会 九州支部例会
	丸山 薫 大久保彰人 松林江里子 松口 崇央 瀧澤 延喜 富田 洋介 原口 和太 松坂 浩史 千々岩芳春 中村 和彦 河野 真司	直腸孤立性 Peutz-Jeghers 型ポリープの一例	2018年 11月10日	城山ホテル 鹿児島	第106回 日本消化器内視鏡学会 九州支部例会

循環器科

筆頭発表者	共同発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
山本 光孝	—	合同シンポジウム 外科のない施設でのハートチーム：福岡スタイル	2018年11月17日	ホテル日航熊本	第32回日本冠疾患学会学術集会
伊勢川健吾	山本 光孝 井上 晃太 片岡 仲裕 赤塚 祐二	VIABAHN 留置を行った反省2症例	2018年6月6日	ホテルセントラザ博多	:Evening of Clinical Discussion
	—	解剖学的評価が困難な急性心筋梗塞の一例	2018年10月5日	ANAクラウンプラザホテル	ナインシグナル心臓外科のない施設での試み
井上 晃太	—	PCSK9阻害薬による脂質管理を行い、血管内超音波にて経過を観察した一例	2018年6月25日	TKPガーデンシティ博多	博多区内科医会循環器懇話会
	—	PCSK9阻害薬を用いて血行再建を回避できるか？	2018年7月9日	ヒルトン福岡シーホーク	第3回安定狭心症患者の治療を考える会
	—	緊急心カテを施行した5症例（心電図と冠動脈造影の対比を中心に）	2019年2月25日	TKPガーデンシティ博多	博多区内科医会循環器懇話会
	—	循環器内科で難渋した病態に関して検討する	2019年2月27日	九州大学病院総合研究棟104号室	第5回Fukuoka Heart Team Conference
高根澤 睦	—	冠攣縮性狭心症の一例	2018年12月17日	TKPガーデンシティ博多	博多区内科医会循環器懇話会

血液内科

筆頭発表者	共同発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
上村 智彦	牟田 毅 大崎 浩一 吉田 周郎 小川 亮介 岩崎 浩巳 衛藤 徹也 長藤 宏司 宮本 敏浩 赤司 浩一	Carfilzomib (CFZ, KRd 療法) 治療の安全性：福岡 BMT グループにおける48例の検討～心電図変化と心血管合併症を中心に～	2018年5月13日	東京ベイ幕張ホール	第43回日本骨髄腫学会学術総会
	Aoki T, Yokota N, Hasegawa N, Ishihara D, Umeno T, Urata S, Miyamoto T, Akashi K	Intensified premedication to prevent Infusion-related reactions of daratumumab	2018年10月12日	大阪国際会議場	第59回日本血液学会学術集会
青木 孝友	石原 大輔 浦田 真吾 上村 智彦	呼吸器合併症を発症した造血細胞移植患者における気管支鏡検査の有用性と限界	2019年3月9日	大阪国際会議場	第41回日本造血細胞移植学会総会
	Kamimura T, Ishihara D, Urata S	Impact of rate of adherence on achieving MMR in CML patients in era of 2nd TKI	2018年10月14日	大阪国際会議場	第59回日本血液学会学術集会
浦田 真吾	石原 大輔 青木 孝友 上村 智彦	同種造血幹細胞移植後期を含むCMV感染症高リスク群に対する letemovir 投与の後方視的検討	2019年3月8日	大阪国際会議場	第41回日本造血細胞移植学会総会
石原 大輔	青木 孝友 浦田 真吾 沼田 晃彦 上村 智彦	IFN 併用化学療法が奏効し臍帯血移植により寛解を維持しているEMS症例	2019年3月8日	大阪国際会議場	第41回日本造血細胞移植学会総会
	Tochigi T, Numata A, Matsumoto K, Miyamoto T, Akashi K	Allo-SCT using targeted busulfan-based conditioning regimens for hemodialysis patients	2018年10月13日	大阪国際会議場	第59回日本血液学会学術集会

腎臓内科

筆頭発表者	共同発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
入江 綾	四枝 英樹 浦 佳莉子 稲永 隆	ネフローゼ症候群を契機に腎オンコサイトーマを偶発的に発見された一例	2018年9月29日	徳島県郷土文化会館	第48回日本腎臓学会西部学術大会

呼吸器科

筆頭発表者	共同発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
高木 陽一	—	病院のスタッフで何人が日本医学英語検定試験を知っているのか？原三信病院 医学総会での外国人診療に関するアンケート調査の結果	2018年 7月28日	日本歯科大学 生命歯学部	日本医学英語教育学会
穴井 諭	岩間 映二 米嶋 康臣 大坪 孝平 田中 謙太郎 中西 洋一 岡本 勇	白金製剤とエトキシド併用療法における有害事象とUGT1A1 遺伝子多型の関連	2019年 2月23日	ホテルグランデ はがくれ	日本肺癌学会
指宿 立	櫻井 優子 久末 順子 穴井 諭 高木 陽一 高木 直彦 福山 聡	腫瘍摘出時濾胞腺腫と診断され多発肺転移で再発した甲状腺癌の1例	2019年 2月23日	ホテルグランデ はがくれ	第59回 日本肺癌学会 九州地方会
	櫻井 優子 久末 順子 穴井 諭 高木 直彦 福山 聡	Lambert-Eaton 筋無力症候群による重症呼吸不全が小細胞肺癌の治療により改善した1例	2019年 3月16日	宮崎 市民プラザ	第82回 日本呼吸器学会 九州地方会
櫻井 優子	指宿 立 穴井 諭 久末 順子 高木 陽一 高木 直彦 福山 聡	当院における特発性縦隔気腫7例の検討	2018年 10月6日	長崎ブリック ホール	第81回 日本呼吸器学会 九州支部講演会

脳神経内科

筆頭発表者	共同発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
藤木富士夫	—	脳卒中と排尿障害	2018年 9月29日	名古屋国際 会議場	排尿機能学会

外科

筆頭発表者	共同発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
当間 宏樹	藤井 圭 小原井朋成 橋爪健太郎 廣田伊千夫 江口 徹	腹壁療痕ヘルニアに対する腹膜外操作先行腹腔鏡下 Rives-Stoppa 法の経験	2018年 6月30日	札幌 コンベンション センター	第16回 日本ヘルニア学会 学術集会
	藤井 圭 小原井朋成 橋爪健太郎 廣田伊千夫 江口 徹	腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術 (TEP) の適応拡大における審査腹腔鏡の効用	2018年 6月30日	札幌 コンベンション センター	第16回 日本ヘルニア学会 学術集会
	藤井 圭 小原井朋成 橋爪健太郎 廣田伊千夫 江口 徹	腹腔鏡下右側結腸切除における Reduced Port Surgery の定型化と標準化の臨床的意義	2018年 7月12日	かごしま県民 交流センター	第73回 日本消化器外科学会 総会
	亀田 千津 小原井朋成 橋爪健太郎 廣田伊千夫 江口 徹	腹腔鏡下単径ヘルニア修復術 (TEP) の安全な導入と普及のために	2018年 12月8日	福岡 国際会議場	第31回 日本内視鏡外科学会 総会
小原井朋成	小川 尚洋 伊達 聡美 廣田伊千夫 江口 徹	当院における気嚢法による鏡視下乳腺部分切除術の検討	2018年 5月18日	国立京都 国際会館	第26回 日本乳癌学会
山本 真大	三浦 敬史 亀田 千津 小原井朋成 橋爪健太郎 当間 宏樹 廣田伊千夫 江口 徹	TEP 法により修復した水腎症を伴った鼠径部尿管ヘルニアの一例	2018年 9月8日	札幌 コンベンション センター	第28回 九州内視鏡下外科 手術研究会
	—	腹膜外アプローチによる腹腔鏡下 retromuscular 腹壁癩痕ヘルニア修復術の1例	2019年 2月16日	福岡国際 会議場	第13回 九州ヘルニア研究会

整形外科

筆頭発表者	共同発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
大森 裕己	水内 秀城 潰井 敏 赤崎 幸穂 牛尾 哲郎 崎村 陸 中島 康晴	人工膝関節置換術前計画におけるインプラントサイズ決定の正確性	2019年 3月2日	アクロス福岡	第45回 九州膝関節研究会

泌尿器科

筆頭発表者	共同発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
内藤 誠二	—	SIU Lecture: History of AFU/JUA/SIU	2018年 11月23日	Palais des Congrès	112E CONGRÈS FRANÇAIS D'UROLOGIE (フランス泌尿器科学会)
横溝 晃	—	教育セミナー 19. mCRPC に対する骨標的治療と逐次療法最適化	2018年 4月19日	国立京都 国際会館	第106回 日本泌尿器科学会 総会
	内藤 誠二	シンポジウム21. 根治的治療後の salvage 療法 その適応と治療法 (手術後・放射線治療後) 術後 PSA 再発に対するホルモン療法 VS 放射線療法	2018年 4月21日	国立京都 国際会館	第106回 日本泌尿器科学会 総会
	—	ランチョンセミナー 3 尿路上皮癌の薬物治療の新たな展開: 高齢者の安全な治療を目指して	2018年 5月11日	福井市地域 交流プラザ	第31回 日本老年泌尿器科学会
	—	教育セミナー 2: ライフステージ、リスクに応じた膀胱癌治療の最適化	2018年 10月4日	名古屋 国際会議場	第68回 日本泌尿器科学会 中部総会
	—	イブニングセミナー: 尿路上皮癌治療における Update 講演2 ロボット支援膀胱全摘除術と ERAS プロトコールの最新知見	2018年 10月18日	パシフィコ 横浜	第56回 日本癌治療学会 学術集会
山口 秋人	関 成人 黒松 功 桑原 勝孝 伊原 博行 伊藤 吉三 奥野 博 杉村 芳樹 野村 博之	PVPの有用性と安全性に関する多施設共同前向き研究の解析結果 (術後5年目までの確定成績)	2018年 4月19日	グランド プリンスホテル 京都	第106回 日本泌尿器科学会 総会
武井実根雄	—	女性泌尿器科 [17] 女性泌尿器科領域のアップデート	2018年 4月20日	国立京都 国際会館	日本泌尿器科学会 2018年卒後教育 プログラム
	一倉 祥子 相島真奈美 原 律子 内藤 誠二 山口 秋人	間質性膀胱炎における高齢者の特徴	2018年 5月11日	福井市地域 交流プラザ	第31回 日本老年泌尿器科学会
	原 律子 相島真奈美 一倉 祥子 内藤 誠二 山口 秋人	間質性膀胱炎による頻尿に漢方薬が有効であった1例	2018年 6月23日	ベルサール 飯田橋駅前	第35回 泌尿器科漢方研究会 学術集会
	—	シンポジウム: 日本のガイドライン、世界のガイドライン、未来へのガイドライン 2. TVM	2018年 7月21日	ベルサール 汐留	第20回 日本女性骨盤底医学会
	山口 秋人	EDの労災補償における問題点について	2018年 9月15日	神戸 国際会議場	日本性機能学会 第29回学術総会
	一倉 祥子 相島真奈美 原 律子 内藤 誠二 山口 秋人	間質性膀胱炎における年代別特徴の検討	2018年 9月28日	名古屋 国際会議場	第25回 日本排尿機能学会
	—	教育セミナー 5: 夜間頻尿の診断と治療 - 排尿日誌をどう生かすか -	2018年 10月5日	名古屋 国際会議場	第68回 日本泌尿器科学会 中部総会
	—	Special Lecture 「Interstitial Cystitis/Bladder Pain Syndrome(IC/BPS)」 Diagnosis of interstitial cystitis / bladder pain syndrome	2019年 3月22日	沖縄 コンベンション センター	The 6th Annual Meeting of the Asia-Pacific Urogynecology Association (APUGA)

筆頭発表者	共同発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
原 律子	武井実根雄 相島真奈美 一倉祥子 山田茂智 内藤誠二 山口秋人	当院における Skene 腺嚢胞の治療経験	2018年 7月21日	ベルサール 汐留	第20回 日本女性骨盤底医学会
	武井実根雄 相島真奈美 一倉祥子 内藤誠二 山口秋人	当院における女性原発性膀胱頸部閉塞症例の治療経験	2018年 9月29日	名古屋 国際会議場	第25回 日本排尿機能学会
野村 博之	—	シンポジウム New Era of Laser Prostatectomy 2. PVP：実績と最新のエビデンス	2018年 5月12日	福井県 県民ホール	第7回 PVP 研究会学術集会
	山口 秋人	BPH に対する接触式前立腺レーザー蒸散術 (CVP) の 初期経験	2018年 9月29日	名古屋 国際会議場	第25回 日本排尿機能学会
	—	当院を受診した男子急性尿道炎患者に対する臨床的検討	2018年 11月24日	東京慈恵会 医科大学新橋校	日本感染症学会 第31回学術大会
	山口 秋人 内藤誠二 宮崎薫 横溝晃 一倉晴彦 原律子 志賀健一郎 真崎拓朗 三好邦和	単独施設における PVP 1,400 例の治療成績	2018年 11月29日	仙台 国際センター	第32回 日本泌尿器内視鏡学会 総会
	横溝 晃 宮崎誠二 内藤秋人 山口秋人	原三信病院における PVP1,400 例の治療成績	2019年 3月9日	ANA クラウン プラザホテル 熊本ニュースカイ	日本泌尿器科学会 第197回熊本地方会
	横溝 晃 河野真司 山口秋人 内藤誠二 塩田真己 江藤正俊	前立腺全摘標本を用いたモノグラムの妥当性の検討	2018年 4月21日	国立京都 国際会館	第106回 日本泌尿器科学会 総会
志賀健一郎	横溝 晃 山口秋人 内藤誠二	当院における BCG 膀胱内注入療法を行った患者のツ反 の施行実態と臨床的特徴の解析	2018年 5月12日	福井市地域 交流プラザ	第31回 日本老年泌尿器科学会
	横溝 晃 山口秋人 内藤誠二	BCG 膀胱内注入療法開始時点での好中球リンパ球比の 生存率予測能に関する臨床的検討	2018年 10月18日	パシフィコ 横浜	第56回 日本癌治療学会 学術集会
	横溝 晃	BCG 膀胱内注入療法患者のツベルクリン反応と治療完遂率、 治療成績との関連	2018年 11月16日	品川プリンス ホテル	第11回 BCG 注入療法研究会
	横溝 晃 三好邦和 山口秋人 内藤誠二	当院におけるロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術 (RAPN) の初期経験	2018年 11月27日	仙台 国際センター	第32回 日本泌尿器内視鏡学会 総会
	横溝 晃 三好邦和 山口秋人 内藤誠二	正中臍索温存法による RALP の尿禁制に対する有用性 の検討	2018年 1月26日	名古屋 コンベンション ホール	第11回 日本ロボット外科学会 学術集会
	—	教育セミナー 5. 上部尿路結石に対する内視鏡治療技術 のさらなる普及と発展を目指して PCNL の立場から	2018年 4月19日	国立京都 国際会館	第106回 日本泌尿器科学会 総会
眞崎 拓朗	山田茂智 三好邦和 志賀健一郎 野村博之 一倉晴彦 原律子 宮崎薫 内藤誠二 山口秋人	原三信病院における Miniperc-PNL の治療成績	2018年 4月21日	国立京都 国際会館	第106回 日本泌尿器科学会 総会
	三好 邦和 志賀健一郎 宮崎薫 山口秋人	高齢者に対する miniperc PNL の治療成績	2018年 5月11日	福井市地域 交流プラザ	第31回 日本老年泌尿器科学会
	—	泌尿器科領域講習 尿路結石症講習会 2 「TUL, fTUL」 腎結石に対する fTUL stone free を目指して	2018年 8月25日	大阪国際 交流センター	日本尿路結石症学会 第28回学術集会
	—	ワークショップ1 尿路結石治療、明日への挑戦 再発予防の未来	2018年 11月2日	長崎ブリック ホール	第70回 西日本泌尿器科学会 総会

筆頭発表者	共同発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
眞崎 拓朗	志賀健一郎 山口 秋人 内藤 誠二	原三信病院泌尿器科での非悪性疾患に対する金属ステントの使用経験	2019年 1月19日	ホテル JAL シティ宮崎	日本泌尿器科学会 第90回宮崎地方会 第42回 宮崎大学医学部泌尿器 科学教室開講記念会
一倉 祥子	武井実根雄 相島真奈美 原 律子 内藤 誠二 横溝 晃	骨盤臓器脱手術の中長期的な治療成績	2019年 3月23日	沖縄 コンベンション センター	第13回 日本骨盤臓器脱手術学会 学術集会
川越健太郎	原 律子 横溝 晃 内藤 誠二	尿管坐骨ヘルニアの1例	2019年 1月19日	ホテル JAL シティ宮崎	日本泌尿器科学会 第90回宮崎地方会 第42回宮崎大学医学 部泌尿器科学教室開講 記念会
元 貴彦	熊谷 昌俊 眞崎 拓朗 志賀健一郎 野村 博之 横溝 晃	遺伝性腎癌 (Birt-Hogg-Dube 症候群と Von Hippel Lindau 病) の2例	2019年 2月2日	リーガロイヤル ホテル小倉	日本泌尿器科学会 福岡地方会 第303回例会
熊谷 昌俊	武井実根雄 山口 秋人 内藤 誠二	発症から16時間経過後保存的に治療できた虚血性持続勃起症の1例	2018年 7月28日	電気ビル 共創館	日本泌尿器科学会 福岡地方会 第302回例会
	眞崎 拓朗 武井実根雄 内藤 誠二 山口 秋人	発症から16時間経過後保存的に治療できた虚血性持続勃起症の1例	2018年 9月15日	神戸 国際会議場	日本性機能学会 第29回学術総会

麻酔科

筆頭発表者	共同発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
渡邊 隆郁	香取 清 丸谷 恵子 平井 加奈 下澤 浩基	27ゲージクインケ型脊髄くも膜下麻酔針が体内で破断し、外科的に摘出を行った一例	2018年 9月8日	沖縄 コンベンション センター	九州麻酔科学会 第56回大会

〈看護部〉

看護部長室

筆頭発表者	共同発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
八波 隼	谷合 啓明	当院における流行性ウイルス疾患抗体価の管理	2019年 2月23日	神戸 国際会議場	第34回 日本環境感染症学会 総会・学術集会

本館4階病棟

筆頭発表者	共同発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
徳田 勝哉	山本 裕子 桜沢 貴俊 北川 友貴 木村 絵美 松原 弘和 浦辺 俊一郎 瀧澤 亜由美 花岡 吾子 長沼 秀俊 小久保 謙一 山家 敏彦	モンゴル国における透析看護に関する聞き取り調査	2018年 6月30日	神戸 国際会議場	第63回 日本透析医学会 学術集会・総会
	—	熊本地震で先遣隊として活動して	2018年 7月15日	大阪ハイ テクノロジー 専門学校	第3回 JHAT (日本血液透析 支援チーム) 隊員養成研修会
	—	Practice of dialysis nursing Monitoring	2018年 8月1~5日	モンゴル国 健康省 会議ホール A	MONGOLIAN AND JAPANESE SECOND JOINT SEMINAR ON HEMODIALYSIS TECHNOLOGY AND TREATMENT ADVANCES
	—	Vascular access に対する理学所見の新しい評価方法	2018年 10月14日	広島国際 会議場	第22回 日本アクセス研究会 学術集会

筆頭発表者	共同発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
徳田 勝哉	—	New method to evaluate physical findings for vascular access	2018年 11月10日	ホクト文化 ホール(長野)	第21回 日本腎不全看護研究会 学術集会

本館5階病棟

筆頭発表者	共同発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
有馬 弥生	遠藤 和子	移行にゆらぐ2型糖尿病の中老年男性に「食卓の営みに着目した看護モデル」を用いた援助の効果	2018年 9月24日	ホテル レイクビュー 水戸	第23回 日本糖尿病教育 看護学会 学術集会

東館4階病棟

筆頭発表者	共同発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
宮川みどり	藤川 暢子 武井実根雄	当院の排尿自立指導算定と排尿ケアの実際	2018年 5月12日	福井県 県民ホール	第31回 日本老年泌尿器科学会
横田 亜水	峰 詩緒莉 椎山 智奈 藤川 暢子 三好 邦和 志賀健一郎	ロボット支援下前立腺全摘除術後患者の退院直後における尿失禁状況調査	2018年 5月12日	福井県 県民ホール	第31回 日本老年泌尿器科学会

東館8階病棟

筆頭発表者	共同発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
横田 宜子	豊永万紀子 久保田景子 川崎美智子 柳迫 昌美 上村 智彦	Daratumumab 治療前投薬強化と看護ケアシステム構築の実行可能性と有用性	2019年 2月23日	マリンメッセ 福岡	第33回 日本がん看護学会 ・学術集会
	—	新規薬剤の投与管理と副作用マネジメント	2019年 2月24日	福岡 国際会議場	第33回 日本がん看護学会 ・学術集会
	—	AMA世代ドナーコーディネートの困難な事例～AML患者の父親に対する娘のドナー候補～	2019年 3月9日	大阪 国際会議場	第41回 日本造血細胞移植学会 総会
	志水 美紀 川崎美智子 柳迫 昌美 上村 智彦 佐川佳南枝	同種移植サバイバーが患者支援を通して自分を肯定するプロセス			

内視鏡センター

筆頭発表者	共同発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
仲本 千明	大田 敏枝 有間 雅子 土屋 一	内視鏡定期培養検査プロトコルを使用した洗浄消毒の評価	2018年 6月19日	西日本 総合展示場	第73回 九州消化器内視鏡 技師研究会

泌尿器センター

筆頭発表者	共同発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
松本 治美	藤 美佐代 牛島裕希子	前立腺癌で一年以内内分泌療法を受ける老年患者のQOLの実際と外来看護への期待	2018年 5月12日	福井県 県民ホール	第31回 日本老年泌尿器科学会

放射線治療室

筆頭発表者	共同発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
谷口真佐子	月岡 律子 山下 真紀 金子 浩子 福山 幸秀 古藤 和浩 寺嶋 廣美	トモセラピーを用いた全身照射における身体固定方法の検討	2018年 10月13日	国立京都 国際会議場	日本放射線腫瘍学会 第31回 学術大会

腎臓病センター

筆頭発表者	共同発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
田原 恒	津村 礼 四枝 英樹 石田伊都子	透析現場の中途採用看護師をどう育成するか	2018年 7月1日	神戸 国際展示場	第63回 日本透析医学会 学術集会・総会
	九州CKD 看護研究会 世話人会	福岡市から九州全域へ D L Nのネットワーク拡大の 実際	2018年 11月11日	ホクト文化 ホール (長野県県民 文化会館)	第21回 日本腎不全看護学会 学術集会・総会
津村 礼	田原 恒	透析現場における中途採用看護師の育成について検討 する	2018年 9月16日	九州医学部 百年講堂	第1回 九州CKD看護研究会
岩崎 裕高	秋元 夕香 真鍋 恒 田原 恒 四枝 英樹 山本 光孝 石田伊都子	透析施設におけるフットケアの取り組み ～ABIと血管専門医の回診を初めて～	2018年 6月29日	神戸 国際展示場	第63回 日本透析医学会 学術集会・総会
	岩崎 裕高 真鍋 恒	透析クリニックにおけるフットケアの取り組み ～ABI導入と血管専門医の回診を初めて～	2018年 9月16日	九州医学部 百年講堂	第1回 九州CKD看護研究会
芦刈 幸子	平良 光 田原 恒 四枝 英樹 石田伊都子	新人看護職員 教育指導への取り組み	2018年 7月1日	神戸 国際展示場	第63回 日本透析医学会 学術集会・総会
石川 愛菜	猪口志明子 永露 雄志 田原 恒 石崎 律子 四枝 英樹 石田伊都子	他職種連携によるサルコペニア・フレイル予防への取り 組み	2018年 6月30日	神戸 国際展示場	第63回 日本透析医学会 学術集会・総会
	芦刈 幸子	新人看護師教育プログラムの検討	2018年 9月16日	九州医学部 百年講堂	第1回 九州CKD看護研究会
井手 舞紀	末永 年由	血液透析を受けている患者の足病変への関わり	2018年 9月16日	九州医学部 百年講堂	第1回 九州CKD看護研究会
	津村 礼 田原 恒	定期的フットケアを行うことで下肢重症化を予防でき た一例	2018年 11月10日	ホクト文化 ホール (長野県県民 文化会館)	第21回 日本腎不全看護学会 学術集会・総会
吉岡 莉紗	永露 雄士	透析クリニックにおける災害対策の取り組み～患者参 加型避難訓練10年の振り返り～	2018年 9月16日	九州医学部 百年講堂	第1回 九州CKD看護研究会
	津村 礼 田原 恒	透析クリニックにおける災害対策の取り組み～患者参 加型避難訓練の振り返り～	2018年 11月11日	ホクト文化 ホール (長野県県民 文化会館)	第21回 日本腎不全看護学会 学術集会・総会

訪問看護ステーションおおはま

筆頭発表者	共同発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
染矢麻衣子	横田 亜水 徳永 真弓 栗秋佐智恵 志賀健一郎 小原井朋成	問題行動をとった末期がん患者に対してスピリチュアル ペインに焦点を当て介入した一例	2018年 6月15日	神戸 国際展示場	第23回 日本緩和医療学会 学術大会

〈技術部〉

薬剤科

筆頭発表者	共同発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
長谷川奈南	横田 宜子 久保田景子 河野 祐子 上村 智彦	Daratumumab のレジメン管理システムの構築と実行 可能性	2018年 5月12日	東京ベイ 幕張ホール	第43回 日本骨髄腫学会
河北 俊和	田邊 順子 若松由紀子 四ヶ所里徳 河野 祐子 小原井朋成	オピオイド使用患者の便秘症に対してナルデメジンが 著効した2例	2018年 5月27日	東京ビッグ サイト	第12回 日本緩和医療薬学会 年会

リハビリテーション科

筆頭発表者	共同発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
高橋 大	岡野 雄二	非定型抗精神病薬の服薬2か月後に嚥下障害が顕在化した統合失調症の一例	2018年 9月9日	仙台 国際センター	第24回 摂食嚥下リハビリ テーション学会

臨床工学科

筆頭発表者	共同発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
真鍋 麻実	元村 哲也 井上 文江 寺嶋 廣美	ハイパーサーミアにおけるポリ塩化ビニリデンを用いた評価	2018年 9月1日	福井県 国際交流会館	第35回 日本ハイパー サーミア学会
永田 詢弥	高橋 利和 永露 雄志 嶽本 洋恒 田原 英樹 四枝 伊都子 石田 伊都子	透析監視装置、定期点検におけるマニュアル化の検討	2018年 6月29日	神戸 国際会議場	第63回 日本透析医学会 学術集会・総会
永露 雄志	猪口志明子 石川 愛菜	サルコペニア・フレイル予防への取り組み～多職種連携を考える～	2018年 9月16日	九州医学部 百年講堂	第1回 九州 CKD 看護研究会
高橋 利和	永田 詢弥 永露 雄志	透析監視装置定期点検技術の教育方法の検討	2018年 9月16日	九州医学部 百年講堂	第1回 九州 CKD 看護研究会

臨床検査科

筆頭発表者	共同発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
松井勇二郎	清田麻里奈 和佐野智美	多発性骨髄腫治療中に二次性形質細胞白血病に進展した1例	2018年 5月12日	アクトシティ 浜松	第67回 日本医学検査学会
	清田麻里奈 和佐野智美 石原 大輔 浦田 真吾 青木 孝友 上村 智彦	Ixazomib(IXA) による造血前駆細胞動員の検討	2019年 3月7日	大阪 国際会議場	第41回 日本造血細胞移植学会
	吉田 幸代 荒川 千夏 城成 加奈 長野 文子 和佐野智美	単施設における尿路上皮腫瘍スクリーニング検査733例の後方視的解析	2019年 3月23日	国際医療福祉大学 赤坂キャンパス	第15回 腎泌尿器検査研究会 学術集会
松谷 聖夜	和佐野智美 城成 加奈 二宮美由紀 荒川 千夏 菅 理恵 奥村 雄三 原 直彦	健診尿中に2,8-DHA 結晶が見られた APRT 欠損症の1例	2018年 8月30日	朱鷺メッセ	第59回 日本人間ドック学会

〈事務部〉

企画情報室

筆頭発表者	共同発表者	発表課題名	開催日	場所	学会名称
長峰麻衣子	—	DPC カンファはじめました	2018年 11月21日	九州大学医学部 百年講堂	第57回 診療情報管理研究会

3. 講演・司会・座長

〈診療部〉

消化管内科

筆頭発表者	共同発表者	発表課題名	開催日	場所	学会（講演会）名称
中村 和彦	—	クローン病の新しい治療戦略	2018年 10月5日	ホテル日航 福岡	第2回 ウステキスマブによる クローン病治療検討会
		炎症性腸疾患診療の留意点	2018年 10月16日	インター ネット配信	ヒュミラ インターネット ライブセミナー
		NET に対する内視鏡治療	2018年 12月1日	ベルサール 九段（東京）	NET Academy 2018
		消化管 NET に対する内視鏡治療の適応と手技	2019年 3月2日	ホテル日航 福岡	神経内分泌腫瘍 Meet the Expert in Fukuoka

血液内科

筆頭発表者	共同発表者	発表課題名	開催日	場所	学会（講演会）名称
上村 智彦	—	Ixazomib を活かす継続治療を考える ～アドヒアランス支援の必要性も含めて～	2018年 5月18日	全国WEB会場 (福岡武田 ビルより配信)	ニンラーロ 全国WEB講演会
	—	ニンラーロ継続のための副作用マネジメントとコミュニ ケーション	2018年 5月22日	全国WEB会場 (TKP ガーデ ンシティ博多 より配信)	ニンラーロ 全国WEB講演会
	—	多発性骨髄腫治療の新時代を迎えて	2018年 5月30日	全国WEB会場 (セルジーン 福岡支社 より配信)	Multiple Myelom Web Seminar
	—	Daratumumab 治療に対する院内の取り組みとチーム 医療	2018年 6月15日	パレスホテル 立川	多摩 Hematology SUMMIT 2018
	—	新薬時代の骨髄腫治療戦略と基盤となるチーム医療	2018年 6月22日	ホテルモントレ グラスミア 大阪	B細胞腫瘍セミナー
	—	多発性骨髄腫の治療戦略 ～Ixazomib を中心に～	2018年 7月20日	ホテル日航 大分オアシス タワー	大分ニンラーロ 発売1周年講演会
	—	多発性骨髄腫治療の副作用マネジメント ～医師の視点 から～	2018年 7月27日	久留米萃香園 ホテル	筑後・佐賀血液講演会
	—	私が考える医療チームの醸成	2018年 8月3日	長崎新聞社 文化ホール	多発性骨髄腫に対する これからのチーム医療
	—	カルフィルゾミブの「心血管合併症モニタリングとマネ ジメント	2018年 8月30日	ヒルトン東京	Multiple Myelom Expert Seminar in 新宿
	—	新薬時代の多発性骨髄腫マネジメント	2018年 8月31日	ホテルニュー オータニ長岡	上・中越エリア多発性 骨髄腫チーム 医療講演会
	—	パネルディスカッション 「私が考えるニンラーロの位置づけ：Swith の観点から」	2018年 9月1日	ホテルニュー オータニ大阪	西日本エリア ニンラーロ 1周年講演会
	—	新規薬剤を活かす多発性骨髄腫治療	2018年 9月12日	琵琶湖ホテル	Mutltiple Myeloma Conference in SHIGA
	—	症例を通じて考える CFZ を活かす心血管合併症マネジ メント	2018年 9月14日	福岡大学 医学部 3階 A 会議室	血液腫瘍セミナー
	—	ダラザレックス投与のマネジメント ～実際の DLd (DRd) の経験をベースに～	2018年 9月28日	KIT STUDIO 東京第3スタ ジオより 全国配信	DARAZALEX® Short Webinar
	—	2018年版診療ガイドラインに照らして振り返る ET 症例	2018年 9月29日	ベルサール 東京日本橋	Meet the Expert 2018 for ET
	—	ポスターセッション座長：PS3-26, 多発性骨髄腫：ダ ラツムマブ	2018年 10月14日	大阪 国際会議場	第59回 日本血液学会学術集会

筆頭発表者	共同発表者	発表課題名	開催日	場所	学会（講演会）名称
上村 智彦	—	ダラザレックスの適正な投与マネジメントの検討 ～実際の症例経験をベースに～	2018年10月20日	ナレッジキャピタル コンベンションセンター	Meet the Expert in OSAKA
	—	CFZ を中心とした多発性骨髄腫治療のマネジメント	2018年10月26日	リーガロイヤル小倉ホテル	血液がんマネジメントセミナー
	—	自家移植のメリットと継続治療のメリット	2018年10月28日	福岡大学メディカルホール	骨髄腫・福岡セミナー 2018 患者・家族・医療者のつどい
	—	CFZ を活かす投与マネジメント	2018年11月6日	ホテル日航福岡	福岡血液腫瘍セミナー
	—	Daratumumab を活かす多発性骨髄腫マネジメント	2018年11月8日	金沢白鳥路ホテル山楽	第1回 北陸 B 細胞性腫瘍の会
	—	新規薬剤時代の骨髄腫治療マネジメント	2018年11月9日	ザ・クラウンパレス 新阪急高知	第2回 高知県血液・腫瘍フォーラム
	—	MM 新規薬剤の副作用マネジメント	2018年11月24日	城山ホテル 鹿児島	Hematology Expert Meeting in KAGOSHIMA
	—	当院におけるダラザレックスの使用経験	2018年12月13日	全国WEB会場 (帝国ホテル大阪より配信)	Multiple Myeloma Web Seminar 2018
	—	RRMM におけるダラザレックス使用のポイントの検討—Real World Evidence から何を読み取るか—	2018年12月13日	帝国ホテル大阪	Multiple Myeloma Meet the Expert 2018
	—	アドバイザー	2019年1月29日	ストリングスホテル東京 インターコンチネンタル	DARAZALEX® アドバイザリーボード
	—	骨髄腫新規薬剤を活かす医療チームの協働	2019年2月15日	プロヴェール 渋川	多発性骨髄腫チーム医療セミナー
	—	Multiple Myeloma Highlights In ASH 2018	2019年2月16日	ANA クラウンプラザホテル 福岡	Fukuoka Blood & Marrow Transplant Conference
	—	Discussion Session, Transplant Eligible	2019年2月20日	ホテル日航福岡	Multiple Myeloma Seminar
	—	多発性骨髄腫の病態と新規薬剤	2019年2月24日	福岡国際会議場	第33回 日本がん看護学会 学術集会 教育セミナー
	—	Elotuzumab for RRMM ～現状と可能性～	2019年2月27日	ANA クラウンプラザホテル 福岡	福岡血液腫瘍セミナー
	—	JSCT-MM16：症例登録状況	2019年3月7日	大阪国際会議場	JSCT 研究会 春期例会 2019
	—	多発性骨髄腫の診断と治療 Update	2019年3月8日	大阪国際会議場	第41回 日本造血細胞移植学会 総会 イブニングセミナー
	青木 孝友	—	当院における Elotuzumab 使用経験	2018年5月11日	ハイアットリージェンシー 福岡
—		再発・難治性骨髄腫の現状と薬剤選択	2018年8月17日	福岡武田ビル	Meet the Expert in Hematology
—		新規薬剤時代における多発性骨髄腫	2018年9月29日	ホテルオークラ 福岡	福岡市勤務医内科医会・内科医会 合同学術講演会
石原 大輔	—	PTCY-Haplo 移植後に複数の合併症により救命できなかった ATL 症例	2019年2月16日	ANA クラウンプラザホテル 福岡	Fukuoka Blood & Marrow Transplant Conference

泌尿器科

筆頭発表者	共同発表者	発表課題名	開催日	場所	学会（講演会）名称
内藤 誠二	—	座長：イブニングセミナー4 新規バイオマーカー [- 2]proPSA: 国内多施設共同研究 (PROPHET) の成果と我が国での展望	2018年4月19日	国立京都国際会館	第106回 日本泌尿器科学会 総会
	—	座長：特別企画 人口知能 (AI) の未来と医療	2018年4月20日	国立京都国際会館	第106回 日本泌尿器科学会 総会

筆頭発表者	共同発表者	発表課題名	開催日	場所	学会（講演会）名称
内藤 誠二	—	座長：Opening Lecture Romance in Endourology (Emanuel Montanari)	2018年 6月17日	Hotel Okura	8th International Meeting challenges in Endourology
	—	座長：LIVE: Surgeries Session II Lower Tract	2018年 6月18日	Hotel Okura	8th International Meeting challenges in Endourology
	—	座長：Urology in Asia Session II Endourology	2018年 10月4日	Dragon City Hotel	38th Congress of the Société Internationale d'Urologie
	—	座長：イブニングセミナー9 がん治療中の患者さんの疼痛治療	2018年 10月18日	パシフィコ 横浜	第56回 日本癌治療学会
	—	座長：一般演題【臨床1】	2018年 11月16日	品川プリンス ホテル	第11回 BCG 注入療法研究会
	—	座長：特別講演1 Flexible URS: An Eternal Compromise	2018年 11月28日	仙台 国際センター	第32回 日本泌尿器内視鏡学会 総会
	—	座長：基礎部門セッション6 平成28年度研究助成受賞課題2	2018年 12月8日	東京コンファ レンスセン ター・品川	第34回 前立腺シンポジウム
	—	座長：招請講演 The Da Vinci Code: What does the future hold for robotic surgery?	2019年 1月26日	名古屋 コンベンション ホール	第11回 日本ロボット外科学会
	—	座長：MRI による前立腺癌の診断	2019年 1月29日	福岡県 医師会館	平成30年度 前立腺がん検診 講習会
	—	座長：教育講演II これからの泌尿器科医療と泌尿器科学会に望むこと	2019年 3月23日	ホテルニュー オータニ博多	平成31年度 福岡県泌尿器科医会 総会・教育講演会
横溝 晃	—	一般講演：ゾーフィゴ治療による各種マーカーの推移と安全性	2018年 6月29日	ホテル日航 福岡	Fukuoka Xofigo Seminar 2018
	—	座長	2018年 7月5日	木村情報技術 株式会社	Web Conference Meet The Expert
	—	座長：一般講演	2018年 8月17日	ソラリア 西鉄ホテル	福岡泌尿器癌 地域連携セミナー
	—	座長	2018年 8月18日	ANA クラウン プラザホテル 福岡	Prostate Cancer Expert Meeting in Fukuoka
	—	特別講演：ゾーフィゴ治療の最新情報と治療の実際	2018年 9月6日	伊予鉄会館	愛媛ゾーフィゴ 講演会
	—	講演①：尿路上皮癌における薬物治療の現状と課題	2018年 9月7日	ANA クラウン プラザホテル 福岡	Scientific Exchange Meeting
	—	モデレーター：ポスター 37 尿路上皮癌：薬物療法	2018年 10月18日	パシフィコ 横浜	第56回 日本癌治療学会 学術集会
	—	座長：一般演題15 膀胱癌4	2018年 11月2日	長崎新聞 文化ホール	第70回 西日本泌尿器科学会 総会
	司会： 藤本 直浩、 井川 掌 ディスカサント： 入江慎一郎、 塩田 真己、 富崎 一向	ディスカサント： ディスカッション1 テーマ①：化学療法いつ始める？ ディスカッション2 テーマ②：カバジタキセルへ切り替えるタイミングは？	2018年 11月22日	ANA クラウン プラザホテル 福岡	CRPCC 2018 in Fukuoka
	—	座長：一般演題 口演7 ロボット・腹腔鏡 / 前立腺・ハイリスク	2018年 11月28日	仙台 国際センター	第32回 日本泌尿器内視鏡学会 総会
	—	Session II：ゾーフィゴ治療の最新情報と治療の実際	2018年 12月5日	タカラホテル 福岡	ゾーフィゴ学術講演会
	—	パネルディスカッション 合併症・QOL からみた各種限局 がん治療の比較 前立腺全摘除術の合併症と QOL	2018年 12月9日	東京コンファ レンスセン ター・品川	第34回 前立腺シンポジウム
	—	座長：ポスターセッション6	2018年 12月9日	東京コンファ レンスセン ター・品川	第34回 前立腺シンポジウム
	—	特別講演：泌尿器がん薬物療法の最前線	2018年 12月12日	宗像 ユリックス	宗像医師会 学術講演会

筆頭発表者	共同発表者	発表課題名	開催日	場所	学会（講演会）名称
横溝 晃	—	座長：Session2 講演	2019年 1月5日	ホテル日航 福岡	第19回 九州基本臨床泌尿器科 (九州FCU) セミナー
	—	特別講演：前立腺癌のトータルケア：他科協診と地域連携 の重要性	2019年 1月11日	全労済 ソレイユ	地域医療連携を 考える会
	—	Session①：前立腺癌の薬物療法について	2019年 2月27日	KIT STUDIO 東京 第1スタジオ	看護師 WEB シンポジウム
	—	特別講演②：去勢抵抗性前立腺がんの治療 up date と包 括的ケアマネジメント	2019年 3月1日	ANAクラウン プラザホテル 宇部	イクスタンジ発売 5周年記念講演会
	—	特別講演：年齢とリスクに応じた膀胱がん治療	2019年 3月7日	アパホテル& リゾート 東京ベイ	第10回 下総泌尿器科連携会
山口 秋人	—	座長：イブニングセミナー 3. 膀胱癌再発・進展の検出に おけるウロビジョン DNA FISH プローブキットの有用性	2018年 4月19日	京都国際 会議場	第106回 日本泌尿器科学会 総会
	—	司会：イブニングセミナー 2 排尿領域の最新の話	2018年 5月11日	福井市地域 交流プラザ	第31回 日本老年泌尿器科学会
	—	司会：臨床研究の報告	2018年 5月12日	福井県 県民ホール	第7回 PVP研究会学術集会
	高橋 悟	座長：シンポジウム New Era of Laser Prostatectomy	2018年 5月12日	福井県 県民ホール	第7回 PVP研究会学術集会
	—	座長：テーマ3 教育講演	2018年 6月4日	ソラリア 西鉄ホテル	第34回 福岡泌尿器 診療セミナー
	—	座長：特別講演	2018年 8月17日	ソラリア 西鉄ホテル	福岡泌尿器癌 地域連携セミナー
	野々村祝夫	座長：泌尿器科領域講習 尿路結石症講習会 1「ECIRS & PNL」	2018年 8月24日	大阪国際 交流センター	日本尿路結石症学会 第28回学術集会
	—	座長：教育講演 I	2018年 9月4日	ソラリア 西鉄ホテル	第14回 福岡前立腺がん検診 セミナー
	粕谷 豊	座長：一般演題口演 BPH4	2018年 9月29日	名古屋 国際会議場	第25回 日本排尿機能学会
	—	座長：Session2	2018年 10月11日	ANAクラウン プラザホテル 福岡	ザルティア発売 4周年記念講演会 in 福岡
	—	司会	2018年 10月13日	イムズホール	市民公開講座「もう大 丈夫！お通じと夜中の おしっこの話」
	—	座長	2018年 10月25日	ホテルニュー オータニ博多	第7回 福岡臨床泌尿器科 ・内科合同懇話会
	—	座長：一般演題6 前立腺・排尿ケア	2018年 11月2日	長崎新聞 文化ホール	第70回 西日本泌尿器科学会 総会
	—	特別講演：過活動膀胱 OAB -治療の現状と新たな展開-	2018年 11月9日	壱岐の島 ホール	壱岐市薬剤師会 学術講演会
	—	a) 基調講演	2018年 11月10日	ホテルニュー オータニ博多	長期留置用金属尿管 ステントカテーテル 症例報告会
	—	座長：一般演題	2018年 11月15日	ホテル日航 福岡	第13回 福岡佐賀尿路結石 研究会
	—	座長：テーマ3 教育講演	2018年 11月19日	ソラリア 西鉄ホテル	第35回 福岡泌尿器診療 セミナー
	山本 新吾	座長：ミニシンポジウム ~ Precision Endourology を語 る~ 1 尿路ステントの最新事情 ~ Precision は達成できるか?~	2018年 11月28日	仙台 国際センター	第32回 日本泌尿器内視鏡学会 総会
	—	座長：ランチョンセミナー 10 Tips and tricks in onco- urology procedures: how to use the elephant tool to improve outcomes of robotic surgery	2018年 11月28日	仙台 国際センター	第32回 日本泌尿器内視鏡学会 総会
	—	司会	2018年 12月1日	対馬市 交流センター	対馬市前立腺がん市民 公開講座
—	座長：Session1 講演	2019年 1月5日	ホテル日航 福岡	第19回 九州基本臨床泌尿器科 (九州FCU) セミナー	

筆頭発表者	共同発表者	発表課題名	開催日	場所	学会（講演会）名称
山口 秋人	—	講演1: 福岡市前立腺がん検診の現状と今後の課題	2019年 1月8日	福岡リーセント ホテル	東区医師会学術講演会
	—	座長: 講演 I	2019年 1月30日	ホテル オークラ福岡	Urology Specialist Symposium ～新たな治療戦略～
	—	座長: 講義	2019年 3月30日	福岡 国際会議場	第58回 高齢者排泄ケア講習会
武井実根雄	Yoshimura N	Moderator	2018年 4月17日	京都 国際会議場	The 4th International Consultation on Interstitial Cystitis Japan (ICICJ)
	Fall M, Young Ho Kim	Moderator	2018年 4月18日	京都 国際会議場	The 4th International Consultation on Interstitial Cystitis Japan (ICICJ)
	—	座長 講演: AUS tips and tricks & troubleshooting ～リビジョンを含めたトラブルシューティング～	2018年 4月21日	リーガ ロイヤル ホテル京都	Men's Health Expert Meeting
	—	講演: 高齢者における下部尿路機能障害 -患者目線で 考える望ましい治療とは-	2018年 4月25日	リーガ ロイヤル ホテル広島	Pfizer Executive Forum
	—	座長: ランチョンセミナー 5	2018年 5月12日	福井県 県民ホール	第31回 日本老年泌尿器科学会
	—	特別講演: 高齢者における下部尿路機能障害 ～患者目線で考える望ましい治療とは～	2018年 5月15日	ふなや	愛媛 OAB フォーラム 2018
	—	座長	2018年 6月2日	JR 博多シティ	第55回 高齢者排泄ケア講習会
	—	ミニレクチャー: 難治性過活動膀胱について	2018年 6月4日	ソラリア 西鉄ホテル	第34回 福岡泌尿器診療 セミナー
	—	男性尿失禁患者を取り巻く現状と課題	2018年 6月13日	ベルサール 八重洲	メディアセミナー
	—	講演: 増えている排尿障害	2018年 6月17日	九州大学 百年講堂	第1回 薬医連携研究会 セミナー
	—	特別講演: male LUTS の諸問題と治療における新戦略 -ザルティアはメンズヘスの救世主?!-	2018年 7月5日	ANA クラウン プラザホテル 神戸	第6回 メンズヘルス研究会
	—	座長: ランチョンセミナー 4	2018年 7月15日	日本 科学未来館	第18回 日本 Men's Health 医学会
	—	座長	2018年 7月26日	ファイザー 株式会社 福岡事業所	トビエース インター ネットシンポジウム 下部尿路先端 教育セミナー in 九州
	—	講演2: 尿流動態検査の基本	2018年 7月26日	ファイザー 株式会社 福岡事業所	トビエース インター ネットシンポジウム 下部尿路先端 教育セミナー in 九州
	—	特別講演1: 尿流動態検査 2万例から見えてくること	2018年 8月4日	大明王院	第79回 NGB 研究会 (第3回高野山 排泄セミナー)
	—	演題1: OAB 診断治療の変遷と抗コリン薬の位置づけ	2018年 8月5日	品川プリンス ホテル	トビエース発売 5周年記念講演会 in 東京
	—	座長: 特別講演 他	2018年 8月9日	原三信病院	原三信病院 漢方セミナー
	—	特別講演: OAB 治療の現状	2018年 8月31日	阿蘇リゾート グランヴィリオ ホテル	阿蘇都市医師会 学術講演会
	—	特別講演: OAB 治療の現状	2018年 9月10日	ステーション ホテル小倉	OAB 治療セミナー
	—	座長: 一般演題 I 前立腺癌治療①	2018年 9月14日	神戸 国際会議場	日本性機能学会 第29回学術総会
—	講演: 高齢者のQOL 向上に泌尿器科医ができること	2018年 9月18日	木村情報技術 株式会社 福岡スタジオ	ユリーフ錠・ユリーフ OD 錠 Web 講演会	

筆頭発表者	共同発表者	発表課題名	開催日	場所	学会（講演会）名称
武井実根雄	山口 秋人、 NPO 法人 福岡高齢者 排泄改善 委員会	イブニングセミナー 2-1: 高齢者の QOL 向上に泌尿器科医ができること 講演 1: 福岡高齢者排泄改善委員会の活動からの考察	2018年 9月28日	名古屋 国際会議場	第25回 日本排尿機能学会
	榊原 隆次	座長: JCS 認定医セミナー 3	2018年 9月29日	名古屋 国際会議場	第25回 日本排尿機能学会
	—	講話: 女性ならではのお悩み解決! ～尿もれ・頻尿 その原因と対策～	2018年 10月3日	博多区保健 福祉センター	美力 UP 講演会
	—	Special Lecture: 尿失禁治療の現状 ～人工尿道括約筋手術も含めて～	2018年 10月11日	ANA クラウン プラザホテル 京都	第4回 五条御前泌尿器科・ 内科病診連携セミナー
	—	講演: 夜中のおしっこ対策 ～その原因から自分でできる対処法まで～	2018年 10月13日	イムズホール	市民公開講座「もう大丈夫! お通じと夜中のおしっこの話」
	—	特別講演: male LUTS の諸問題と治療における新戦略	2018年 10月24日	福岡リーセント ホテル	福岡東部ザルティア カンファレンス
	—	座長: 一般演題 7 Neurourology	2018年 11月2日	長崎新聞 文化ホール	第70回 西日本泌尿器科学会 総会
	—	BPH/LUTS 治療に果たすタダラフィルの役割とは? BPH に併発する OAB および UAB の他覚所見について	2018年 11月12日	KIT STUDIO 東京第1 スタジオ	ザルティア錠 INNOVATIVE SYMPOSIUM 2018 DAY1
	—	特別講演: 超高齢社会における OAB 治療戦略	2018年 11月26日	ホテルクリオ コート博多	福岡県社保・ 国保審査員 合同学術講演会
	—	座長: 一般演題 口演 26 Endourology / 前立腺・PVP	2018年 11月29日	仙台 国際センター	第32回 日本泌尿器内視鏡学会 総会
	伊藤 貴章	座長: 一般演題	2019年 1月20日	フクラシア 東京 ステーション	第18回 日本間質性膀胱炎 研究会
	—	特別講演: 難治性過活動膀胱と間質性膀胱炎に対する 治療戦略	2019年 2月7日	水戸 京成ホテル	第12回 水戸排尿障害研究会
	—	特別講演: 超高齢社会における OAB 治療戦略	2019年 2月8日	マリエール オークパイン	延岡医学会学術講演会
	—	Session2 特別講演: 難治性過活動膀胱と低活動膀胱へ の対応	2019年 2月9日	アステラス製 薬株式会社 京都支店	第12回 伏見泌尿器科連携の会
	—	特別講演: 超高齢社会における OAB 治療戦略	2019年 2月15日	宗像地域医療 センター	第611回 宗像臨床アワード 学術講演会
	—	講演: 夜中のおしっこ対策 ～その原因から自分でできる 対処法まで～	2019年 2月20日	九州学士会	九州学士会 平成31年2月 公開講座
	—	特別講演: 超高齢社会における OAB 治療戦略	2019年 2月21日	ザ・ニュー ホテル熊本	第7回 南部泌尿器懇話会
	菅谷 公男 渡邊 決 東 勇志 鳥本 一匡	パネルディスカッション	2019年 3月2日	エルガーラ ホール	第15回 夜間頻尿を考える会
	—	性機能障害とその対応	2019年 3月7日	福岡大学 セミナー ハウス	第30回 九州ストーマ リハビリテーション講習会
	—	Topics1 MUS (尿道スリング手術): 無効例と合併症	2019年 3月9日	東京コンファ レンスセン ター・品川	第17回 Female LUTS and Pelvic Floor Meeting
—	特別講演 II: これからの OAB 診療 更なる病診連携に向 けて	2019年 3月13日	ソラリア 西鉄ホテル	明日の医療を考える会	
—	座長: ランチョンセミナー 1 「女性患者の満足度を上げ る新たな OAB 診療」	2019年 3月23日	沖縄 コンベンション センター	第13回 日本骨盤臓器脱手術 学会学術集会	
—	座長: 特別講演	2019年 3月29日	アクア博多	第27回 福岡排尿障害研究会	
—	コーディネーター: 実践講座③ やってみよう残尿測定	2019年 3月30日	福岡 国際会議場	第58回 高齢者排泄ケア講習会	
一倉 晴彦	—	特別講演: 当院における男性不妊の診断と治療	2018年 7月17日	日本新薬 株式会社 九州支店	第七回 福岡東部産婦人科病診 連携講演会

筆頭発表者	共同発表者	発表課題名	開催日	場所	学会（講演会）名称
野村 博之	—	特別講演：とことん教えます、PVPのコツとピット フォール	2018年 4月26日	クラウンパレス 浜松	第22回 浜松泌尿器科手術 手技研究会
	—	特別講演：BPH治療で迷ったらコレ。薬はタダラフィル、手術はPVP	2018年 5月17日	ホテル ニューガイア オームタ ガーデン	大牟田泌尿器疾患 懇話会
	—	特別講演：BPH治療でどの薬を処方する？迷ったらタ ダラフィル！	2018年 6月19日	柳川大和 医師会	柳川山門医師会 学術講演会
	—	特別講演：これからのBPH治療の1st LineはPDE5阻 害薬とレーザー蒸散術	2018年 10月25日	福井 パレスホテル	福井県泌尿器科医会 10月例会
	—	テーマ2 ミニレクチャー：レーザー特性にあった前立 腺蒸散術～PVPとCVPの違い～	2018年 11月19日	ソラリア 西鉄ホテル	第35回 福岡泌尿器 診療セミナー
	—	シンポジウム1 低侵襲前立腺肥大症手術の現状と今後 ～エキスパートから Precision と Resilience を学ぶ～ Contact laser vaporization of the prostate (CVP) の Precision と Resilience	2018年 11月28日	仙台 国際センター	第32回 日本泌尿器内視鏡学会 総会
	—	特別講演：超高齢社会におけるかかりつけ医の為の排 尿障害治療に対する適正処方ってどの薬？患者さんの 安全とQOLを第一に考えた治療法を教えます！	2019年 1月24日	カンパーナ ホテル	五島医師会・薬剤師会 学術講演会
	—	第一部 講演③：当院を受診した男子急性尿道炎患者に 対する臨床的検討	2019年 2月15日	アクロス福岡	福岡市感染症（STD） 研究会・第31回 教育セミナー
相島真奈美	—	講演II：かかりつけ医のための過活動膀胱とその治療	2018年 6月30日	ハイアット リージェンシー 福岡	平成30年度 福岡県有床診療所 協議会講演会
	—	講演：過活動膀胱（OAB）治療の現状とその他の女性泌 尿器科治療	2018年 10月25日	ホテルニュー オータニ博多	第7回 福岡臨床泌尿器科・ 内科合同懇話会
志賀健一郎	—	一般講演：当院における泌尿器科癌に対するICIの使用 経験	2018年 8月17日	ソラリア 西鉄ホテル	福岡泌尿器癌 地域連携セミナー
	—	一般演題：光線過敏症対策 搬入・遮光に関する当科の 取り組み	2019年 1月12日	ホテルオークラ 福岡	Bladder Cancer Seminar in Fukuoka
田中 祥子	—	講演：OAB治療の現状と展望	2018年 11月8日	福岡県中小企業 振興センター	粕屋薬剤師会 学術講演会
真崎 拓朗	—	Multiple-tract PCNL（複数トラクトによる経皮的腎結 石砕石術）	2018年 6月12日	倉敷成人病 センター	第12回 倉敷成人病センター TAP/ECIRS 1Day トレーニングコース
	—	b) 症例報告	2018年 11月10日	ホテルニュー オータニ博多	長期留置用金属尿管 ステントカテーテル 症例報告会
	—	ミニシンポジウム～Precision Endourologyを語る～2 ftULとPNLの合併症を避けるためのTipsと Resilience PNLの合併症軽減のTipsとMultittractの 有用性	2018年 11月28日	仙台 国際センター	第32回 日本泌尿器内視鏡学会 総会
	柿木 寛明 岡田 淳志 吉水 敦 山口 秋人	シンポジウム2 上部尿路結石治療の標準化 ～Precisionな結石診療のために～ PNL（標準化手術のポイントとPrecisionな結石治療の ためのTake home message）	2018年 11月29日	仙台 国際センター	第32回 日本泌尿器内視鏡学会 総会
	—	尿路結石の再発予防	2019年 3月5日	倉敷成人病 センター	第14回 倉敷成人病センター TAP/ECIRS 1Day トレーニングコース

〈看護部〉 東館8階病棟

筆頭発表者	共同発表者	発表課題名	開催日	場所	学会（講演会）名称
横田 宜子	—	看護師が中心となったIxazomibのアドヒアランス支援	2018年 5月18日	全国WEB会場 （福岡武田ビル より配信）	ニンラーロ 全国WEB講演会
	—	看護師が中心となった骨髄腫患者へのチームアプローチ	2018年 5月30日	全国WEB会場 （セルジーン 福岡支社 より配信）	Multiple Myelom Web Seminar
	—	血液がん患者の包括的看護支援	2018年 6月15日	リナシティ かのや	第13回 大隅血液セミナー

横田 宜子	—	新規薬剤時代を支える多発性骨髄腫の看護	2018年 6月16日	JR 千葉駅 ペリエ千葉	多発性骨髄腫 Update ～チーム医療で取り 組む MM 治療～
	—	医療チームの協働による达拉ツムマブ治療のマネジメント	2018年 6月19日	ヒルトン福岡 シーホーク	第29回 西福岡臨床血液研究会
	—	カウンセリングを用いた Ixazomib 治療のアドヒアランス支援	2018年 7月20日	ホテル日航大分 オアシス タワー	大分ニンラロ発売 1周年講演会
	—	多発性骨髄腫治療の副作用マネジメント ～看護師の視点から～	2018年 7月27日	久留米萃香園 ホテル	筑後・佐賀血液講演会
	—	看護師が中心となった包括的支援 ～多発性骨髄腫看護を中心に～	2018年 7月31日	香川労災病院	血液腫瘍チーム医療 勉強会
	—	医療チームでの専門的看護の追求 ～多発性骨髄腫看護を中心に～	2018年 8月3日	長崎新聞社 文化ホール	多発性骨髄腫に対する これからのチーム医療
	—	看護師と薬剤師の連携による IXZ アドヒアランス支援	2018年 9月12日	琵琶湖ホテル	Multiple Myeloma Conference in SHIGA
	—	多発性骨髄腫患者に対する包括的支援	2018年 10月26日	リーガロイヤル 小倉ホテル	血液がん マネジメントセミナー
	—	骨髄腫治療薬とのつき合い方	2018年 10月28日	福岡大学 メディカル ホール	骨髄腫・福岡セミナー 2018 患者・家族・ 医療者のつどい
	—	多発性骨髄腫患者を支える看護	2018年 11月9日	ザ・クラウン パレス新阪急 高知	第2回 高知県血液・腫瘍 フォーラム
	—	移植患者の包括的支援 ～看護師の視点・HCTC の視点～	2018年 11月24日	鹿児島市町村 自治会館	平成30年度 造血細胞 移植推進拠点病院 九州ブロック 鹿児島研修セミナー
	—	医療チームの中の看護師の役割 ～骨髄腫患者を中心に～	2019年 2月15日	プロヴェール 渋川	多発性骨髄腫チーム 医療セミナー
	—	新規薬剤の投与管理と副作用マネジメント	2019年 2月24日	福岡 国際会議場	第33回 日本がん看護学会 学術集会 教育セミナー
	—	IMiDs と新規薬剤を活かす看護マネジメント	2019年 3月8日	大阪 国際会議場	第41回 日本造血細胞移植学会 総会 イブニングセミナー
	—	がん治療における妊孕性について	2019年 3月26日	九州大学病院	九州大学病院 平成30年度 造血幹細胞移植医療 体制整備事業

腎臓病センター

筆頭発表者	共同発表者	発表課題名	開催日	場所	学会（講演会）名称
田原 恒	—	大会長	2018年 9月16日	九州医学部 百年講堂	第1回 九州 CKD 看護研究会
	—	特別講演 座長	2019年 1月17日	TKP ガーデンシティ 博多新幹線口	第7回 博多 CKD 研究会

〈事務部〉

企画情報室

筆頭発表者	共同発表者	発表課題名	開催日	場所	学会（講演会）名称
長峰麻衣子	—	ちょっと誇れる自分の業務について 第二弾	2019年 3月6日	九州大学医学部 百年講堂	第58回 診療情報管理研究会

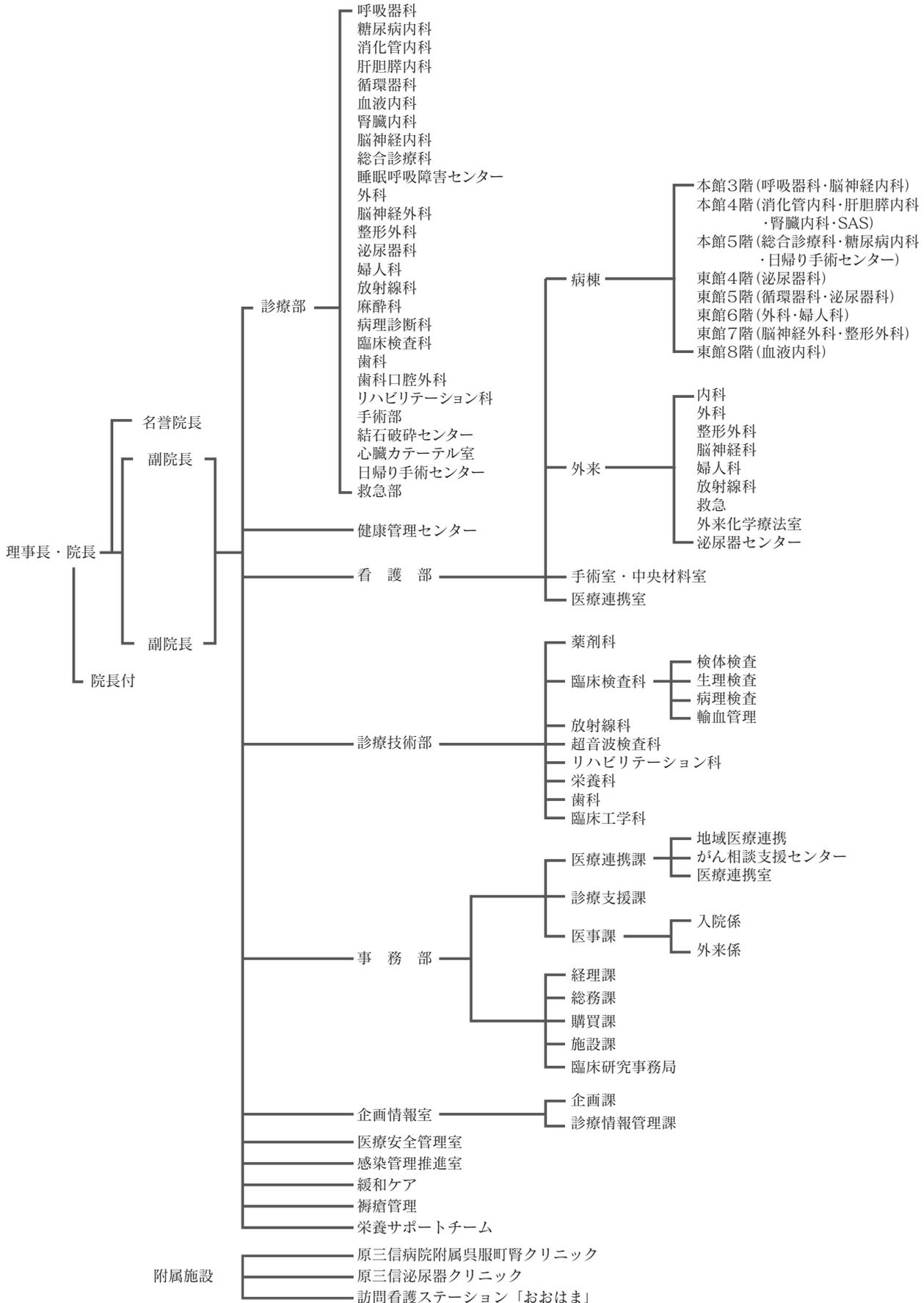
<平成30年>

4月 1日(日)	初診料及び特定療養費算定条件等変更
4月 2日(月)	平成30年度 入社式
4月 3日(火)～ 6日(金)	平成30年度 新入職員研修
4月 3日(火)～ 4日(水)	平成30年度 新入職員合宿研修(休暇村志賀島)
4月13日(金)	平成30年度 事業計画説明会(福岡国際会議場)
	平成30年度 事業計画説明会懇親会・新入職員歓迎会(福岡サンパレス)
4月26日(木)	新入職員防災教室(福岡市民防災センター)
5月 1日(火)	クールビズ実施(5月1日(火)～10月31日(水))
5月11日(金)	タイムレコーダー運用開始
5月17日(木)	第36回クリニカルパス検討会(腎臓内科)
5月24日(木)	放射線業務者研修会
5月31日(木)	献血
6月12日(火)	原三信病院創立記念日(139周年)
	永年勤続者表彰式
6月12日(火)～15日(金)	海外研修 韓国東岡(トンガン)病院研修受入れ
6月13日(水)	第37回博多区自衛消防隊操法大会(博多の森 第3駐車場)
7月 4日(水)・ 9日(月)	平成30年度 第1回感染防止対策研修会
7月10日(火)	上半期賞与
7月12日(木)	ふれあい看護体験(高校生女子7名)
7月18日(水)・19日(木)	平成30年度 第1回感染防止対策研修会(DVD視聴)
7月21日(土)	第5回 原三信病院 緩和ケア研修会
7月25日(水)～26日(木)	平成30年 第2回看護部インターンシップ(職場体験)
8月 1日(水)	新版医事システム運用開始
8月 1日(水)	平成30年度 第1回医療安全研修会
8月13日(月)・21日(火)・23日(木)	平成30年度 第1回医療安全研修会(DVD視聴)
8月18日(土)	平成30年度 第1回看護師定期採用試験(福岡サンパレス)
8月20日(月)	呉服町腎クリニック透析用ベッド数変更(52床→40床)
8月23日(木)～24日(金)	福岡市立博多中学校職場体験
8月25日(土)	医局主催 大地引綱大会(初音旅館)
9月 1日(土)	原三信病院・香椎原病院リハビリテーション科合同運営開始
9月 4日(火)・12日(水)	友愛会ビアパーティー(アサヒビール園 博多店)
9月 5日(水)・10日(月)・18日(火)・20日(木)	平成30年度接遇研修会(DVD視聴)
9月13日(木)	CPC(臨床病理検討会)「総合診療科」
9月20日(木)	本館1階 談話室撤去
9月27日(木)～29日(土)	第24回 原三信病院医学総会 「共育～共に学び、共に育てる～」
10月 8日(月)	第14回福岡市医師会文化祭サッカー大会(福岡フットボールセンター)
10月14日(日)	呉服町腎クリニック避難訓練
10月20日(土)	平成30年度 第2回看護師定期採用試験(福岡サンパレス)
11月 1日(木)	ウォームビズ実施(11月1日(木)～3月31日(日))
11月 1日(木)・7日(水)	平成30年度 第2回感染防止対策研修会
11月 2日(金)	平成30年度 原三信病院避難訓練(出火想定場所:本館3階病棟)
11月 5日(月)～10日(土)	海外研修 韓国東岡(トンガン)病院訪問
11月 8日(木)～ 9日(金)	三信祭(文化クラブ発表会)

11月12日(月)	慰霊祭
11月12日(月)・15日(木)	平成30年度 ノロウイルス対策研修会
11月14日(水)	福岡市長選挙 不在者投票
11月19日(月)	第18回地域医療連携情報交換会(ホテル日航福岡)
11月20日(火)・21日(水)	平成30年度 第2回感染防止対策研修会(DVD視聴)
11月30日(金)	平成30年度 原三信病院看護フェア(第3・第4会議室)
12月 3日(月)	平成30年度 職員定期健康診断実施(平成31年3月15日(金)まで)
12月10日(月)	下半期賞与
12月21日(金)	献血
	面会者用名札導入開始
12月28日(金)	仕事納め
<2019年>	
1月 4日(金)	仕事始め
1月 8日(火)	神農祭
1月16日(水)	人間ドック機能評価訪問審査
1月31日(木)	医療監視(立入検査) <博多保健所>
2月 1日(金)~14日(木)	ストレスチェック実施
2月 6日(水)・13日(水)・14日(木)・21日(木)・26日(火)	平成30年度 褥瘡対策研修会
2月 7日(木)	第37回クリニカルパス検討会(脳神経内科)
3月 2日(土)	2019年度 診療科別行動計画発表会
3月 4日(月)	睡眠呼吸障害センター(SAS)検査入院用病室変更(本館4階病棟→東館5階病棟)
3月 6日(水)	平成30年度 第2回医療安全研修会
3月13日(水)・14日(木)・19日(火)	平成30年度 第2回医療安全研修会(DVD視聴)
3月28日(木)	CPC(臨床病理検討会)「外科」
3月28日(木)	2019年 第1回看護部インターンシップ(職場体験)
3月29日(金)	2019年 第2回看護部インターンシップ(職場体験)

1. 組織図

(平成 31 年 3 月 31 日現在)



● 2. 職員配置

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

診 療 部	93
看 護 部	433
診 療 技 術 部	109
事 務 部	81

合 計	716
-----	-----

診 療 部 内 訳

医 師	90
歯 科 医 師	3

合 計	93
-----	----

看 護 部 内 訳

看 護 師	385
保 健 師	2
准 看 護 師	2
看 護 補 助 者	44

合 計	433
-----	-----

診 療 技 術 部 内 訳

薬 剤 師	15
管 理 栄 養 士	6
診 療 放 射 線 技 師	18
臨 床 検 査 技 師	36
理 学 療 法 士	12
作 業 療 法 士	3
言 語 聴 覚 士	2
臨 床 工 学 技 士	11
歯 科 衛 生 士	4
そ の 他	2

合 計	109
-----	-----

3. 管理職名簿

(平成31年3月31日現在)

理事長・院長	平 祐二	
名誉院長	内藤 誠二	
副院長	原 直彦	内科主任部長、健康管理センター長、医療安全管理室室長
副院長	江口 徹	外科主任部長、日帰り手術センター長

診療部

主任部長	林 真	総合診療科
	赤塚 裕	循環器科
	中村 和彦	消化管内科
	横溝 晃	泌尿器科
部 長	谷合 啓明	総合診療科・感染管理推進室室長兼任
	古藤 和浩	肝胆膵内科・放射線治療兼任
	野口 賢一	肝胆膵内科・緩和ケア担当医（専任）
	原口 和大	消化管内科
	市来 俊弘	循環器科・睡眠時呼吸障害センター兼任
	山本 光孝	循環器科・心臓カテーテル室室長兼任
	上村 智彦	血液内科
	四枝 英樹	腎臓内科
	高木 陽一	呼吸器科
	藤木 富士夫	脳神経内科
	廣田 伊千夫	胸部外科
	小川 尚洋	乳腺内分泌外科
	小原井朋成	乳腺内分泌外科
	橋爪 健太郎	肝胆膵外科
	当間 宏樹	消化器外科
	崎村 陸	整形外科
	武井 実根雄	泌尿器科
	宮崎 薫	泌尿器科・救急外来副部長兼任
	一倉 晴彦	泌尿器科
	片岡 恵子	婦人科
	庄野 禎久	脳神経外科・リハビリテーション科兼任
	奥島 一洋	放射線科
	小野田 慈美	歯科
	河野 眞司	病理診断科
	下澤 浩基	麻酔科
	渡邊 隆郁	手術部
	小松 潔	臨床検査科
顧 問	寺嶋 廣美	放射線科
	中山 卓	健康管理センター
	津田 知輝	婦人科
	山口 秋人	泌尿器科
	稲永 隆	腎臓内科
副部長	片岡 伸	循環器科・リハビリテーション科担当（内科）兼任
	野間 秀哉	泌尿器科・リハビリテーション科担当（泌尿器科）兼任
	原 律子	泌尿器科
	野村 博之	泌尿器科
	出原 眞理加	放射線科
呉服町腎クリニック院長	石田 伊都子	
泌尿器クリニック院長	中牟田 誠一	

看護部

部 長	柳迫 昌美	
副部長	宮崎 さとみ	看護教育担当・日帰り手術センター顧問
	村岡 弘恵	

科 長	谷村 明美	本館3階病棟
	山田 恵理子	本館4階病棟
	寺脇 深香	本館5階病棟 (日帰り手術センター)
	松本 真知子	東館4階病棟
	下釜 里美	東館5階病棟
	野田 佳代子	東館6階病棟
	永井 智子	東館7階病棟
	川崎 美智子	東館8階病棟
	栗秋 佐智恵	本館外来 (内科・整形外科・脳神経内科・脳神経外科) 緩和ケア担当兼任
	金子 浩子	東館外来 (泌尿器センター・外科・婦人科・放射線科・化学療法室)
		病床管理担当兼任
	藤川 暢子	手術室・中央材料室
	田原 恒	呉服町腎クリニック
	近藤 夕子	退院支援担当
所 長	那須 百合美	訪問看護ステーションおおはま

技術部

部 長	阿部 健吾	
科 長	和佐野智美	臨床検査科
	河野 祐子	薬剤科
	中小川隆	放射線科
	烏山 邦敏	リハビリテーション科
	石崎 律子	栄養科
	嶽本 洋	臨床工学科
科長代理	栗崎 淳子	薬剤科
	福山 幸秀	放射線科
科長代行	廣門 将一	超音波検査科

事務部

部 長	弥永 伸治	
顧 問	泉 敏郎	
	白石 義則	総務課
副部長	大村 昭博	事務部・購買課課長兼任
課 長	西 弘樹	総務課
	平山 憲史	経理課
	北御門智之	医事課
	加藤 宗一郎	医療連携課・診療支援課課長兼任
	早田 俊一	施設課
	宮崎 幸吉	健康管理センター
科 長	秦 里美	健康管理センター
	竹内 育美	臨床研究事務局
課長代理	川上 優	購買課
統括主任	隅田 幸恵	医事課

企画情報室

室 長	藤原 勝	
課 長	田代 信司	企画課

医療安全管理室

科 長	大野 聡子	医療安全管理専従
-----	-------	----------

院長付

室 長	筒井 玲子	医療連携室
-----	-------	-------

● 平成30年度医学総会を終えて

テーマ：共育～共に学び、共に育てる～

平成30年9月27日から9月29日まで「共育～共に学び、共に育てる～」というテーマのもと、第24回 原三信病院医学総会を開催させて頂きました。9月27日から28日までは例年同様、原三信病院第一会議室を中心に各会議室や香椎原病院をインターネット会議システムで繋いで、8題の一般演題の発表を行って頂きました。最終日の9月29日はアクロス福岡で教育要望講演、特別講演と5題の一般演題を発表して頂きました。

特別講演は久留米大学医学部 心臓・血管内科 准教授の安川秀雄先生に「教育・指導とチーム作りに役立つアドラー流コミュニケーション」というタイトルでご講演頂きました。今回のテーマ、「共育」はまさにこのご講演からヒントを得て決定させて頂きましたが、それにふさわしい内容でした。3大心理学者の一人、アルフレッドアドラーの心理学をわかりやすく解説して頂き、それを応用したコミュニケーション、コーチングについてご講演頂きました。職場や家庭ですぐにでも活用でき、今後の人間関係を円滑にできるようなお話しでした。

教育要望講演は泌尿器科主任部長の横溝晃先生に「新時代の外科手術：ロボット支援手術の光と影」というタイトルで、当院泌尿器科でも多くの患者さんが治療を受けているダヴィンチ手術についてご講演頂きました。私もあまり知識のないロボット手術に関して、大変勉強になるご講演でした。

一般演題も歯科・口腔外科の小野田先生の薬剤関連顎骨壊死のご講演など盛りだくさんの内容で、多くの職員の皆様に出席して頂いた事もあり、質疑応答も大変盛り上がりました。皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。

最後になりますが、本医学総会の準備にご協力して頂き、スムーズな総会の運営にご尽力頂きました準備委員会の委員の方々、企画情報室の方々にも感謝申し上げます。

次回第25回の医学総会も盛会となりますようお願いしております。

平成30年度（第24回）医学総会準備委員会
委員長 庄野 禎久

第24回 医学総会準備委員会

委員長	庄野 禎久	(診療部)
副委員長	谷合 啓明	(診療部)
委員	下釜 里美 野田佳代子	(看護部)
	石橋 誠史 真鍋 麻美	(診療技術部)
	北御門智之 音嶋 智子	(事務部)
	大坪 史弥 富田香奈江	(香椎原病院)
事務局	藤原 勝 田代 信司	
	齊藤 栄介 山崎 聖子	

第1日目 9月27日(木)

会場:第1会議室

一般演題 第1部

18:00~19:00

座長 : 宮崎 さとみ、河野 祐子

1. 当院における骨粗鬆症リエゾンサービスの活動について

リハビリテーション科¹⁾ 整形外科²⁾ 東館7階病棟³⁾ 医事課⁴⁾ 訪問看護ステーションおおはま⁵⁾

●力武佳正¹⁾ 崎村陸²⁾ 井上茉沙美³⁾ 佐藤大輝³⁾ 佐々木夕美³⁾ 樋口祐輔⁴⁾ 野田康樹⁵⁾

2. 回復期リハビリテーション病棟看護師としての認識と役割に関する現状調査

香椎原病院 回復期リハビリテーション病棟 ●谷口雅 佐伯杏奈 落合綾花

3. 内視鏡定期培養検査プロトコルを使用した洗浄消毒の評価

内科外来 内視鏡センター¹⁾ 消化管内科²⁾

●仲本千明¹⁾ 有間雅子¹⁾ 土屋一¹⁾ 大田敏枝¹⁾ 原口和大²⁾

4. 急性期脳卒中の評価法・NIHSS 習得の取り組み

東館7階病棟¹⁾ 脳神経外科²⁾

●竹外春菜¹⁾ 吉川清美¹⁾ 渡里祐加¹⁾ 茂麻紀¹⁾ 野田佳代子¹⁾ 前原直喜²⁾ 庄野禎久²⁾

第2日目 9月28日(金)

会場:第1会議室

一般演題 第2部

18:00~19:00

座長 : 金子 浩子、澤崎 香織

1. 転倒転落を繰り返す患者の事例検討

本館5階病棟 ●田中美代 中島由貴 有馬弥生 永井智子

2. 透析クリニックにおける災害対策の取り組み

～患者参加型避難訓練 10年の振り返り～

腎臓病センター¹⁾ 臨床工学科²⁾

●吉岡莉紗¹⁾ 永露雄士²⁾ 久野まりな¹⁾ 田原恒¹⁾

3. 短時間デイケアの開設からの動きと今後の展望

香椎原病院 かしいの杜 通所リハビリテーションそら ●末岡和希 角正弘

4. 照明のLED化

施設課 ●財部渉 橋本俊介 早田俊一

教育要望講演 新時代の外科手術:ロボット支援手術の光と影

13:35~14:05

座長 : 谷合 啓明

演者 横溝 晃 先生

【 原三信病院 泌尿器科 主任部長 】

- 休憩 10分 -

**特別講演 教育・指導とチーム作りに役立つアドラー流
コミュニケーション**

14:15~15:15

座長 : 庄野 禎久

演者 安川 秀雄 先生

【 久留米大学医学部 心臓・血管内科 准教授 】

- 休憩 15分 -

一般演題(口演)

15:30~16:30

座長 : 崎村 陸、田代 信司

1. 医師の事務作業軽減に向けて
～診断書作成効率UPを目指した取り組み～

診療支援課 ●吉田由梨子 清原恵美子 岡本友香 原成孝 加藤宗一郎

2. 腹部MRI検査におけるパイナップルジュースの有用性について

放射線科 ●松浦修平 白石愛 中小川隆

3. 人と人がつながる地域活動を通して

香椎原病院 地域活動連携室 ●石川和幸

4. 苦しむ人の前で私たちに何ができるのかを考える

訪問看護ステーションおおはま 緩和ケア認定看護師 ●染矢麻衣子

5. 当院における薬剤関連顎骨壊死 (MRONJ) 患者に関する臨床的検討

歯科・口腔外科 ●小野田慈美 田籠祥子

表彰式

【目次】

1. 診療部	
総合診療科	65
肝胆膵内科	67
消化管内科	68
循環器科	70
血液内科	72
腎臓内科	74
呼吸器科	75
糖尿病内科	76
脳神経内科	77
睡眠呼吸障害センター	78
脳神経外科	79
外科	80
整形外科	82
泌尿器科	84
婦人科	87
放射線科	89
歯科・口腔外科	90
病理診断科	91
麻酔科	92
原三信病院附属呉服町腎クリニック	93
健康管理センター	94
日帰り手術センター	95
<hr/>	
2. 看護部	96
<hr/>	
3. 診療技術部	102
<hr/>	
4. 事務部	103

1. 診療部

● 総合診療科

院内活動・診療部

総合診療科主任部長 林 真
総合診療科部長 谷合 啓明

《平成30年度活動報告》

平成30年度は昨年に続き医師3名での診療体制であった。

入院診療において新入院患者数は昨年と比較し減少傾向となったが、入院単価は増加した。また昨年度に検討課題となった在院日数の延長傾向に関しては短縮傾向を示した。実際に退院支援計画書合致率も上昇しており、これはMSW、病棟Nsとともにチームとして努力した迅速で円滑な退院支援の確立への布石となったと考える。外来診療においては、総患者数は減少したが初診患者数は例年通りで、他院からの紹介状件数は昨年に引き続き増加傾向となった。外来単価に関しても昨年以上の高い数値を維持できており、初診患者の様々な訴えに対して診断に必要で十分な検査と親身の診療を常に心がけた結果と思われた。平成30年度も、総合診療科の認知度向上とクリニックをはじめ、地域医療機関との連携強化、ホームページの充実を第一の目標として挙げており、ホームページのさらなる見直し、開業医訪問に関しても10件/年を目標に、総合診療科の認知度向上の努力を続けていきたいと考えている。また平成28年7月より新たな試みとして開始した往診も継続中であり、地域医療における総合診療医としての往診、訪問診療の重要性を考慮し規模拡大も目下検討中である。



林

谷合

令和元年度の目標テーマとしては平成30年度と同じく『中身のみえる総合診療科の確立』、『機動力のある診療で院内、地域に貢献する』としたが、新たな重点項目として“チームとしての退院支援”を掲げ、多職種による一つのチームとして、地域包括病棟の運用もふまえ今後もより円滑な退院支援が行えるようさらに努力していきたい。

教育面においても総合診療専門医育成プログラムの連携施設群として、若手医師、総合診療専門医の育成、指導にも引き続き力を入れたいと考えている。

総合診療医（Generalist）として、また病院総合診療医（Hospitalist）として各科の壁を越えた院内診療の充実、そして何よりも患者さんをはじめ御家族、周辺医療機関を含めた地域に貢献できるよう全人的診療を目指してこれからも邁進していきたい。

総合診療医（Generalist）として、また病院総合診療医（Hospitalist）として各科の壁を越えた院内診療の充実、そして何よりも患者さんをはじめ御家族、周辺医療機関を含めた地域に貢献できるよう全人的診療を目指してこれからも邁進していきたい。

《令和元年度目標》

ビジョン『中身のみえる総合診療科の確立』

戦略テーマ『機動力のある診療で院内、地域に貢献する』

	戦略目標
顧客の視点	総合診療の充実（Gate Keeper、Hospitalistとして） ホームページの充実 訪問診療の継続
業務の視点	チーム医療のさらなる充実（スムーズな退院支援の推進） 地域包括医療への対応準備
学習と成長の視点	講演会、学会発表など積極的な参加 感染症専門医、総合診療専門医の育成 病棟勉強会などによるスタッフ教育
財務の視点	「連携カード」を用いた逆紹介の推進 開業医訪問による積極的な広報活動

		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
スタッフ構成		3 名	3 名	3 名
入 院	患 者 数 (人)	4,180	5,130	3,962
	新 入 院 (人)	371	349	330
	診 療 単 価 (円)	36,241	33,761	35,584
	平均在院日数 (日)	11.7	15.4	12.2
外 来	患 者 数 (人)	10,873	10,100	9,142
	初 診 (人)	3,021	3,074	2,986
	診 療 単 価 (円)	9,259	9,336	10,175
救 急 車 (台)		252	294	236
紹 介 (件)		550	599	630
逆 紹 介 (件)		232	240	190

肝胆膵内科部長 古藤 和浩
肝胆膵内科部長 野口 賢一

《平成30年度活動報告》

肝胆膵内科は昨年同様古藤部長と野口の医師2名の診療体制だった。

2018年度は入院患者数、外来患者数ともに前年を下回った。特に外来患者数は毎年減少傾向である。慢性ウイルス性肝疾患の減少によるところが大きいと思われる。

今年度も院内・院外からの肝炎ウイルス陽性患者の拾い上げをおこない、一定数の治療介入することが出来た。2019年度以降も継続して行く予定である。



古藤



野口

ウイルス性肝疾患の減少に伴い今後対象疾患が多岐にわたるとと思われる。外来では生活習慣にともなった脂肪性肝疾患が激増しており、治療介入が必要なNASH（非アルコール性脂肪肝炎）の拾い上げが必要になってくる。健診からの紹介、院外からの紹介に力を入れていく予定である。また、これらのウイルス性肝疾患やNASHの拾い上げには多職種での協力も必要である。希望者がいれば肝炎コーディネーターの資格取得をお願いしたい。入院では今後胆膵疾患の増加が考えられる。スムーズな検査、治療のため新規のパスの作成や活用を行っていく予定である。

《令和元年度目標》

ビジョン『患者や開業医に信頼される肝胆膵内科の確立』

戦略テーマ『質の高い満足して頂く医療の提供』

	戦略目標
顧客の視点	患者・家族の満足の向上 紹介医の満足の向上
業務の視点	対象疾患の拡大（肝炎患者・NASH患者の拾い上げ、肝硬変、肝臓、胆膵疾患） 検査・処置の効率化、パスの活用
学習と成長の視点	肝疾患コーディネーターの育成 スキルアップ
財務の視点	肝胆膵内科の収入増

		平成28年度	平成29年度	平成30年度
スタッフ構成		2名	2名	2名
入院	患者数(人)	2,919	3,388	3,083
	新入院(人)	143	245	240
	診療単価(円)	42,014	39,583	41,309
	平均在院日数(日)	21.1	13.9	13.3
外来	患者数(人)	4,121	4,098	3,668
	初診(人)	392	541	544
	診療単価(円)	14,082	14,800	14,864
救急車(台)		88	147	101
紹介(件)		219	331	358
逆紹介(件)		64	81	65

..... 消化管内科主任部長 中村 和彦
消化管内科部長 原口 和大

《平成30年度活動報告》

平成30年度、消化管内科は常勤医師10名、非常勤医師2名の体制で診療を行った。平成31年3月に消化管内科病棟が本館4階から本館3階に移転した。

平成30年度の内視鏡検査件数は上部消化管7,348件、下部消化管2,687件、総数10,035件であり、4年連続して年間1万件前後の高い水準で推移している。内視鏡治療件数は上部消化管272件、下部消化管1,323件であった。消化管早期癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）件数は、食道31例、胃66例、大腸42例、総数139件であった。大腸ポリープに対する内視鏡治療はEMR303件、コールドポリペクトミー869件、総数1,172件であった。

累計の入院患者数は8,696人であり、平成29年度と比べて増加した。外来患者数は12,773人であり、平成29年度とほぼ同程度であった。入院患者内訳は大腸ポリープ、消化管悪性腫瘍、憩室疾患、腸閉塞、消化管の炎症等が上位を占めた。

スタッフの育成に関しては1名が日本消化器内視鏡学会専門医、1名が日本消化器内視鏡学会認定技師試験に合格した。



中村

原口

《令和元年度目標》

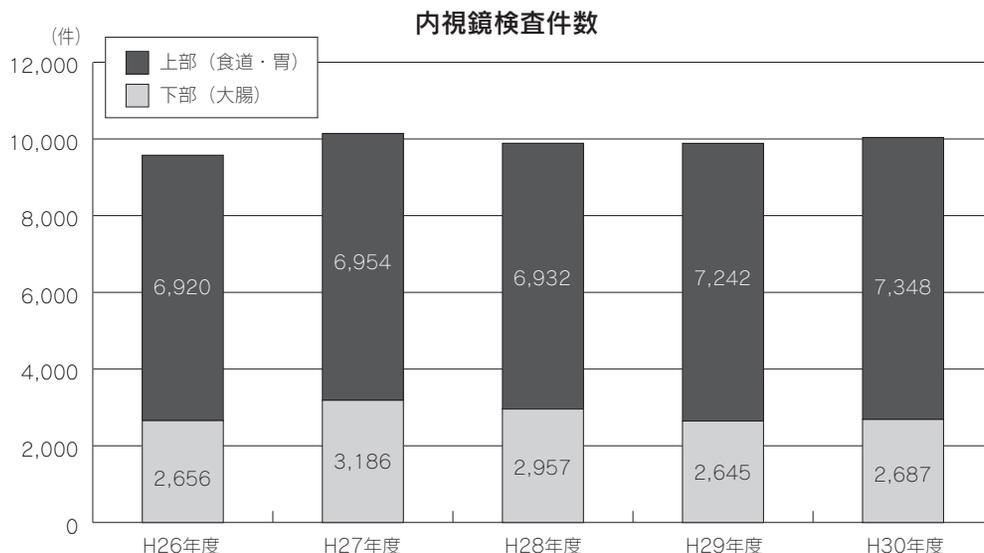
ビジョン『患者や開業医に信頼される消化管内科の確立』

戦略テーマ『質の高い満足して頂く医療の提供』

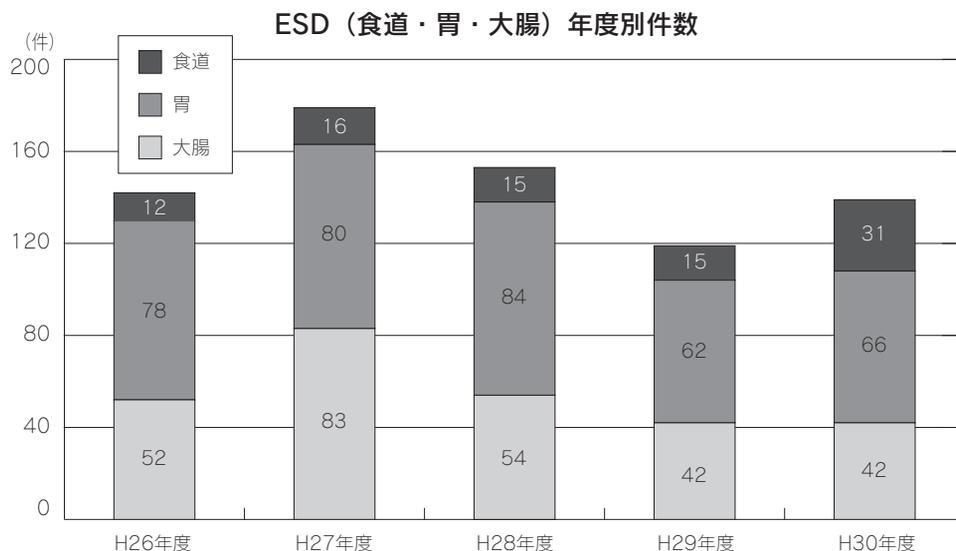
	戦略目標
顧客の視点	患者・家族の満足の向上 紹介医の満足の向上
業務の視点	消化管内科新病棟の確立 内視鏡センターの充実
学習と成長の視点	レジデント（消化器専門医）の育成 内視鏡学会認定技師の育成（看護師）
財務の視点	消化管内科の収入増加

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
スタッフ構成	11名	12名	12名	
入院	患者数(人)	7,649	7,347	8,696
	新入院(人)	1,068	919	1,029
	診療単価(円)	44,670	41,777	43,600
	平均在院日数(日)	7.2	8.1	8.6
外来	患者数(人)	13,413	12,854	12,773
	初診(人)	2,801	2,758	2,624
	診療単価(円)	15,106	15,244	16,972
救急車(台)	297	418	427	
紹介(件)	1,333	1,175	1,211	
逆紹介(件)	229	264	264	
上部内視鏡手術件数	239	231	273	
下部内視鏡手術件数	1,202	1,159	1,328	

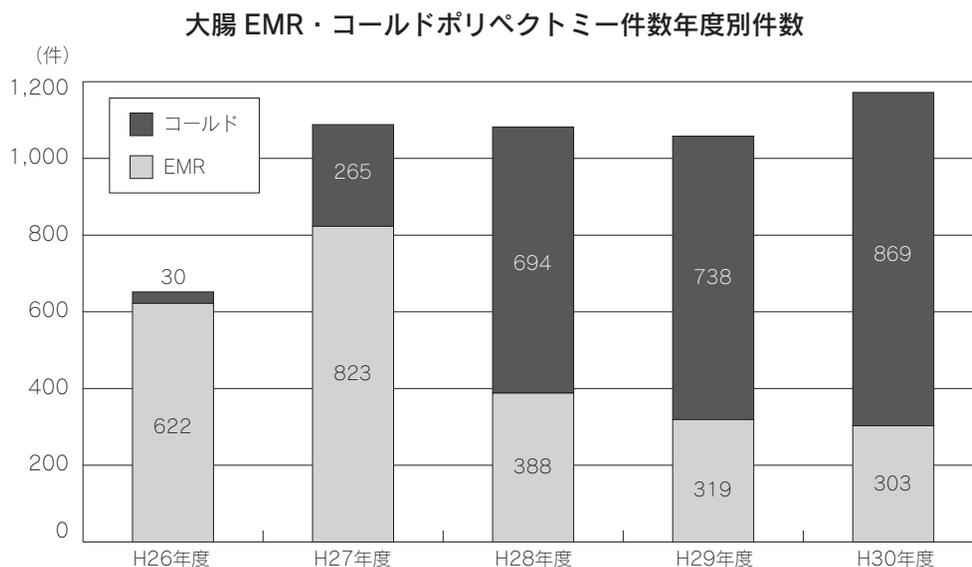
①内視鏡総数



②ESD (食道・胃・大腸)



③大腸EMR (EMR + COLD)



循環器科主任部長 赤塚 裕
 循環器科部長・心臓カテーテル室室長 山本 光孝

《平成30年度活動報告》

最近11年間の心カテ成績をまとめた。図1が各年毎の心カテ数とPCI件数を、図2が再狭窄率を示している。PCI全体の再狭窄率は2.6%であった。内Bare Metal Stent再狭窄率0%、Drug Eluting Stent再狭窄率1.2%、Drug Coated Balloon 16.7%であった。表1は心カテによる重大合併症を示した。合併症による死亡例は認められず、冠動脈穿孔2例、心室細動1例であった。

末梢動脈形成術を2007年から始めているが、2018年度は68例であった。重大合併症は認められなかった。

また、ペースメーカー植込み術件数は17例、ペースメーカー電池交換術件数は5例、下大静脈フィルター挿入件数は2例であった。

2010年から心大血管リハビリ施設基準Iを取得し、2018年度は370例にリハビリを施行した。

2011年8月から不整脈に対するカテーテルアブレーション治療を開始し、2018年度は6例であった。アブレーションの成功率は100%で、合併症は認められなかった。



赤塚



山本

《令和元年度目標》

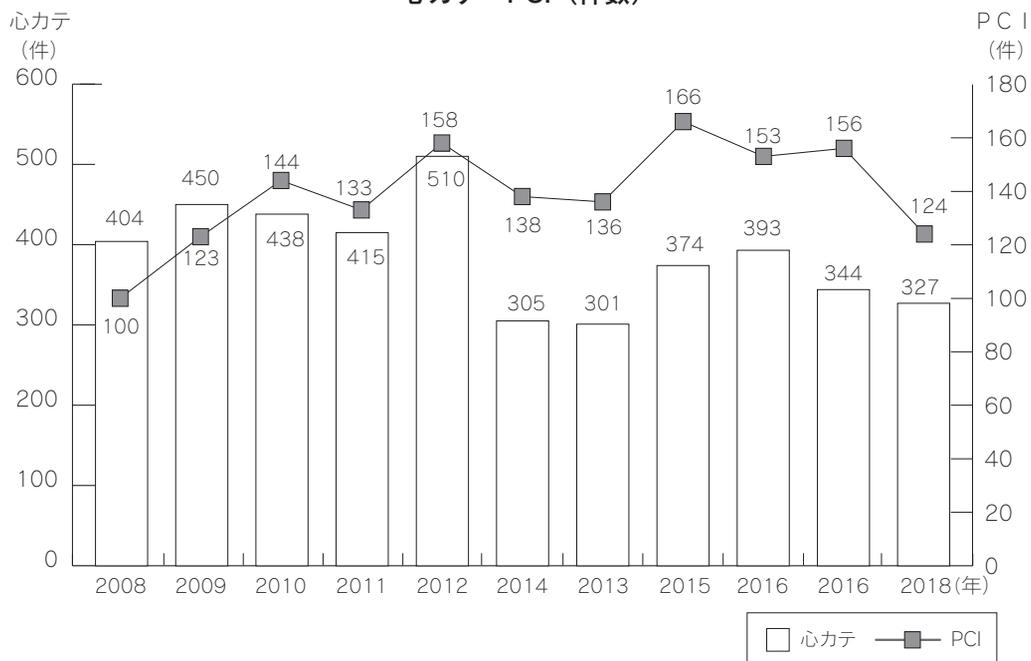
ビジョン『循環器科を充実させる』

戦略テーマ『院内院外連携充実と全身循環治療』

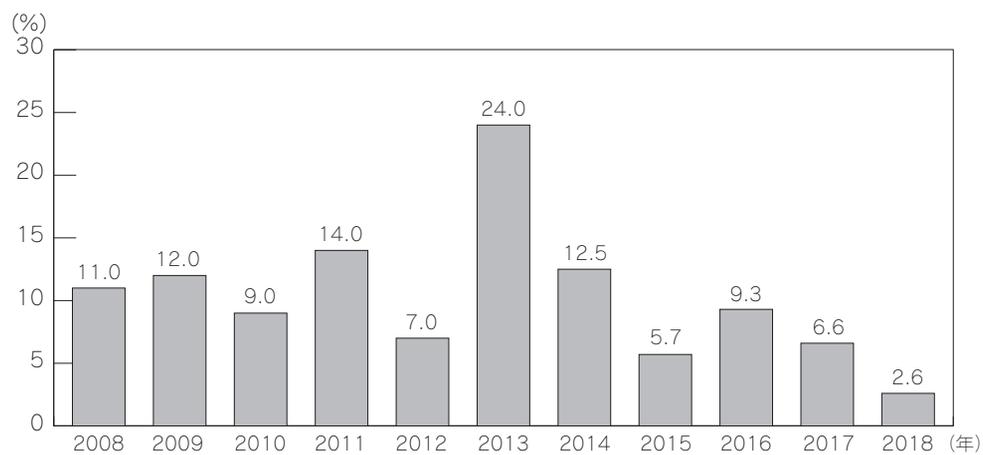
	戦略目標
顧客の視点	患者満足の上昇 院外紹介医師満足の上昇 他科医師満足向上 救急隊の満足向上
業務の視点	虚血性心疾患治療の更なる向上 末梢血管形成術の積極的施行 慢性心不全患者入院の増加 心不全治療の更なる向上 心大血管リハビリの充実 心臓検診
学習と成長の視点	院内教育の充実 共同研究への積極的参加 資格取得、専門知識の向上
財務の視点	患者数増加 医療材料見直し

		平成28年度	平成29年度	平成30年度
スタッフ構成		7名	8名	8名
入院	患者数(人)	8,053	8,064	7,823
	新入院(人)	621	649	684
	診療単価(円)	66,986	69,362	68,742
	平均在院日数(日)	12.6	12.3	11.3
外来	患者数(人)	10,921	10,652	9,749
	初診(人)	1,404	1,308	1,203
	診療単価(円)	8,524	8,741	8,947
救急車(台)		409	381	356
紹介(件)		582	666	681
逆紹介(件)		495	542	521

(図1)
心カテ・PCI (件数)



(図2)
再狭窄率 (%)



(表1)
合併症 (件)

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
死 亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
心 筋 梗 塞	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
重症不整脈	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
穿刺部血腫	0	0	0	1	2	0	0	0	1	0	0
脳 塞 栓	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0

.....血液内科部長 上村 智彦

《平成30年度活動報告》

H30年度は前年度と同様4名体制で診療した。累積入院患者数増加により入院収入は増加、外来化学療法の充実もあって外来収入も増加し、合計は前年比104.2%であった。H28年3月の無菌病棟全開棟で無菌室管理加算も安定し、H30年も適切に算定できた。H27～H28年度にかけての造血細胞移植関連の設備整備が整い、H28年10月の日本造血細胞移植学会認定 造血細胞移植コーディネーター (HCTC) 資格の取得などの人材育成やマニュアルなどのソフトを整備した。H29年に取得した造血細胞移植学会の非血縁者間造血幹細胞移植認定診療科の資格は、九州で4施設5診療科にとどまる HCTC を含めた条件全てを満たすカテゴリ1認定であった。H29～H30年度の2カ年の行動計画は、整備された設備・人材含むソフトを活かし、充実した医療チームによる包括的支援を目指した。こうした独自のチーム医療の取り組みは、新規薬剤が相次いで国内承認された多発性骨髄腫領域を中心に、差別化・知名度の上昇につながった。『医療チームによる包括的な患者支援』という目標に添った、患者・家族も参加しての血液がんサロンはH30年11月で7回を数え、同種移植患者に対する移植経験者によるピアサポートも継続できている。職種・部門の壁が低いことで実現できる、医療チームの良質な連携を更に充実させ、プライベートホスピタルの良さを活かし、地域の血液診療に貢献したい。

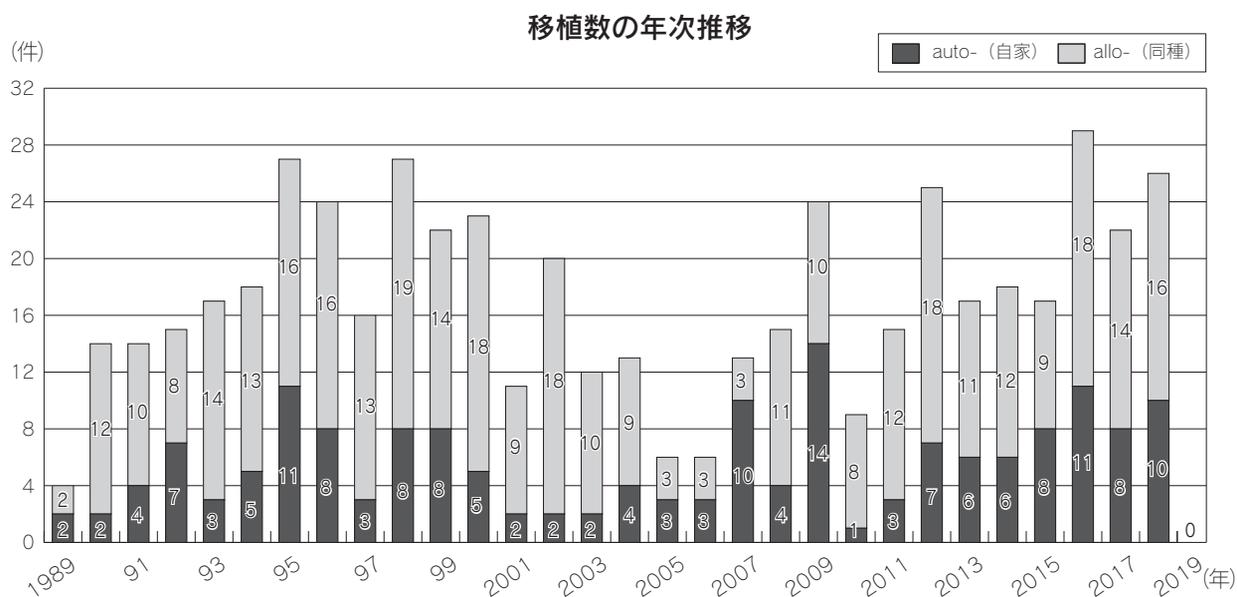


《令和元年度目標》

ビジョン『患者・家族とともに作る質の高い血液内科医療』
 戦略テーマ『自己完結型の造血幹細胞移植施設として、血液疾患治療の地域における先進的な役割を担い、患者・家族とともに作る質の高い血液内科医療を目指す～医療チームによる包括的な患者支援～』

	戦 略 目 標
顧 客 の 視 点	医学・看護研究の発表と論文化の推進 化学療法・移植の質向上 HCTCによる患者&ドナー支援の充実 患者・家族の満足度向上 患者・家族との連携強化
業 務 の 視 点	多発性骨髄腫治療・看護の強化 新規薬剤・新しい移植法への対応 移植認定基準のクリア・維持 末梢血幹細胞採取管理の向上 血液内科リハビリの強化
学 習 と 成 長 の 視 点	臨床試験・研究への積極参加・実施 血液疾患の学習 講演・発表活動の充実（広報として） 移植外来の充実 放射線治療部門との連携強化 感染症サーベイランスの充実と利用
財 務 の 視 点	多発性骨髄腫患者の増加 紹介患者の確保 移植件数の安定 治療の医療経済的適正化

		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
スタッフ構成		4 名	4 名	4 名
入 院	患 者 数 (人)	15,510	15,750	15,805
	新 入 院 (人)	412	414	425
	診 療 単 価 (円)	71,171	65,293	68,105
	平均在院日数 (日)	38.0	37.9	37.1
外 来	患 者 数 (人)	5,882	6,217	6,258
	初 診 (人)	906	932	734
	診 療 単 価 (円)	38,496	40,540	48,122
救 急 車 (台)		290	326	277
紹 介 (件)		298	294	283
逆 紹 介 (件)		141	122	146



腎臓内科部長 四枝 英樹

《平成30年度活動報告》

平成30年度は前年同様に四枝、浦、入江の3人体制で診療した。外来診療は稲永隆先生の応援をいただいた。

外来部門に関しては、患者数が増加し現在の外来枠数の限界に近づいており、逆紹介を行うことでコントロールしている。専門外来である慢性腎臓病外来（CKD外来）を週3回行っており、医師・専門看護師・管理栄養士によるチーム医療で包括的な腎不全治療を提供している。

入院部門では患者数、手術件数ともに増加傾向を保っている。病棟については大きな変化があった。地域包括ケア病棟の新設に伴い再編となり、これまでの本館4階病棟に本館3階病棟が加わった。腎臓病センターでの血液透析延べ回数も増加しており、循環器科、消化管内科、整形外科、総合診療科での透析患者さんの合併症入院も連携して治療している。血液透析室の環境整備を開始し、空気清浄器の整備や内装のリフォームを予定している。

学会発表や講演は医師：2回、看護師や技師などコメディカルスタッフ：4回と積極的であった。

令和元年度も腎臓病センターの底上げを図り、患者満足度を高めていきたい。



《令和元年度目標》

ビジョン『腎炎から末期腎不全、腎移植まで対応できる』

戦略テーマ『急性、慢性、末期腎不全、腎移植の各病態で信頼される医療を提供する』

	戦略目標
顧客の視点	原三信病院 腎臓内科を信頼していただく
業務の視点	腎臓病センターの底上げを図る
学習と成長の視点	手術、手技の向上 若手医師やスタッフへの指導
財務の視点	腹膜透析外来を拡充する 透析アクセス手術件数の増加

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
スタッフ構成	4名	4名	4名	
入院	患者数(人)	2,944	3,780	3,530
	新入院(人)	192	212	218
	診療単価(円)	46,408	43,330	45,862
	平均在院日数(日)	14.8	17.7	16.2
外来	患者数(人)	3,617	3,943	3,744
	初診(人)	248	276	277
	診療単価(円)	16,961	15,234	15,590
救急車(台)	43	47	44	
紹介(件)	367	446	410	
逆紹介(件)	129	152	135	
透析延べ回数	1,764	2,015	2,279	

副院長兼主任部長 原 直彦
呼吸器科部長 高木 陽一

《平成30年度活動報告》

平成30年度は、高木、久末、穴井、櫻井、と後期研修医の指宿の5名体制で診療にあたった。引き続き九大より、福山医師の応援があり、金曜日の外来、回診、気管支鏡検査に携わって頂いている。平成29年度と同様、肺がん患者の増加を目標に診療にあたった。また、チーム医療を中心として、過誤査定対策、呼吸器勉強会を継続した。気管支ファイバー件数は172例/年と前年度と比較して増加、診療単価も上昇し、入院患者数は前年より増加した。スタッフの数が増加したこと、免疫チェックポイント阻害剤等の高額な抗癌剤を使用したことが原因と考えられた。今年度のトピックとしては、大学で最新の知識を学んだ穴井医師をはじめ、若い力が台頭してきたことであった。気管支支ファイバー検査におけるEBUS-GS（肺内腫瘍をエコーで確認し生検を行う方法）の精度向上を目指している。



高木

来年度も、「診療の質の向上」を目標とし、肺癌化学療法のプロトコルの更新、学会発表、各病棟における呼吸器リンクナースの設立、各職種のチーム医療への積極的参加と情報意見交換が成されるよう努力したい。

気管支鏡 172例/年 45例が悪性腫瘍。

(肺癌関係の内訳:手術例12例、放射線治療10例、化学療法10例、BSC9例、九大病院への紹介14例、他)
※放射線治療と化学療法は併用療法を含む。

《令和元年度目標》

ビジョン『呼吸器科の発展を目指して』

戦略テーマ『呼吸器科の底上げ Ver.4』

	戦略目標
顧客の視点	顧客満足の向上（紹介元・紹介先医療機関、患者）
業務の視点	呼吸器科認知度の向上 重症度、医療看護必要度の確保 禁煙活動
学習と成長の視点	看護師のスキル向上（病棟・外来・リンクナース）
財務の視点	入院：肺がん患者を主とした新入院患者の増加 外来：禁煙外来の定着 重症患者の確保

		平成28年度	平成29年度	平成30年度
スタッフ構成		4名	4名	5名
入院	患者数(人)	8,732	8,835	9,803
	新入院(人)	573	556	621
	診療単価(円)	42,359	37,108	39,491
	平均在院日数(日)	15.2	15.9	16.0
外来	患者数(人)	5,755	5,735	6,072
	初診(人)	953	883	1,210
	診療単価(円)	15,805	14,890	16,695
救急車(台)		211	211	365
紹介(件)		718	686	741
逆紹介(件)		327	280	357

..... 糖尿病内科医長 深水 豊

《平成30年度活動報告》

常勤医1名体制。外来枠は常勤週2回、非常勤週1回で行っている。

入院業務としては糖尿病治療・教育の他、周術期・感染急性期をメインとした他科コンサルティングを行っている。

医師・看護師・臨床検査技師・管理栄養士・薬剤師・歯科医師・健診スタッフ・事務部・医療連携・リハビリテーション科で月に1回のチーム医療会議を行っており、院内の血糖に関するシステム・資料などの改善・適正化に努めている他、看護師向けの講義も行っている。チーム医療全体で糖尿病教室を担うことにより1週間で14枠という密な糖尿病教育を可能にしている。



《令和元年度目標》

ビジョン『テーラーメイドな医療の提供』

戦略テーマ『合併症の重症化予防』

	戦略目標
顧客の視点	外来枠以外での協診対応の継続 受診・診療継続を促す指導（フットケア外来・腎不全外来など）
業務の視点	教育入院の充実 入院と外来の連携
学習と成長の視点	DM知識の向上 スキルの向上
財務の視点	安定的な収入の確保と無駄の削減

		平成28年度	平成29年度	平成30年度
スタッフ構成		1名	1名	1名
入院	患者数(人)	1,087	957	800
	新入院(人)	66	56	56
	診療単価(円)	33,546	32,830	33,553
	平均在院日数(日)	17.7	16.8	14.7
外来	患者数(人)	3,236	3,025	2,566
	初診(人)	215	176	179
	診療単価(円)	13,962	14,436	16,496
救急車(台)		81	79	54
紹介(件)		91	79	90
逆紹介(件)		57	42	55

脳神経内科部長 藤木富士夫

《平成30年度活動報告》

入院および外来対応は、常勤一人体制で行った。効率良い外来運用のため、再診をできるだけ逆紹介し、縮小した。そのため外来総患者数は減少した。一方、初診は外来診察時間外にも断ることなく対応した。紹介患者増、それに伴う入院患者増を目指したクリニック訪問は継続したが、結果には反映されなかった。



《平成30年度の目標・展望》

外来再診減少および新患増加、特に入院に直結する高齢者新患へ特化する。高齢者対応が多い在宅医および施設との連携強化をはかっていきたい。

《令和元年度目標》

ビジョン『別無工夫（シンプルに）』

戦略テーマ『神経疾患の合併症治療』『専門先進医療への関わり』

	戦略目標
顧客の視点	患者・家族・紹介医・他科医の満足度向上
業務の視点	効率的な運用 MSW・地域連携室との連携強化
学習と成長の視点	他職種連携の充実
財務の視点	DPC ≥ 出来高 ⇒ 増収

		平成28年度	平成29年度	平成30年度
スタッフ構成		1名	1名	1名
入院	患者数(人)	1,990	2,111	1,869
	新入院(人)	142	137	125
	診療単価(円)	42,079	37,861	37,499
	平均在院日数(日)	14.3	15.6	15.6
外来	患者数(人)	3,638	3,394	3,059
	初診(人)	387	339	416
	診療単価(円)	10,735	11,001	11,779
救急車(台)		35	41	41
紹介(件)		281	309	288
逆紹介(件)		211	293	199

..... 循環器科部長兼睡眠呼吸障害センター長 市来 俊弘

《平成30年度活動報告》

平成30年度の終夜睡眠ポリグラフィー検査は212件であった。平成29年度と比べ41件増加し、入院収入は30%増となった。昨年度とくらべ院外からの紹介数が増加したことが要因と考えられる。持続陽圧呼吸療法 (CPAP) の管理は175件/月ほどとなり、徐々にではあるが着実に増加している。その一方で、未受診者が増加傾向にあり、月平均15人ほどになっている。2ヶ月以上受診されない方に関しては受診していただくよう文書で連絡しており、今後も改善に努めていきたい。睡眠時無呼吸症候群が心血管病を増加させることから、高血圧合併例などのリスクの高い患者に対して、頸動脈エコーや心エコーなどによる心血管病のスクリーニングを積極的に進めている。



平成30年2月より CPAP データの遠隔モニタリングシステムを導入した。患者の外来受診前に CPAP 使用状況のデータを準備し、カルテ記載しておくことで外来待ち時間の短縮に努めている。

開業医の先生方の睡眠時無呼吸症候群についての理解を深め、紹介を増やしていただくよう、循環器科と共同で地域医療機関との連携の為に講演会を2回行った。概ね盛会であった。令和元年度も引き続き原三信病院で睡眠時無呼吸症候群の診療を行っていることを開業医の先生方へ周知し、より多くの患者を紹介してもらえるように努力したい。

《令和元年度目標》

ビジョン『快適で良質な睡眠による健康増進』

戦略テーマ『院内外との連携強化と総合的な生活習慣病治療』

戦略目標	
顧客の視点	患者満足度の向上 総合的な健康管理
業務の視点	院内外との連携強化 総合的な生活習慣病治療
学習と成長の視点	睡眠時無呼吸症候群の周知を図る
財務の視点	紹介患者の増加 PSG、CPAP 件数の増加を図る CPAP 外来未受診患者を減らす

		平成28年度	平成29年度	平成30年度
スタッフ構成		1名	1名	1名
入院	患者数(人)	287	333	422
	新入院(人)	144	166	211
	診療単価(円)	47,096	46,648	47,858
	平均在院日数(日)	2.0	2.0	2.0
外来	患者数(人)	1,672	1,894	2,081
	初診(人)	98	94	150
	診療単価(円)	15,668	16,410	14,940
紹介(件)		70	79	125
逆紹介(件)		25	31	45

脳神経外科部長 庄野 禎久

《平成30年度活動報告》

脳神経外科医師は2名体制のままで、平成30年4月1日より山上医師から前原医師に交代になった。前原医師は8月に脳神経外科専門医試験を受験し、無事に専門医師資格を取得した。平成30年度の脳神経外科診療実績は、新入院数、診療単価、外来患者数、手術件数が増加しいずれも過去最高を記録した。また脳神経外科患者の重症度・医療、看護必要度も上昇傾向にあり、重症患者数が増加している印象がある。逆に平均在院日数は過去最低となり、病床管理上、非常に好ましい状況が続いている。一方で外来初診数、救急車台数、紹介件数はほぼ頭打ちになっている状況があり、今後の問題点と考えられる。平成31年4月から脳神経外科医師数が3名に増員されることもあり、新規の紹介元の開拓や救急車受け入れ台数の増加を目指した活動を行いたい。



《令和元年度目標》

ビジョン『必要かつ最善な脳外科診療を遂行する』
『長期的に持続できる診療体制の構築』

戦略テーマ『チーム医療による質の高い医療の提供及び持続可能な診療体制作り』

	戦略目標
顧客の視点	情報提供の充実（患者さん・連携医療機関） 救急及び紹介患者の受け入れ体制強化
業務の視点	外来～病棟～手術～退院（転院）の連携強化 救急患者への迅速な対応
学習と成長の視点	医療従事者の知識の向上 積極的な論文作成及び学会発表
財務の視点	救急及び紹介患者の確保 効率的医療の実践 重症度、医療・看護必要度の維持

		平成28年度	平成29年度	平成30年度
スタッフ構成		2名	2名	2名
入院	患者数(人)	5,481	4,883	5,206
	新入院(人)	205	219	247
	診療単価(円)	51,250	48,250	53,033
	平均在院日数(日)	27.4	22.3	21.3
外来	患者数(人)	2,525	2,784	2,961
	初診(人)	535	525	504
	診療単価(円)	16,107	15,143	16,032
救急車(台)		229	247	240
紹介(件)		171	186	182
逆紹介(件)		138	141	200
手術件数		86	99	112

..... 副院長兼外科主任部長 江口 徹
 胸部外科部長 廣田伊千夫 消化器外科部長 当間 宏樹
 肝胆膵内科部長 橋爪健太郎 乳腺内分泌外科部長 小川 尚洋・小原井朋成



江口 廣田 当間 橋爪 小川 小原井

《平成30年度活動報告》

平成30年度より、外科は事務上、外科と乳腺内分泌外科の編成となり、毎月の診療実績等の計算も別個になりました。これは、昨年度からの臓器別診療体制化の一環で、今後も専門化の流れは、より進んで行くと思われま。平成30年4月から、亀田、山本の2名の新任医師を加えた9名体制でスタートしましたが、6月に三浦が、兼ねてから予定の、臓器移植の臨床研修のため、米国へ旅立ち、以降は、年度末まで1名欠員状態となりました。マンパワーの不足を全員で補うべく、奮闘する毎日でしたが、手術総数は、前年割れの684例にとどまりました。次年度は再び、9名体制に戻りましたので、巻き返しを図りたいと思います。

平成30年度は、ホームページの改訂や近隣の医療施設への訪問など、院外への情報発信を目標に掲げ、企画室や医療連携室のサポートにより、ほぼ予定通りに実施致しました。その結果は、ホームページ閲覧回数の増加傾向に現れましたが、今後は、外来新患の増加につながる様に、引き続き取り組んで参りたいと思います。開業医の先生方との直接のコミュニケーションは、大変勉強になり、日頃は気付かない新たなニーズの発掘にもつながることが期待されます。

内視鏡外科の領域では、ダヴィンチを用いたロボット支援手術の保険適応が拡大され、あらゆる手術に導入されつつあります。ロボット手術では、従来の内視鏡外科手術では困難な操作が格段に改善され、手術の安全・確実性が向上されると考えられています。その一方で、術者に触覚が全くないことや頑強な器材を生体内で用いる上での安全性の担保、医療経済の問題などが以前から指摘されています。様々な問題はあるものの、今後もロボット手術への移行は加速すると思われま。直腸癌の腹腔鏡手術の様に、狭い骨盤内での操作には、ロボット手術が特に有用と考えられており、現在は、直腸癌での施設基準の充足のために、手術症例数の確保を目指して参ります。次年度も患者さんの利益を最優先に考え、外科全体で取り組んで参りたいと思います。

《令和元年度目標》

ビジョン『がん治療の充実』

戦略テーマ『臓器別診療体制の充実』『術後合併症の抑制』

戦略目標	
顧客の視点	「説明と同意」の充実 患者満足度の向上 治療体制の臓器別センター化 外科広報の充実
業務の視点	リスク管理の徹底 クリニカルパスの充実 臓器別治療体制の充実 術後感染率の低下 縫合不全率の低下 より良い労働環境作り
学習と成長の視点	高度な治療技術の取得 安全で確実な外科医療を提供できる為の職員教育 周術期ケアの充実 (東館6F病棟・外科)

財 務 の 視 点	患者確保 無駄のない医療 腎移植後患者の治療拡充
-----------	--------------------------------

		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
スタッフ構成		9 名	9 名	9 名
入 院	患 者 数 (人)	12,649	12,003	10,718
	新 入 院 (人)	815	802	714
	診 療 単 価 (円)	61,546	61,324	61,776
	平均在院日数 (日)	15.2	14.3	14.3
外 来	患 者 数 (人)	11,912	12,723	12,472
	初 診 (人)	1,002	991	708
	診 療 単 価 (円)	24,559	23,955	25,142
救 急 車 (台)		26	33	38
紹 介 (件)		665	672	561
逆 紹 介 (件)		252	212	222
手 術 件 数		691	729	682

外科手術件数

		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
内分泌 (甲状腺・副甲状腺・乳腺)	甲状腺・副甲状腺	30	15	2
	乳腺	50	39	47
	計	80	54	49
胸部 (肺、食道)	肺悪性	31	18	22
	良性	12	18	23
	計	43	36	45
腹部消化管 (人工肛門含む)	胃	43	51	27
	結腸直腸	85	98	161
	その他	39	19	54
	計	167	168	134
虫垂炎		56	54	64
肝、胆、膵、脾		15	40	25
胆石症、胆嚢ポリープ		85	97	110
ヘルニア(腹壁、鼠径)		149	156	151
痔、肛門ポリープ		5	12	8
下肢静脈瘤		1	0	0
皮下腫瘍、リンパ節腫張		28	31	36
その他 (PTCD、気切、ポート挿入等)		61	81	60
合 計		690	729	682

..... 整形外科部長 崎村 陸

《平成30年度活動報告》

整形外科はスタッフ5名体制で診療をおこなった。平成30年度は手術数が633件に増加していたが、これは、平成30年3月よりまえた整形外科 博多ひざスポーツクリニックの前田朗先生が当院で本格的に手術執刀を開始され、ご専門である膝関節鏡視下手術数が伸びたことによる影響が大きかった。これに加え、永野賢医師が専門とする足・足関節外科手術の進化・深化も特筆すべき点であった。これらの結果として、入院患者数、新入院患者数、入院単価、及び入院収入が増加し、在院日数は短縮していた。外来部門では外来患者数、外来初診患者数、外来単価、そして外来収入は平成29年度と同等であったが、紹介件数は著しく増えていた。一方、救急車件数は微減していたが、診療時間内の救急車不応需件数は極めて少なく抑えられていた。



当科は「地域に求められる整形外科」との理念を掲げている。今後とも、地域の中で基幹的役割を果たしつつ整形外科急性期医療に対する要望に応えることができるよう、努力する所存である。

《令和元年目標》

ビジョン『地域が求める整形外科』

戦略テーマ『二次救急・急性期入院医療の充実』

	戦 略 目 標
顧 客 の 視 点	患者・スタッフの満足度の向上 早期社会復帰 診療機能の充実
業 務 の 視 点	手術の拡充 クリニカルパス更新と活用 救急対応の継続 専門的医療の強化
学習と成長の視点	スキルアップ
財 務 の 視 点	新規入院患者の確保 平均在院日数の軽減 適正な診療報酬 不要な医療費の削減

		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
スタッフ構成		5 名	5 名	5 名
入 院	患 者 数 (人)	12,438	12,180	13,354
	新 入 院 (人)	556	549	689
	診 療 単 価 (円)	46,937	46,238	52,028
	平均在院日数 (日)	22.5	22.0	19.4
外 来	患 者 数 (人)	10,393	10,475	10,781
	初 診 (人)	1,934	1,903	1,853
	診 療 単 価 (円)	8,962	9,082	8,680
救 急 車 (台)		285	276	273
紹 介 (件)		423	506	707
逆 紹 介 (件)		667	725	854
手 術 件 数		509	505	633

整形外科 年度別手術件数

手術法		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
脊 椎		5	2	1	0	
四肢損傷	大腿骨近位部骨折	51	53	46	48	
	骨折・脱臼	135	136	152	148	
	腱損傷（その他）	71	79	77	84	
骨軟部腫瘍	良 性	7	16	9	14	
	悪 性	1	10	2	1	
上肢・手	人工関節（骨頭）置換術 （外傷を除く）	肩	0	0	0	0
		肘	0	0	0	0
		手指	0	0	0	0
	関節鏡視下手術	肩	9	8	2	9
		肘	0	0	0	0
		手指	1	0	0	0
	関節形成術（骨切り他）		1	0	0	1
	神経、筋腱		23	14	15	19
	そ の 他		6	5	2	0
	下 肢	人工関節（骨頭）置換術 （外傷を除く）	股	6	7	0
膝			18	16	22	36
関節鏡視下手術		股	0	0	0	0
		膝	28	21	50	131
		足	34	25	23	24
関節形成術（骨切り他）		17	18	14	34	
神経、筋腱		3	4	2	5	
そ の 他		81	95	88	75	
合 計		497	509	505	633	

..... 名誉院長 内藤 誠二
泌尿器科主任部長 横溝 晃
泌尿器科部長 武井実根雄・宮崎 薫・一倉 晴彦



内藤



横溝



武井



宮崎



一倉

《平成30年度活動報告》

平成30年9月より横溝が泌尿器科主任部長に就任し、平成30年度の原三信病院泌尿器科は原三信泌尿器クリニックを含め19人体制で診療を行った。当院泌尿器科は、前立腺肥大症、尿路結石症、泌尿器がん、女性泌尿器科を始めとして、小児泌尿器科以外の全ての泌尿器科疾患に対し、高度な専門治療を行うことができる国内唯一無二の施設であり、患者数と手術件数は日本のトップレベルにある。外来は一般泌尿器科診療以外に特殊外来として女性泌尿器外来、尿失禁外来、ED外来および不妊外来を設けている。一方、症状の落ち着いた患者さんを中心に、待ち時間の短縮と地域医療に貢献するため、当院に近い双和ビル2階の原三信泌尿器クリニックで中牟田誠一院長による外来診療を継続している。

診療は看護部、技術部および事務部と緊密な連携を取りながら、外来診療、入院診療および手術治療に取り組んでいる。円滑で質の高い安心、安全な医療を提供するため、毎月医師、看護師、薬剤師、検査技師、放射線技師、医師事務作業補助者（MA: medical assistant）および医事課職員ら泌尿器科診療に関わるスタッフ全員を交えてチーム医療に関する検討会を開催している。また火曜日の症例カンファレンスには九州大学泌尿器科江藤正俊教授、手術カンファレンスには九州大学泌尿器科立神勝則准教授、古賀病院21平塚義治顧問（前福大筑紫病院教授）を迎え、エビデンスに基づいた医療を提供できるよう指導を仰いでいる。また週2回の症例カンファレンスでは放射線科の先生方より、画像所見についてコメントを頂く検討会を開催している。さらに平成19年に脳神経内科藤本部長の指導のもと開始した神経泌尿器カンファレンス、平成23年に開始した女性泌尿器カンファレンス、そして平成26年に放射線科と病理診断科の協力のもと開始した前立腺癌カンサーボードはすべて予定通り開催した。本年は、前立腺がんカンサーボードを通じて、前立腺がんの特定領域がん診療連携拠点病院の指定獲得を目指し活動を継続する予定である。

表1に平成29年の手術件数（手術室を利用する検査を含む）を示した。全件のうち結石症に対する手術のうち体外衝撃波碎石術（ESWL）61例、経皮的腎尿管結石碎石術（PNL）60例、および経尿道的尿管結石碎石術（TUL）が316件と全体の3分の1を占めていた。また悪性腫瘍に対する手術のうち経尿道的膀胱腫瘍切除術（TURBT）は310件で例年通り多く、また、ロボット支援手術も順調に推移しており、平成30年度は前立腺全摘（RALP）が、101件、腎部分切除術（RAPN）が20件、膀胱全摘除術（RALC）が10件と国内トップレベルの症例数となり、難易度の高い高度な手術を患者さんに安全に提供できる状況となった。図1に当科における悪性腫瘍新規登録患者数の年次推移を示す。前立腺癌、膀胱癌が経年的に増加しており、今後もこの2つの癌種の治療数の増加は継続するものと思われる。さらに前立腺肥大症に対する低侵襲治療として、通常の肥大症には、レーザー蒸散術（PVP）、体積の大きな前立腺肥大症については接触型蒸散術（CVP）を適応として施行しており、それぞれ症例数は106例、41例と好調で、治療成績とともに本院は本邦における指導的な施設となり、国内外から手術見学者が多数来院した。

平成30年度の診療実績については表2にまとめているが、外来患者数は同等であるのに対し、診療単価が上昇している。これは、高額な抗癌剤治療数が増加したため、転移性腎癌に対するニボルマブ、イ

ピリピマブ、転移性尿路上皮癌に対するペムプロリズマブ、去勢抵抗性前立腺癌に対するエンザルタミド、アピラテロン、ドセタキセル、カバジタキセルによる治療を積極的に行っている。今後も、このような進行がんに対する先端的な治療を適正な適格基準を守り、安全かつ確実に行う所存である。

このほかに特色ある治療として、武井部長を中心に健康保険適応以前より取り組んできた前立腺全摘術後の重症尿失禁に対する人工括約筋手術は平成24年4月に保険適応となり順調に症例を重ねて、平成30年度は10件を施行し累計では172件となった。

診療は多忙であるが学会・学術活動も積極的に行っている。平成30年度学会発表数38件、論文・著書は5件、講演は63件であった。(学会発表にはシンポジウム・ワークショップ4件、教育セミナー等9件を含む。)

《令和元年度目標》

平成27年3月に新設された泌尿器センターは透視手術室、ESWL室、レントゲン検査室、同じ東館4階の泌尿器科病棟とともに緊密な連携のもとで泌尿器科診療を円滑に行っている。本年度はESWLの機種が更新される予定で、DSによる効率的な治療を行い、減少傾向にある症例数を上方修正したい。また、結石砕石用のレーザー機器も更新され、安全でかつ効率的な治療が期待でき、TUL、PNLの治療症例数を増やすことも目標としている。また、平成28年4月のダ・ヴィンチ Xi の導入により、当院でも前立腺癌、腎癌、膀胱癌に対するロボット支援手術が安定した成績で施行可能となり、本年もこれらに積極的に取り組んでいきたい。

ビジョン『未来をリードする泌尿器科診療』

戦略テーマ『患者もスタッフも Win-Win となる安心、安全な泌尿器科診療』

	戦略目標
顧客の視点	待ち時間の短縮、初診問診票の改定、テンプレート入力 待ち時間対策の強化を行う（スタッフの患者に対する心配り、待合室に疾患、治療等のパンフレットを充実させる、デジタルサイネージ（表示システム）の有効活用 逆紹介を増やし、かかりつけ医と連携・情報の共有を行い効率的な診療を行う ホームページの活用 安心、安全な看護を提供し、不安の軽減に努める 待ち時間短縮→新患予約の推進（紹介いただく病院へ情報公開）
業務の視点	仕事に誇りがもてる充実した職場づくり 働き方改革を意識した勤務内容へのシフト チーム医療との共通の認識を持ち、良好なコミュニケーションを図る 業務を見直し重複や過剰業務を改善する 専門領域を生かした診療体制の樹立 各専門外来の周知を図る 泌尿器科外来薬剤師の配置 泌尿器科担当手術場看護師の育成 ロボット支援手術；チーム化（医師・看護師・臨床工学士） 外来・病棟看護師の他科への移動ではなくローテーションの検討
学習と成長の視点	スタッフの専門知識の向上 各部門のスタッフの講演会、学会への参加と発表の推進 カンファレンス出席率向上のための業務見直し チーム医療の参加推進
財務の視点	査定減少の努力を継続する（チーム医療を通じてフィードバックと周知を実践する） 高額薬剤・試薬やディスプレイ製品の慎重な使用 パスの改訂→効率化を推進する。

《平成30年統計》

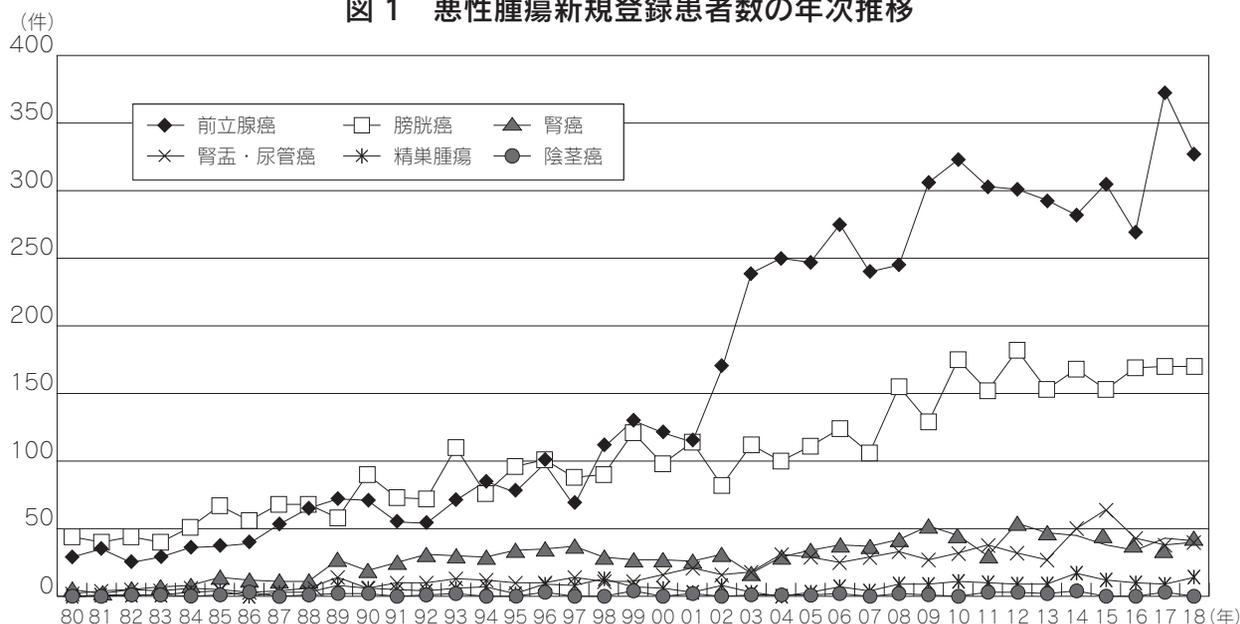
表1 平成30年の手術件数

手術名	件数	手術名	件数
経皮的腎・尿管碎石術 (PNL)	60	回腸 (結腸) 導管造設術 (膀胱全摘除術を伴うもの)	13
体外衝撃波碎石術 (ESWL)	61	回腸 (結腸) 導管造設術 (膀胱全摘除術を伴わないもの)	2
単純腎摘除術 (鏡視下)	1	経尿道的膀胱腫瘍切除術 (TURBT)	310
ロボット支援下腎部分切除術 (RAPN)	20	尿失禁手術 (TVT、TOT)	44
根治的腎摘除術 (鏡視下)	21	精巣摘出術	5
腎尿管全摘膀胱部分切除術 (開腹)	4	高位精巣摘出術	16
腎尿管全摘膀胱部分切除術 (鏡視下)	34	精巣固定術 (精巣捻転に対する)	5
経尿道的尿管碎石術 (TUL)	316	経尿道的前立腺切除術 (TURP)	16
膀胱脱メッシュ修復術	18	ロボット支援下根治的前立腺全摘除術 (RALP)	101
膀胱全摘除術 (開腹)	3	光選択的前立腺レーザー蒸散術 (PVP)	106
膀胱全摘除術 (鏡視下)	3	接触式前立腺レーザー蒸散術 (CVP)	41
ロボット支援下膀胱全摘除術 (RALC)	10	その他	461
尿管皮膚瘻造設術 (膀胱全摘除術を伴うもの)	2		
		合計	1,673

表2

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
スタッフ構成	18名	18名	19名	
入院	患者数(人)	24,223	24,929	24,281
	新入院(人)	2,805	2,937	2,817
	診療単価(円)	59,040	60,051	59,705
	平均在院日数(日)	8.6	8.5	8.6
外来	患者数(人)	44,893	44,688	44,325
	初診(人)	5,740	5,595	5,591
	診療単価(円)	19,379	20,609	22,047
救急車(台)	237	211	211	
紹介(件)	4,093	3,887	4,020	
逆紹介(件)	1,511	1,187	1,357	
手術件数	2,448	2,576	2,329	

図1 悪性腫瘍新規登録患者数の年次推移



..... 婦人科部長 片岡 恵子

《平成30年度活動報告》

平成30年度の診療体制は常勤医師4名で行われており、途中産休や育休で欠員が出るものの外来診療数、入院患者数、手術件数の過去最大数をさらに更新しつつあります。平成30年6月より施設認定を受けた骨盤臓器脱に対する腹腔鏡下膈仙骨固定術も軌道に乗ってきています。女性泌尿器科グループとの合同カンファレンスで十分に議論し、手術適応やその方法の検討を行うため、最適な手術、治療を提供できる点が他院にはない大きな特徴です。



2.8mmの細径子宮鏡カメラは外来で気軽に子宮鏡検査を行え、患者さんにも苦痛を与えず短時間で施行可能であるため、引き続きご好評を得ています。今後も良疾患全般に力を注ぎ、不妊・内分泌領域および女性のヘルスケア（骨盤臓器脱、更年期障害）に適した内視鏡手術、治療を行っていくとともに、地域の皆様と強く連携し、頼りにされる診療を進めていきたいと思っております。

《令和元年度目標》

ビジョン『安心して治療が受けられ笑顔で帰っていただける診療』

戦略テーマ『安心と信頼と身近な医療の提供』

	戦略目標
顧客の視点	患者満足度の向上（親切、丁寧、優しい婦人科）
業務の視点	健診～外来～病棟～手術室の連携強化 業務の効率化
学習と成長の視点	知識及び技術の充実 情報の共有
財務の視点	収入増

		平成28年度	平成29年度	平成30年度
スタッフ構成		3～4名	4名	4名
入院	患者数(人)	2,200	2,195	2,603
	新入院(人)	369	377	439
	診療単価(円)	87,842	92,743	89,155
	平均在院日数(日)	5.9	5.8	5.9
外来	患者数(人)	6,661	6,734	7,162
	初診(人)	1,299	1,270	1,199
	診療単価(円)	10,760	10,608	10,652
救急車(台)		13	8	18
紹介(件)		707	782	778
逆紹介(件)		324	342	300
手術件数		342	355	431

婦人科手術症例件数（平成30年4月～平成31年3月）

腹腔鏡下子宮付属器腫瘍摘出術	99	子宮内容除去術（不全流産）	1
腹腔鏡下子宮筋腫核出術	22	バルトリン腺嚢胞摘出術・造袋術	3
腹腔鏡下腔式子宮全摘術	55	子宮脱手術 4.腔壁形成手術及び子宮全摘術	45
腹腔鏡下子宮外妊娠手術	11	流産手術（妊娠11週まで）	1
腹腔鏡下子宮付属器癒着剥離術	6	腔式子宮筋腫核出術	3
腹腔鏡下試験開腹術	2	女子外性器腫瘍摘出術	2
腹腔鏡下多嚢胞性卵巣焼灼術	2	腹式子宮筋腫核出術	21
腹腔鏡下仙骨腔固定術	5	開腹下子宮付属器腫瘍摘出術	6
腹腔鏡下子宮内膜症病巣除去術	1	子宮腔上部切断術	1
子宮鏡下子宮内膜ポリープ切除術	66	腔断端挙上術（腔壁、腹式）	1
子宮鏡下子宮筋腫核出術	12	腔壁形成手術	1
子宮鏡下子宮中隔切除術、子宮内腔癒着切除術 （癒着剥離術を含む）	1	子宮頸管ポリープ切除術	2
子宮鏡下子宮内膜焼灼術	1	腔壁嚢腫切除術	1
アウス	1	試験開腹術	1
子宮全摘術	21	開腹下子宮付属器癒着剥離術	2
子宮内膜搔爬術	34	創傷処理（筋肉、臓器に達しない）（長径5cm未満）	1
合 計			431

放射線科部長 奥島 一洋

《平成30年度活動報告》

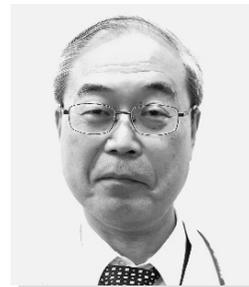
2018（平成30）年4月の異動で筒井聡一郎が転出し、代わって出原真理加が赴任した。寺嶋廣美が従来通り放射線治療・ハイパーサーミアを担当し、奥島一洋、出原真理加、小田原裕子の3名が画像診断を担当した。

老朽化したものも含め、諸設備は相変わらず大きなトラブルにも見舞われずに稼働している。スタッフの皆さんの日頃からの入念なメンテナンスなど努力の賜と感謝している。

放射線治療件数は前年度秋頃から落ち込み、累計は前年度から2割近い減となった。4月から重粒子線治療が前立腺癌にも保険適応になった影響と考えられる。

画像診断管理加算2の算定は画像診断専門医により翌診療日までに80%以上の報告をすることが要件だが、画像診断専門医は2017年10月からは1名（奥島）となっていたので断念を余儀なくされていた。4月の専門医2名体制（奥島・出原）の復活後、3ヵ月間の実績を踏まえて7月からの算定が可能になった。また、出原の驚異的な読影スピードにより報告が迅速になり、患者さんの待ち時間短縮、画像診断医の勤務時間短縮にもつながったものと思われる。

他院からのCT・MRI・RIの検査依頼件数は前々年度（445件）から前年度（485件）、本年度（522件）と増加が続いている。



《令和元年度目標》

ビジョン『良質な放射線医療をめざす』

戦略テーマ『ニーズに対応し、質の向上と危険回避の徹底』

	戦略目標
顧客の視点	安全性の確保 放射線治療件数の回復 検査トラブルの減少 被曝低減
業務の視点	時間外検査増加への対応 放射線治療の充実 読影の質の保証
学習と成長の視点	勉強会の実施 安全教育の徹底 読影技術の向上 最新知見の理解
財務の視点	紹介患者数の増加 ハイパーサーミアの件数増加 保有機器のメンテナンス見直し 過誤査定の検討

		平成28年度	平成29年度	平成30年度
スタッフ構成		4名	4名	4名
外来	患者数(人)	6,594	6,709	5,494
	初診(人)	349	354	385
	診療単価(円)	26,779	30,058	30,512
紹介(件)		434	450	469
逆紹介(件)		369	338	394

..... 歯科・口腔外科部長 小野田慈美

《平成30年度活動報告》

平成30年度も田籠、小野田の常勤2名体制で診療をおこなった。「地域に貢献し、頼られる病院歯科」を目標に、近隣の病院・歯科医院への広報活動を引き続き実施し、紹介件数・逆紹介件数・外来患者数ともに順調に増加傾向にある。特に、睡眠時無呼吸症候群や口腔外科的疾患の紹介患者が増加した。入院患者・手術件数はまだまだ件数が少ない状況にあるが、徐々に増加傾向にある。

病院内での他科との連携においても、がん患者の周術期口腔管理や病棟における口腔ケア活動、摂食嚥下機能評価・訓練などを引き続き積極的におこなっている。香椎原病院においては、入院時の無料歯科検診と歯科治療に引き続き取り組んでいる。



《令和元年度目標》

ビジョン『院内・院外で連携のとれる歯科
常に患者の立場で、より早く、質の高い、誠実な歯科医療を』

戦略テーマ『地域に貢献し、地域に頼られる病院歯科』

	戦略目標
顧客の視点	患者満足度の向上 診療環境の改善（特に院外からの紹介患者を考慮）
業務の視点	歯科入院患者に対する診療の円滑化
学習と成長の視点	接遇向上のための研修会 専門性を高める 他分野との連携強化
財務の視点	他医療機関からの紹介、逆紹介患者を増やす 周術期口腔機能管理の推進

		平成28年度	平成29年度	平成30年度
スタッフ構成		2名	2名	2名
入院	患者数(人)	149	139	278
	新入院(人)	21	19	31
	診療単価(円)	48,999	57,370	72,692
	平均在院日数(日)	9.6	7.1	9.1
外来	患者数(人)	9,222	9,573	10,026
	初診(人)	1,630	1,805	1,862
	診療単価(円)	6,193	6,625	6,868
紹介(件)		282	462	544
逆紹介(件)		198	413	474
手術件数		10	19	29

..... 病理診断科部長 河野 真司

《平成30年度活動報告》

病理診断数は年間5,102件と大台を超えました。細胞診は11,488件で約4%減でした。診断のため免疫・特殊染色までした症例は553件ありました。自動免疫染色装置を購入していただき、それによって病理学会の外郭団体が主催する免疫染色の外部精度管理（全国で約300施設が参加）にも参加できるようになりました。また新たに神経内分泌マーカーの INSM1、尿路上皮癌マーカーの S100P、サイトケラチン5/6等の抗体を揃えました。Precision medicine の普及に対応するため一部の臓器を除いて、固定用のホルマリンを従来の20%ホルマリンからDNAの保存が良いとされる10%緩衝ホルマリンに変更しました。



臨床との合同カンファレンスとしては、引き続き月に3回、前立腺、消化器、肺・乳腺の cancer board を行っています。

《令和元年度目標》

ビジョン『信頼される病理診断』

戦略テーマ『正確・迅速・満足のいく診断の提供』

	戦略目標
顧客の視点	先進医療への積極的協力 質の高い報告書の提供 納得のいく病理説明 病理診断の患者説明もれ防止の整備
業務の視点	検査の質の維持 作業環境の改善 免疫染色の院内化 検体検査の精度の確保に係る整備
学習と成長の視点	問題症例の検討 スペシャリストの育成
財務の視点	コスト削減

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
スタッフ構成	1名	1名	1名

..... 麻酔科部長 下澤 浩基
手術部部長 渡邊 隆郁

《平成30年度活動報告》

手術を受けられる患者さまの年齢は、ますます高齢化しております。

当院では、ロボット支援手術を含む、高度な技術を必要とする手術や長時間かかる手術件数も増加してきました。

麻酔科は、平成30年度も、29年度と同様、渡邊、香取、丸谷、平井、下澤の常勤医5名体制でした。

この体制では、年々増加する麻酔科依頼症例に十分には対応できず、外部からの応援麻酔科医師とも協力し、麻酔科依頼手術症例に対応してまいりました。

心臓などの病気で抗凝固剤を内服しておられる患者さまへの対応として、また、手術をされる先生方の要求に対応するために、エコー装置を用いての神経ブロックに、積極的に取り組んでいます。

手術を受けられる患者さまに、手術前後になるべく痛みが少なく、安全で心配の少ない入院生活を過ごせるように、今後も努めていきたいと考えております。



下澤



渡邊

《令和元年度目標》

ビジョン『患者様のためならいつでも全力投球 !!』

戦略テーマ『患者様の安全と安心を第1に考え、実践する手術室』

	戦略目標
顧客の視点	患者安心感提供 患者満足度向上 執刀医満足度向上
業務の視点	効率的な手術室稼働 安全確保スタッフ充実 リスク回避
学習と成長の視点	麻酔科・手術室スタッフ満足度向上 麻酔科医師専門性向上 職員満足度向上
財務の視点	収益増加 医療費削減

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
スタッフ構成	5名	5名	5名
手術室症例	4,857	5,059	4,942
麻酔科管理症例	3,217	3,289	3,464

..... 呉服町腎クリニック院長 石田伊都子

《平成30年度活動報告》

毎年、高齢化に伴い、通院困難となられる方が数名おられる。

平成28年11月1日より巡回バスのサービスを開始したが、1巡のみで完全予約制のためか利用者は少ない状態が続いている。

平成30年度は転入患者19名（原三信病院8名、福岡赤十字病院導入3名、九州大学病院導入1名、浜の町病院導入1名、福岡済生会総合病院1名、福岡市民病院1名、九州医療センター1名、四日市病院1名、熊本医療センター1名、転居による維持透析施設変更1名）であった。

そのうち1名は、エコーガイド下でないで穿刺が困難なため、エコーガイド下穿刺の可能な施設へ転院とされた。九大で透析導入後、長期留置型カテーテルにより透析を行っていた若い患者さんは、内シャント作成が困難で、九州大学病院退院後は内シャントを作成した施設に転院された。

退職後にご自宅近くの施設に移られた方は6名。オーバーナイト透析施設への転院が2名。他院への転出5名（転居2名、介護施設入所に伴い指定の施設への転院2名、長期入院透析1名）。

死亡は4名（死因：入院中の突然死、肺炎、脳幹出血、末期癌）であった。

平成30年度は、転入19名、転出15名、死亡4名であった。

合併症診療は原三信病院に大きく依存し、原三信病院との緊密な連携に感謝している。

臨時透析は年間のべ169回であった。



《令和元年度目標》

ビジョン『生存率が高く合併症の少ない透析治療』

戦略テーマ『安全で確実な透析技術』『安全な透析看護』

『コミュニケーションを重視した診療』

		戦略目標	
顧客の視点		生命予後の改善	
業務の視点		スタッフの安全性確保 スタッフの満足度向上 安全な機器管理 安全で確実な透析医療の提供	
学習と成長の視点		質の高い透析の追求	
財務の視点		患者数維持	

		平成28年度	平成29年度	平成30年度
スタッフ構成		1名	1名	1名
外来	患者数(人)	18,579	17,903	17,072
	診療単価(円)	29,517	29,533	29,510

..... 健康管理センター長 原 直彦

【平成30年度活動報告】

今年度の入院、外来の実績についてご報告申し上げます。

入院ドックは、158名と前年と比較し24名の減でしたが、数年間の長期減少傾向に終止符が打たれたのではないかと考えます。一方、外来受診者は、13,894名と前年に引き続き5%の受診者増となり、ここ5年間で、年間約1,800名の受診者増となりました。このことは、当センターを多くの方々にご信頼を頂いた結果と大変嬉しく思うと同時に、今後もそのご期待にお応えしていくためにいかに運営していくべきかをスタッフ一同、さらに真摯に取り組んでいかなければと思っております。



今年度の外来受診者増の要因としては、良質な検査、診療の提供はもちろんですが、最近ご要望の多くなった上部消化管内視鏡検査の受入れ実施者数を、消化管内科の協力を得て、増枠することが出来たことが受診者増の大きな要因であったと考えます。

また、サービスの一つとして、スマートフォンでの結果配信を希望者の方に開始致しました。これは、従来の報告書のみでは不可能な、「いつでも、どこでも、ご自身の健診結果をチェックして頂ける」ということで、更に健康チェックを身近なものにして頂きたいという思いで始めさせて頂きました。まだまだ、ご利用頂いている方は多くはありませんが、今後、さらに広報を行い、多くの方々にご利用頂くよう努めていきたいと思っております。

大幅な受診者増により、一昨年にリニューアルしました現センターも既に、繁忙期には、受診者の方々が快適に過ごして頂くには十分なスペース、環境とは言い難くなってきております。その中で、これも最近ご希望の方が多くなった鎮静剤使用による内視鏡検査希望にお応えするために、検査後の就寝ベッドの確保を行いました。

今後も、様々な取り組みを積極的に行い、より快適な環境で、よりよいサービスと医療をご提供していきたいと思っております。

《令和元年度目標》

ビジョン『受診者に満足していただける健診』

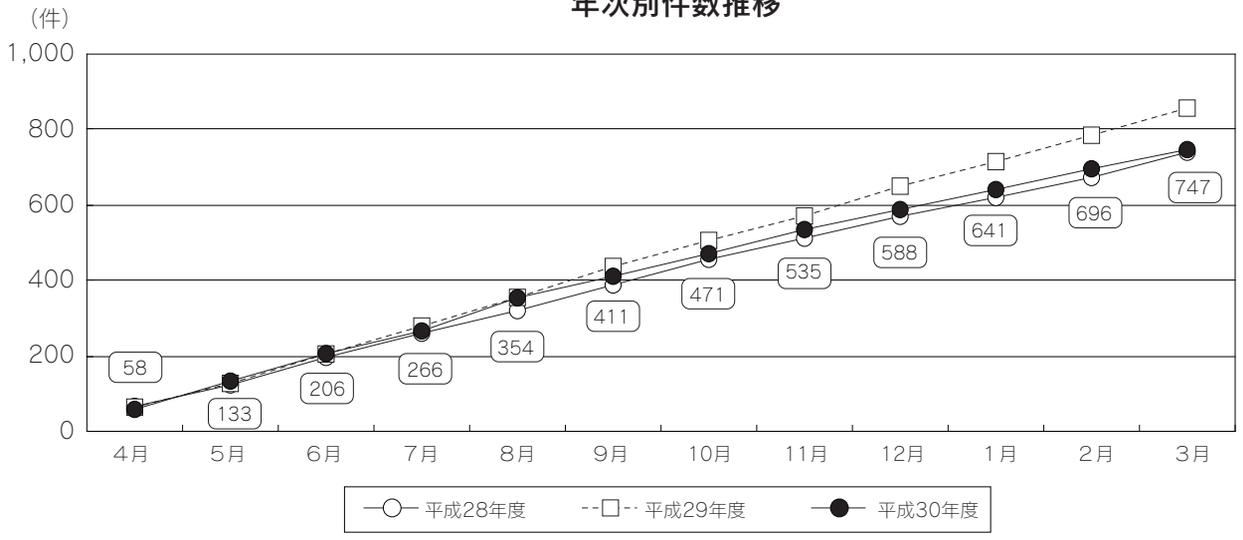
戦略テーマ『健診受診者の確保、良質な健診の提供、人材育成』

		戦略目標	
顧客の視点		受診者満足度の向上 信頼と安心の提供	
業務の視点		業務の効率化、正確化 健診システムの充実	
学習と成長の視点		人材育成 情報の収集、交換、共有	
財務の視点		収入増	

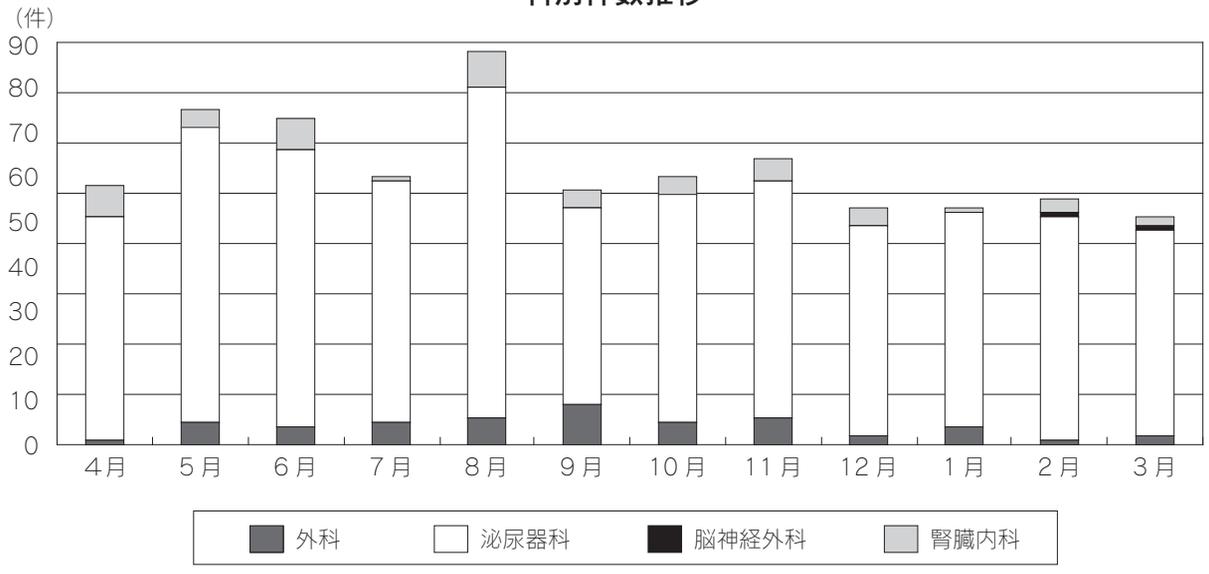
		平成28年度	平成29年度	平成30年度
スタッフ構成		3名	3名	3名
入院ドック	受診数(人)	275	182	158
	診療単価(円)	50,226	49,283	50,327
外 来	受診数(人)	12,570	13,181	13,894
	診療単価(円)	22,174	22,577	22,110

..... 日帰り手術センター長 江口 徹

年次別件数推移



科別件数推移



2. 看護部

院内活動・看護部

看護部長 柳迫 昌美

《平成30年度活動報告》

平成最後となる2018年度は、2025年、2040年問題と続く日本の少子超高齢多死社会、それに伴う社会環境や医療環境の大きな変化を見据え、原三信病院は大きく舵を切った。

政府が目指す地域医療構想の流れを受け、地域包括ケア病棟を開設する。

当院はベッド数359床、8つの病棟がある。現状は、全てを一般急性期病棟で運営している。そのうち1つの病棟を地域包括ケア病棟へ変換することが決まった。そのための病床機能の再編を行うことになった。地域包括ケア病棟開設に向けて、医師、看護師、理学療法士、企画室のメンバーでプロジェクトを組み、活動が始まった。全体でのプロジェクトに加え、看護部としては、地域包括ケア病棟の理解と周知に始まり、看護科長全員と、2週に1回、問題点や情報を共有しながら慌しく準備に取り組んだ一年だった。

急性期病院の現状として、入院期間が短くなり、退院後の生活指導やリハビリに掛ける時間も制限されている現状がある。地域へ退院していかれる患者さんのためにも、もう少し入院期間があれば、密な指導やリハビリが提供できるのでは、とジレンマを感じることも多く、急性期病院にこそ地域包括ケア病棟が必要ではないかと感じていた。地域包括ケア病棟の開設は、急性期医療を担保するためだけではなく、退院していかれる患者さんの安心とQOLの向上につながると期待を膨らませている。

また今後は、看護部としても地域医療機関、介護施設、在宅医療機関との連携を考える時代になった。今後は、香椎原病院を中心に後方支援病院との連携を深めていきたいと考えている。



2018年度 看護部目標

1. 接遇力アップ
2. 職場魅力アップ
3. 看護力アップ
4. 収益アップへの貢献

看護師の動き

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
看護部定数(名)	344	344	344
新入職員(名)	19	24	30
平均年齢(歳)	34	34	34
中途採用者数(名)	32	43	32
産休・育休者数(名)	29	35	33
育休明け復帰者数(名)	5	11	16
退職者数(名)	54	57	61

《平成 30 年度活動報告》

教育を推進するにあたって、学ぶ意欲をもてる環境作りも必要だと痛感し、教育体制も現場が抱える問題を意識しつつ、複合的に学びの芽へのアプローチをするために、以下のことを行なった。



1. ラダー研修の回数は減らしても、学習機会は減らさない

現場での勤務が成立するように、ラダー研修の内容や開催時期、時間帯の見直しを行ない、夕方、土曜日のラダー研修の開催を時間内に移行した。ラダー研修項目から除外、または回数を減らした研修は、下記の通りである。

ラダーⅠ：透析治療・アンガーマネジメント

ラダーⅡ：小グループ心電図勉強会

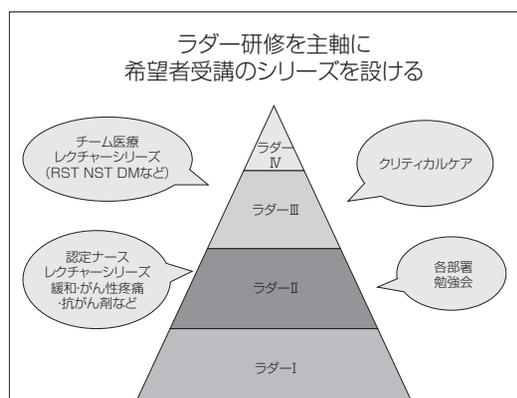
⇒ 希望者参加型へ

ラダーⅢ：呼吸療法Ⅲ・コーチング応用編

*呼吸療法Ⅲはクリティカルケアでカバー可能

ラダーⅣ：退院支援・アンガーマネジメント

⇒ ラダー外研修会へ



2. 承認欲求、自己効力感、興味を刺激し、学ぶ気持ちの向上に繋げる

*ライセンスを取得した人、新しい取り組みをしている

人・部署、学会発表をした人・部署、見習って欲しい、目指したいと思うような人や活動をを紹介を紹介することで、承認欲求と自己効力感、また学びたいという気持ちの向上を目指した活動を行いたかったが、これは実施にいたらなかった。

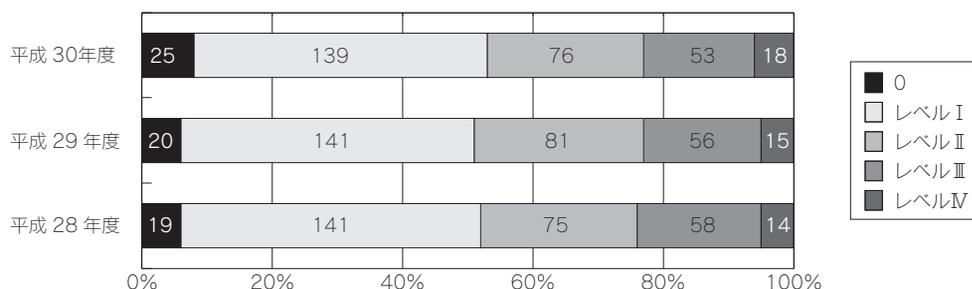
ただ、昨年度から開始した「クリティカルケア」小グループ制勉強会は、受講希望者が多く、ICUがなく、あらゆる重症患者の治療が病棟で行なわれる当院において、重症患者看護への学びのニーズが高いことが分かった。定員を設けていたが、学びたいという気持ちを優先し、希望者全員受講可能として開催した。

今後も、内容を検討しながら、ニーズに対応できる研修の開催を行なっていきたいと考える。

3. 新人看護技術チェックの可視化への取り組み

新人看護師が行なっている看護技術チェックのデータを可視化し、指導に活かす取り組みを開始した。データ収集まで行なうことが出来たので、次のステップに進んでいきたい。

キャリア開発ラダー レベルの推移



平成30年度 キャリア開発ラダー教育研修計画

レベル I を取得するための研修

日 時	テ ー マ	成 果 目 標
4月9日 (月)	H30 年度組、キックオフ！	新人時代の1年間を仲間と協力しながら乗り越えていく意識をもち、自分の役割を自覚できる
	社会人として 原三信病院職員として	社会人・組織人として自覚を持ち責任を理解する
	看護部の教育方針と 看護体制 PNS について	キャリア開発ラダーを理解し、自己啓発の必要性を理解する
	大事な大事な倫理観 看護倫理について	看護倫理について理解する
4月10日 (火)	情報管理 (個人情報を持ち出し・閲覧・診療録開示、職員の個人情報)	個人情報保護法を理解し、モラルを持って情報管理をする必要性を理解できる
	見た目も中身もピカイチさん 接遇力を高める第一歩	原三信病院で規程されている身だしなみを知り、社会人としての行動につなげる
	リスク感性の高い看護師になる① ヒューマンエラー編	新人が起こしやすい事故について理解できる
	社会人基礎力って、何？	社会人基礎力を伸ばすことの重要性を理解する
	病院を知る Part ① 病院の収入の仕組み知ってます？	診療報酬の仕組みを理解できる
4月11日 (水)	感染 I 標準予防策について	感染予防の基本を理解する
	感染 II 針刺し・血液体液暴露防止	針刺し、および血液体液暴露のリスクを理解する
	中材管理物品について知る	中材物品の適切な使用方法・管理方法を知る
	清潔操作は完璧に！	清潔・不潔を理解し、清潔操作ができる
4月12日 (木)	薬剤師から学ぼう！薬のこと	薬剤取り扱い時の危険性と法的規制を正しく知る
	注射の達人への道 はじめの 一歩 (筋肉・皮下・皮内注射)	注射薬の取り扱い時の注意点を正しく知る 筋肉・皮下・皮内注射の注意点を理解し、実施できる
4月13日 (金)	注射の達人への道 はじめの 一歩	採血、静脈注射の注意点を理解し、実施できる
4月16日 (月)	電子カルテが仕事の始まり	看護情報収集のコツを学び、記録基準を基に正しく記録できる
4月19日 (木)	リスク感性の高い看護師になる② 転倒転落編	転倒転落の危険性を判断し、予防策を考えることができる
	優しい体位変換	体位変換の基本を知り、安全・安楽な体位変換を実施できる
	ベッドサイドリハビリ	ベッド上臥床患者の拘縮予防の必要性と、安心・安全な移乗の方法を知る
4月26日 (木)	消防	火災などの災害時に必要な知識と実施を体験する
5月9日 (水)	みんなで語ろう	同期と語ることで、情報の共有・気分転換ができる
	スキンケアとスキンケア 褥瘡の予防法と対策立案	患者にあったスキンケアと、皮膚の損傷を招かないケアを理解する 褥瘡予防の必要性を理解し、予防ケアの立案方法について学ぶ
	心地よくオムツを替える	当院のオムツシステムを知り、患者にあったオムツの選択、清潔不潔を理解したおむつ交換を実践できる
	検体のトリセツ 正しい検査が行なわれるために 正しくつけよう！看護必要度 フィジカルアセスメント	検査によって違う採取時の注意点や保管方法を理解できる 必要度と診療報酬の関係を理解し、正しく必要度をつけることができる 身体のアセスメントをするために必要な基礎的観察の知識と技術を学ぶ
6月13日 (水)	みんなで語ろう	同期と語り合い、情報の共有・気分転換ができる
	ストレスと上手に付き合う方法	ストレスを溜め込まずに勤務を続ける方法を知る
	急変に強いナースへの道 はじめの一歩 BLS I	一次救命処置を学ぶ
6月28日 (木)	アナムネ聴取と記録の再確認	アナムネーゼ聴取を行い、情報を入力できる
	多重課題	優先順位の考え方を理解し、行動につなげることができる。
7月11日 (水)	みんなで語ろう	同期と語り合い、情報の共有・気分転換ができる 入社3ヶ月の振り返りと、次の目標に向けた意欲を持つことができる
	酸素のトリセツ 酸素って？	酸素の取り扱い時の注意を理解する
	酸素のトリセツ 酸素療法もいろいろ編	酸素療法について理解し、投与方法による違いと注意点、物品の取り扱いについて理解できる
	やさしい吸引の方法	口腔内・鼻腔内吸引、気管内吸引の正しい方法を知り、安全に実践できる

日 時	テ ー マ	成 果 目 標
7月26日 (木)	輸血	輸血の基礎知識を理解し、安全に実施することができる
	看護倫理II	看護倫理を意識することができる
	感染III 経路別予防策の実際	標準予防策に加え、接触・空気・飛まつの感染経路を遮断するために必要な方法を理解できる
	退院支援	退院支援が必要とされる背景と、当院における退院支援のプロセスについて理解する
8月8日 (水)	みんなで語ろう	仲間意識を持ち、ストレスの回避方法を考えることができる
	メンバーシップ	メンバーシップについて学び、自分の果たすべきメンバーシップを意識できる
	よく使う ME 機器の基礎知識	ME 機器の種類と正しい使用方法を理解する
8月24日 (金)	糖尿病の基礎知識と血糖測定 インスリンについて	糖尿病の基本知識を学び、正しい血糖測定とインスリン注射の理解する
	感染IV	感染性廃棄物とリネン類の取り扱い、環境対策の必要性を理解する カテーテル管理時の感染予防を理解する これまでの感染の振り返りができる
	導尿の手法をマスターしよう	導尿・膀胱カテーテル留置の注意点を知り、正しく安全に実施することができる
9月12日 (水)	心電図恐怖症にならないための 心電図入門	心電図の基本を学ぶことができる代表的な危険な不整脈を理解できる
	急変に対応できる Ns になる BLS II	一次救命処置の振り返りができ、正しく実践できる 実践テスト
10月19日 (金)	みんなで語ろう	仲間意識を持ち、ストレスの回避方法を考える事ができる 入社6ヶ月の振り返りと、次の目標に向け前向きになることができる
	がん性疼痛の基礎知識	がん性疼痛の特徴を理解し、正しい麻薬の管理につなげることができる
	がん化学療法の基礎知識	化学療法の基礎知識を理解し、安全な実施につなげる
	経管栄養と胃瘻 基礎知識と 管理	経管栄養と胃瘻の基礎知識・管理法を学び、正しく安全な実施につなげる
11月22日 (木)	みんなで語ろう	ストレス回避に向け互いにアドバイスすることができる
	ストレスと上手に付き合う方法	ストレス対処を学び、自己のストレス対処を知る
	看護過程を再確認	看護過程の振り返りを行い、理解を深めることができる
1月30日 (水)	みんなで語ろう	ストレスを乗り越え3月までに目標達成にむけ意欲を持つことができる
	ナラティブ	ナラティブレポートを書く準備ができる
	人工呼吸器基礎知識	人工呼吸器の種類と基本的知識を身につけることができる
3月27日 (水)	1年間の振り返りと看護観	1年間のチーム活動を振り返り、活動の成果を確認できる 看護観を深めることができる

レベルIIを取得するための研修

日 時	テ ー マ	目 的
3月27日 (火)	ケースレポートへの取り組み方	ケースレポートの目的がわかり、自主的に取り組むことができる
4月26日 (木)	ケースレポートへの取り組み方	ケースレポートの取り組み方がわかる
8月16日 (木)	1G ケース支援	科学的根拠に基づく看護の展開ができる
8月17日 (金)	2G ケース支援	科学的根拠に基づく看護の展開ができる
10月25日 (木)	1G ケース支援	個別指導を受け、レポートを完成させることができる
10月26日 (金)	2G ケース支援	個別指導を受け、レポートを完成させることができる
12月5日 (水)	1G ケース支援	個別指導を受け、レポートを完成させることができる
12月7日 (金)	2G ケース支援	個別指導を受け、レポートを完成させることができる
2月16日 (土)	ケースレポート発表	ケースレポートにより自己の看護の見直し、評価をすることができる
6月14日 (木)	看護部長からのメッセージ	やる気をもって仕事に取り組む気持ちを持てる
	看護倫理	看護倫理の場面が想定し、倫理観をもち業務に取り組むことができる
	接遇について	接遇の必要性を意識し、自覚をもち行動できる
	リスク感覚の高い看護師になる③ KYT	危機を察知できる能力を養う
7月12日 (水)	コーチング基礎編	コーチングを学び良好な人間関係を構築するスキルを習得する
8月30日 (木)	*フィジカルアセスメント	フィジカルアセスメントの実施により、患者の状態を的確に把握することができる
9月21日 (金)	*はじめての看護研究	看護研究の必要性を理解できる
	呼吸ケア	人工呼吸器装着中に必要な看護を学び実践に活かすことができる
10月11日 (木)	みんなで語ろう	他部署の状況を知り、自部署の問題点を明確にすることができる
	周手術期看護 GW	周手術期の看護を学び、患者が安全に手術室へ向かうための看護に活かせる
	医療経済と診療情報2	DPC の仕組みを知り、経済的管理を意識することができる
	「洗浄・消毒・滅菌」 「感染経路別予防策のための リスクアセスメント」GW	・医療器材やケア用品の適切な処理方法を理解し実践できる ・感染経路別予防策を実施するために、自部署に合わせた患者配置と対策が実践できる

日 時	テ ー マ	目 的
2月22日(金)	アサーショントレーニング I GW	日頃の自己表現の傾向や対人関係のあり方を振り返り、効果的なアサーションを学ぶ
	メンバーシップ・リーダーシップについて GW	メンバーシップ・リーダーシップについて理解し、自分の立場がわかり役割を果たすことができる
	褥瘡・創傷管理・スキンケア2	創傷ケア・スキンケアの基礎知識を知り、看護に活かすことができる

レベルⅢを取得するための研修

日 時	テ ー マ	目 的
9月13日(木)	みんなで語ろう GW	他部署の状況を知り、自部署の問題点を明確にすることができる
	リーダーの役割・リーダーシップ	自分の行動の振り返りをし、部署のリーダーとして果たす役割とマインドについて学び、意欲を持つことができる
	ストレスマネジメント GW	メンタルケア能力とコミュニケーション能力の向上を図る 自分自身のメンタルケアができ、他者の変化に気を配ることができる
	感染管理のリーダーを目指すGW	自部署の感染防止対策の現状を参加者全員で共有し、リーダーとして取り組むべき課題を具体化できる
12月6日(木)	記録に活かすリスクマネジメント GW	医療事故発生時のカルテの記録法について学ぶ
	アサーショントレーニング GW	自己理解を深め、自分の行動・表現パターンを改善・向上することができる
	認知症看護 GW	認知症患者への適切な看護を学び、臨床に活かすことができる

レベルⅣを取得するための研修

日 時	テ ー マ	目 的
1回目 9月22日(土) 10月20日(土)	リーダーのためのマネジメント (外部研修)	看護管理の基礎知識を学ぶとともに看護管理をする上で抱えている課題を整理し解決の糸口を見出すことができる
2回目 2月16日(土) 2月24日(日)		
6月22日(金)	みんなで語ろう 問題解決技法を学ぶ	CNとしての組織風土への関わりを考えることができる 問題解決手法を学び、部署の改善活動ができる
8月28日(火)	看護実践に活かすリスクマネジメント (外部研修)	医療事故と安全対策の動向と課題 / リスクマネジメントとは ／リスク分析・K Y T (危険予知トレーニング)
1月25日(金)	問題解決 取り組み報告会	部署での活動内容・成果の最終報告ができる

レベルⅣ取得者用研修

日 時	テ ー マ	目 的
10月～11月	訪問看護同行研修 (病棟・HD・外来用)	在宅医療・看護の実態を知り、退院支援を推進することができる
	病棟看護研修 (手術室・おおはま用)	病棟看護の実態を知り、自部署の看護の質向上、業務改善につなげる

中途採用者研修

日 時	テ ー マ	目 的
5月10日(木) 9月6日(木) 12月13日(木)	みんなで語ろう	仲間を作りストレス発散に役立てることができる
	原三信病院の目指す医療	原三信病院の取り組みを知り、自身の役割・目標につなげることができる
	病院の概要と組織 事務部の組織と役割	事務部門の組織と役割、診療報酬のあり方について知る
	看護部の組織と役割	看護部の組織と役割を知り、連携に活かすことができる
	福利厚生・病院の規約について	原三信病院の福利厚生と規約について知る
	個人情報保護について	当院における個人情報の取り扱いについて理解する
	診療技術部の組織と役割	診療技術部の組織と役割を知り、連携に活かすことができる
	香椎原病院の役割	香椎原病院の組織と役割を知り、連携に活かすことができる
5月11日(金) 9月7日(金) 12月14日(金)	看護部の教育システムとナラティブの書き方	看護部の教育システムを知り、意欲的に取り組むことができる。ナラティブを理解し、書くことができる
	重症度・医療・看護必要度について	必要度を理解し、正しくチェックし記録することができる
	倫理について	事例を通して看護倫理を考えることができ、倫理観を基に業務に取り組むことができる
	感染防止対策について	当院における感染防止対策の実施につなげることができる
	接遇について	接遇の必要性を意識し、自覚をもった行動ができる
	褥瘡予防について	褥瘡予防の必要性と方法がわかり実施ができる 創傷管理について理解し、実施する
4月26日(木)	事故防止対策について	医療事故における法的責任を理解し、説明することができる 原三信病院における事故防止対策について理解し、事故防止に努めることができる
	防災訓練	災害時の患者の不安を理解し、対処方法を述べるることができる

管理者研修

日 時	テ ー マ	目 的	講 師
11月10日(土)	看護管理者に必要なコンピテンシー「交渉力」	看護管理者が強みとして活かしたい交渉力を身につけ、マネジメントの質の向上につなげていく。	テルモ株式会社 顧問 松村啓史

3. 診療技術部

..... 診療技術部長 阿部 健吾

《平成30年度活動報告》

新たな時代の幕開けとなる平成から令和へと元号が変わる中、10日間に渡る長期連休で、身も心もリフレッシュし、また新たな気持ちで頑張ろうと決意している所です。

平成30年度は、タイムカードの導入による働き方改革などで、通常業務を的確に行う中、技術部各科、それぞれが柔軟に対応してきました。

1月の保健所の医療監視では、機器の定期点検と職員の健康診断が重点項目としてチェックされ、若干の指摘を受けながらも解消してきました。

人事の面では、7名の新人と、産休期間対応のパート職員が2名入社し、総勢113名で、男性47名、女性66名と、益々女性が活躍する職場となってきました。

産休・育休を経て職場復帰する職員も増え、働きやすい職場環境が整いつつあります。

また、無駄な居残り残業は減ってきており、会議の時間も早めに開始し、簡潔に終わる努力もしています。

本年度も、医療事故のない様、細心の注意をはらう事と、個人を尊重し、パワハラ・セクハラ等のない働きやすい環境づくりを目指していきます。



《平成30年度技術部の主な研修会》

- 1) 接遇研修 : お辞儀の作法 < 12月 3日 >
- 2) 感染対策研修: 感染について < 3月13日 >

《診療技術部だよりの発行》

3回発行 (6月、12月、3月)

《主な行事》

- 1) 診療技術部総会 < 5月 2日 >
- 2) 技術部親睦会ビアパーティー < 7月27日 >
- 3) 忘年会 < 12月14日 >

《平成30年度技術部各科の主な取り組み》

- 臨床検査科: 新人教育、臨地実習受入、精度管理・機器管理の徹底、学会参加
- 放射線科: 実習生受入、安全・正確な検査環境の整備、個々のスキルアップ
- 薬剤科: 病院薬剤師としての成長、専門性の向上
- リハビリ科: 心臓リハの拡大、マネジメント機能維持、教育システム確立
- 臨床工学科: 医療機器安全管理、透析システム適正管理・手術室業務の確立
- 超音波検査科: 信頼される超音波検査、職場環境整備、他部署との連携協力
- 栄養科: 個別対応食の整理、満足される栄養指導・食事相談、スキルアップ

《令和元年度技術部の目標》

- 1) 業務の見直し・働き方改革 (残業を減らし、より効率的に生産性の高い仕事を)
- 2) 人材育成と良い組織造り (セクハラ・パワハラ防止・離職者の歯止め)
- 3) 精度の高い医療技術の提供

事務部長 弥永 伸治

《平成30年度活動報告》

平成30年度は、診療報酬、介護報酬の同時改定でスタートを切った。特に、急性期病院である当院では、急性期一般入院基本料（重症度、医療・看護必要度）の選択が重要になった。又、政府が推し進める働き方改革について、様々な対応が迫られており、重要な課題に対して対応していった年となった。

事務部においては、診療報酬改定もつかの間、新版医事システムの更新が8月に行われ、医事課及び企画情報室においては、ソフトの更新に係る作業や、教育で忙しい状況であった。又、働き方改革については、出退勤管理システムを職員全員に導入し、入社・退社がカードによるシステムで客観的に管理できる体制を構築した。又、残業等の状況も含めて管理ができる様、総務課・経理課を中心にシステムを構築し、10月より全職員を対象に、時間管理を電子化し、運用できるようになった。そして、病院の事業計画でもある原価管理システムの導入については、各課が協議を重ねシステムを構築した。地域包括ケア病棟の立ち上げにおいては、医療連携室が関わりその準備を行っている。この他、特定領域がん診療連携拠点病院の申請を福岡県に行った。



事務部は、診療部、看護部、診療技術部の各部門を支援すると共に、経営責任者に対して、的確な経営判断をしてもらう為の情報収集とその提供、そして下された経営判断の実行・実現する為の計画立案と実施を担うのが役割である。これからは患者さんに選ばれる病院になる為に、病院の基本理念《病人のための病院》、基本方針（質の高い医療の追求）（居心地の良い環境の提供）（心のこもったサービスの実践）を肝に銘じ、事務部全体で協力し職務にあたっていかなければならない。

《平成30年度 病院事業構想》

I 学習と成長の視点

1. 高度な専門性の維持
 - ・特定領域がん診療連携拠点病院の取得
 - ・緩和ケアの充実
 - ・ロボット支援手術（ダヴィンチ）の拡大
2. チーム医療の新たな展開
 - ・臓器別・疾患機能別センター化
 - ・専門領域チーム医療の充実
3. 人的資源の確保
 - ・長期視野にたった育成と採用

II 業務プロセスの視点

1. 地域医療構想
 - ・重傷度医療看護必要度に応じた診療体制の構築
2. 診療録記載
 - ・診療録記載の徹底
3. 業務の効率化
 - ・効率的な手術運営（オペラマスターの活用）
 - ・事務書類のIT化（Ver.2）
4. 情報システム
 - ・病院経営分析の強化（原価管理システムの導入）
 - ・新版医事システムの更新
 - ・新版電子カルテシステム更新の準備

Ⅲ 顧客の視点

1. 地域連携
 - ・医療と介護の役割分担と連携
 - ・地域ケアへの取り組み
 - ・患者支援の組織化
2. 患者満足の上昇
 - ・高度急性期医療の提供
 - ・利便性の追求
 - ・公報活動
3. アメニティーの改善
 - ・病院の改修
 - ・患者来院の充実
4. 働き方改革の遵守
 - ・労働安全衛生の推進
 - ・出退勤管理システムの導入

Ⅳ 財務・病院継続の視点

1. 経費削減
 - ・事業所全体のエネルギー対策
 - ・予算管理
2. 入院患者の確保
 - ・連携と救急
3. 適正な収入確保
 - ・診療報酬改定への対応

《平成30年度 事務部研修会活動報告》

事務部研修会

開催日	内容	講師
4月18日(水)	院長講和・TQM活動報告・新版医事システム導入	平院長・総務課・施設課 診療支援課・外来医事課・ 平原主任
5月16日(水)	事務部業務計画説明会	各課責任者
6月20日(水)	施設基準・個別調査・がん拠点病院等について	加藤課長・北御門課長
7月18日(水)	施設基準・個別調査・がん拠点病院等について パートII	加藤課長・北御門課長
8月10日(金)	事務部署気払い	
9月19日(水)	流行性ウイルス疾患	感染管理推進室 八波氏
10月17日(水)	医療安全について	医療安全管理室 大野科長
11月21日(水)	セクハラ・パワハラについて	総務課 西課長
12月20日(木)	事務部忘年会	
1月23日(水)	接遇の基礎と実践について	第一三共(株) 吉田様
2月20日(水)	省エネについて	アサヒファシリティズ 佐藤様

* TQM 活動報告

- ・adapt to the times ～時代に適応～ 経理課
- ・予約係りの電話対応 健康管理センター
- ・患者支援について 医事課(入院)

医療連携課・がん相談支援センター …………… 医療連携課課長 加藤宗一郎

今年度も、地域の医療機関の先生方から多くの患者をご紹介頂き、紹介患者は、前年度より135名増の、8,091名となったが、当院からの逆紹介が増えておらず、大きな課題が浮き彫りとなった。来年度は、紹介元の先生へきちんと逆紹介する仕組みを作り、医療機関および介護施設との連携を強化していきたい。泌尿器科では、前立腺がん術後および放射線治療後の患者が対象である「前立腺がん地域連携クリティカルパス」の運用を7月より開始した。



【開放型登録医】

445施設 平成31年3月31日 現在

【地域医療連携情報交換会】

日 時：平成30年11月19日(月)19:00～

場 所：ホテル日航福岡

報 告 ①：医療連携課からの報告

医療連携課 課長 加藤 宗一郎

報 告 ②：当院で行っている尿失禁治療

泌尿器科 部長 武井 実根雄

院外参加者：133名

施 設 数：64施設

【がんセミナー】

日 時：平成30年8月30日(木)19:00～

場 所：福岡朝日ビル会議室（地下1階 12号室）

内 容：乳がんの診断・手術・標的治療の進歩

乳腺内分泌外科 部長 小原井 朋成

院外参加者：35名

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	委員会名	委員長名	委員数	開催頻度	活動内容
倫理管理	医療倫理委員会	平 祐二 (院長)	9	必要時	・医療行為を実施するにあたり、医の倫理ヘルシキ宣言の趣旨に沿った倫理的な医療を図る。個人情報保護法に施行に対する患者及び職員の情報管理
	治験審査委員会	林 真 (総合診療科主任部長)	13	1回/月	・治験に関する実施、継続の審議
	臨床研究倫理審査委員会	林 真 (総合診療科主任部長)	13	1回/月	・臨床研究に関する実施、継続の審議
安全管理	労働安全衛生委員会	原 直彦 (副院長)	10	1回/月	・職員の労働災害などの防止並びに労働衛生の向上に関する事項を審議決定 ・医療ガスの安全管理、知識の普及及び啓発
	医療安全管理対策委員会 院内感染防止対策委員会	原 直彦 (副院長)	19	1回/月	・医療の方向性や医療レベルを維持・管理するため、医療事故を防止するための対策検討 ・病院内感染の予防と対策
教育管理	教育研修委員会	林 真 (総合診療科主任部長)	16	1回/月	・病院職員教育研修に関する検討と実施 ・海外/国内研修などに関する検討と実施 ・病院図書及管理及び図書室の円滑な運営に関する検討 ・医学総会開催準備
品質管理	保険診療録管理委員会	林 真 (総合診療科主任部長)	13	1回/月	・保険診療に関する事項の検討 ・診療録記載、退院要約、各種文書に関する事項の検討 ・過誤、査定対策
	カルテ運用委員会	林 真 (総合診療科主任部長)	20	1回/月	・電子カルテ/オーダーリングシステム/画像システムの運用改善及び機能の検討 ・サーバーシステムの管理 ・クリニカルパス検討会の定期開催、クリニカルパスの推進
業務管理	病院管理委員会	江口 徹 (副院長)	47	1回/月	・患者さんの満足と安心の向上を図ることを目的とした活動 ・外来運営に関わる検討(外来支援システム、新患予約、救急外来) ・病棟運営に関わる検討(効率的なベッドコントロール、医療連携の充実、在院日数短縮など円滑な病床運営を目的とする) ・病院機能評価受審・取得にむけた検討
広報連携	広報・連携委員会	原 直彦 (副院長)	15	1回/月	・院外広報誌・年報・各パンフレットの編集・発行、ホームページ作成など、病院広報に関する全般 ・地域医療機関、地域住民への貢献についての検討
専門部門	NST委員会	藤木 富士夫 (脳神経内科部長)	27	1回/月	・栄養管理の実践と指導・教育や新しい知識・技術の習得 ・食事計画、調査、改善等食事に関する必要な事項を検討し、患者に対して適切な食事を提供する
	WOC委員会	武井 実根雄 (泌尿器科部長)	24	1回/月	・委員会内での専門分野における勉強会を開催 ・褥瘡発生表を元に先月新たに発生した患者の報告、発生率、保有率、褥瘡ハイリスク患者加算の統計発表 ・褥瘡対策の研修会の開催(1回/年) ・症例報告・新規情報の提供・褥瘡予防に必要な物品の管理
	手術室運営委員会	渡邊 隆郁 (手術部部長)	22	1回/2ヶ月	・手術室の運営についての検討
	検査運営委員会	赤塚 裕 (循環器科主任部長)	16	1回/月	・検査運営の効率化の検討 ・画像の適用運用を検討し、業務改善につながる問題点などを収集及び分析する
	放射線障害予防委員会	寺嶋 廣美 (放射線科顧問)	12	2回/年	・放射性同位元素、放射線発生装置及びエックス線装置の使用並びに管理に関する事項への取り組み
	薬事運営委員会	赤塚 裕 (循環器科主任部長)	19	1回/月	・ジェネリック医薬品採否の検討 ・医薬品適正使用、医薬品情報提供について(副作用報告収集を含む) ・医薬品採否の検討 ・癌化学療法に関する検討
	輸血療法委員会	上村 智彦 (血液内科部長)	14	1回/2ヶ月	・輸血剤の適正使用の推進、管理体制の構築と見直し、文書関連の再編等を具体的に検討する
	リハビリテーション委員会	庄野 禎久 (リハビリテーション科部長)	12	3回/年	・診療報酬改定に伴うシステムの変更 ・新規リハビリテーション業務の立ち上げ ・リハビリテーション業務に関する変更・報告
	DPC委員会	江口 徹 (副院長)	9	1回/月	・適切かつ効率的なDPCコーディングの検討 ・診断及び治療方針の適正化、標準化の検討および院内周知 ・DPCコーディングカンファレンスの開催および報告 ・DPC関連調査に係る各様式・ファイルの検討 ・その他、DPC業務に係る課題に関すること
	緩和ケア委員会	小原井 朋成 (乳腺内分泌外科部長)	17	1回/月	・症例報告 ・緩和ケア研修会運営 ・特定領域がん診療連携拠点病院申請への取り組み
	ME機器・医材管理委員会	山本 光孝 (心臓カテーテル室長)	10	1回/月	・ME機器・医材に関して新商品紹介・サンプリング・評価・採否の決定 ・ME機器修理報告 ・ME機器・医材管理委員会での決定事項の報告

● 医療倫理委員会

- 開催頻度 必要時

●構成メンバー

委員長	平 祐二(院長)
委員	山口 秋人(診)、原 直彦(診)、江口 徹(診)、河野 真司(診)、柳迫 昌美(看)、弥永 伸治(事) 光安 正哉(佐藤・林法律事務所)
事務局	西 弘樹(事)
書記	西 弘樹(事)

●主な議題

- ・一般健診受診者における家族性高コレステロール血症の可能性検索
- ・レセプトおよびDPCデータを用いた循環器疾患における医療の質の向上に資する研究
- ・LGBTの受け入れについて
- ・患者本人からの画像送付について
- ・BD-Score (DWIBS 定量化ソフトウェア) 購入と運用

● 治験審査委員会

- 開催頻度 1回/月

●構成メンバー

委員長	林 真(総合診療科主任部長)
委員	高木 陽一(診)、当間 宏樹(診)、野口 賢一(診)、宮崎さとみ(看)、徳永 真弓(看)、田邊 順子(技) 山田 一博(技)、川上 優(事)、宮本 亮(事)、武井 信介(武井内科クリニック院長) 光安 正哉(佐藤・林法律事務所)
事務局	竹内 育美(事)
書記	竹内 育美(事)

●主な議題

- ・新規依頼治験審議 [平成30年度]
泌尿器科：1件
- ・治験、製造販売後臨床試験別審議
 - ・安全性情報等審議
 - ・治験実施計画書の変更の妥当性
 - ・治験実施状況及び継続の妥当性
 - ・逸脱、終了報告

● 臨床研究倫理審査委員会

●開催頻度 1回/月

●構成メンバー

委員長	林 真 (総合診療科主任部長)
委員	高木 陽一 (診)、当間 宏樹 (診)、野口 賢一 (診)、宮崎さとみ (看)、徳永 真弓 (看)、田邊 順子 (技) 山田 一博 (技)、川上 優 (事)、宮本 亮 (事)、武井 信介 (武井内科クリニック院長) 光安 正哉 (佐藤・林法律事務所)
事務局	竹内 育美 (事)
書記	竹内 育美 (事)

●主な議題

- ・臨床研究を実施・継続することの倫理的、科学的・薬学的見地からの妥当性に関する審議
 - ・新規依頼案件 [平成30年度]
 - ・血液内科：8件 ・泌尿器科：11件 ・循環器科：2件 ・消化管内科：2件
 - ・呼吸器科：3件 ・肝胆膵内科：1件 ・看護部：1件 ・放射線科：1件
 - ・放射線治療室：1件 ・検査科：2件
 - ・原三信病院附属呉服町腎クリニック：1件
 - ・研究中案件の変更等に関する審議
 - ・血液内科：12件 ・泌尿器科：38件 ・腎臓内科：1件 ・循環器科：1件
 - ・消化管内科：1件 ・呼吸器科：1件 ・看護部：2件
 - ・原三信病院附属呉服町腎クリニック：4件

● 労働安全衛生委員会

●開催頻度 1回/月

●構成メンバー

委員長	原 直彦 (副院長)
委員	下澤 浩基 (診)、村岡 弘恵 (看)、大野 聡子 (看)、永松 幸 (看)、高尾 秀明 (技)、久保田景子 (技) 早田 俊一 (事)、西 弘樹 (事)
事務局	宮崎 幸吉 (事)
書記	—
下部組織	医療ガス安全管理 / 院内禁煙推進委員会

●主な議題

- ・時間外労働について
- ・長時間労働における労働者の健康障害の防止について
- ・長時間労働者面談
- ・職員健康診断及び定期健康診断の結果に対する対策
- ・針刺・切創・皮膚粘膜汚染報告
- ・ストレスチェックについて
- ・高ストレス者の対応について
- ・インフルエンザ予防接種について
- ・患者による暴力事案について
- ・セクハラ・パワハラについて

医療安全管理対策・院内感染防止対策委員会

●開催頻度 1回/月

●構成メンバー

委員長	原 直彦(副院長)
委員	平 祐二(診)、内藤 誠二(診)、江口 徹(診)、林 真(診)、武井実根雄(診)、当間 宏樹(診) 谷合 啓明(診)、柳迫 昌美(看)、大野 聡子(看)、阿部 健吾(技)、河野 祐子(技)、嶽本 洋(技) 弥永 伸治(事)、泉 敏郎(事)、矢野 浩一(香)
事務局	藤原 勝(事)
書記	田代 信司(事)、平原 俊吾(事)
下部組織	リスクマネジメントチーム(RMT)
委員長	当間 宏樹(消化器外科部長)
委員	原 直彦(診)、山本 光孝(診)、田籠 祥子(診)、大野 聡子(安)、藤川 暢子(看)、金子 浩子(看) 田原 恒(看)、永井 智子(看)、八波 隼(感)、和佐野智美(技)、河野 裕子(技)、嶽本 洋(技) 石崎 律子(技)、鳥山 邦敏(技)、中小川 隆(技)、廣門 将一(技)、泉 敏郎(事)、秦 里美(事) 加藤宗一郎(事)、平原 俊吾(事)、白石 義則(事)、今泉 愛(事)
書記	飯盛 修一(事)
下部組織	感染制御チーム(ICT)
委員長	谷合 啓明(総合診療科部長)
委員	当間 宏樹(診)、八波 隼(感)、村岡 弘恵(看)、藤川 暢子(看)、井上 麻紀(看)、久積 真弓(看) 久保田景子(技)、郷原 由紀(技)、山田 一博(技)、長野 文子(技)、永島 浩(技)、宇野 尚和(事) 山崎 聖子(事)
書記	神崎 達也(事)

●主な議題

医療安全管理対策委員会

- ・インシデント/アクシデント報告件数 (RIA 報告)
- ・医療事故発生報告 (事例報告)
- ・医療安全対策マニュアル改訂について
- ・身体拘束低減への取組 (身体拘束状況報告について)
- ・医療安全対策加算について
- ・医療安全ラウンド報告
- ・ハリーコール検証報告
- ・医療安全対策地域連携加算1 (相互評価について)
- ・医療安全ラウンド (相互チェック) 報告
- ・医療安全主催研修会報告
- ・放射線装置操作 (照射) について
- ・患者サポート充実体制加算について
- ・平成30年度第1回全職員対象医療安全研修について
- ・平成30年度第2回全職員対象医療安全研修について
- ・事例報告
 - ①手術予報左右記入間違いの事例
 - ②血管拡張術時の血管損傷の事例
 - ③膝内反ストレス撮影テロス撮影時の皮膚損傷の事例
 - ④抗生剤指示受け時実施入力から間違い処方発行の事例
 - ⑤アレルギー食の誤配膳の事例
 - ⑥内視鏡検査後血管炎発生の事例
 - ⑦サクシオンチューブ噛み切り誤飲の事例
 - ⑧認知症患者車椅子にて1人外来待ち中転倒の事例
 - ⑨検体ラベルに患者未告知病名コメント表示の事例
 - ⑩点滴スタンド転倒にて頭部外傷の事例
 - ⑪コールドポリペクトミー後の食事対応でクレームの事例
 - ⑫パーキンソン病禁忌薬の投与の事例
 - ⑬1例目手術で使用した薬剤を2例目手術で使用した事例
 - ⑭心電図モニターにおける皮膚トラブルの発生の事例
 - ⑮薬剤重複投与 (診療情報提供書伝達ミス) の事例
 - ⑯アレピアチン過剰投与の事例

院内感染防止対策委員会

- ・感染関連状況報告
- ・長期使用患者報告
- ・抗菌剤使用状況報告
- ・麻疹について
- ・インフルエンザ予防投与状況報告
- ・平成30年度第1回全職員対象院内研修について
- ・平成30年度第2回全職員対象院内研修について
- ・感染防止対策地域連携加算2施設の変更について
- ・職員の流行性疾患に対する抗体状況
- ・本館4階病棟インフルエンザについて
- ・加算1施設 相互評価について
- ・抗菌剤使用第4世代について
- ・感染ワクチン (予防接種) について
- ・流行性ウイルス疾患のワクチン接種について
- ・合同カンファレンス報告
- ・感染防止対策地域連携加算1施設間相互ラウンド実施報告

● 教育研修委員会

●開催頻度 1回/月

●構成メンバー

委員長	林 真(総合診療科主任部長)
委員	平 祐二(診)、上村 智彦(診)、大野 聡子(看)、山田恵理子(看)、阿部 健吾(技)、中小川 隆(技) 廣門 将一(技)、弥永 伸治(事)、藤原 勝(事)、秦 里美(事)、田代 信司(事)、小西加奈子(事) 川畑 幸一(事)
事務局	宮崎さとみ(看)
書記	宮本 亮(事)
下部組織	医学総会準備委員会
委員長	庄野 禎久(脳神経外科部長)
委員	谷合 啓明(診)、下釜 里美(看)、野田佳代子(看)、石橋 誠史(技)、真鍋 麻実(技)、北御門智之(事) 音嶋 智子(事)、大坪 史弥(香)、富田香奈江(香)
事務局	藤原 勝(事)、田代 信司(事)、齋藤 栄介(事)、山崎 聖子(事)

●主な議題

- ・全体研修(倫理・安全・感染・接遇・褥創)に関すること
- ・接遇に関すること
- ・昇格者研修に関すること
- ・新人研修に関すること
- ・中途採用者研修に関すること
- ・ACLS研修会に関すること
- ・国内研修に関すること
- ・海外研修に関すること
- ・第24回医学総会に関すること
- ・図書に関すること

●平成30年度 主な研修実績

管理者研修	2019.3.2 平成31年度診療科別行動計画発表会
昇格者研修	2018.7.13(上半期) 3名 2018.12.14(下半期) 2名
新人研修	2018.4
中途者研修	2018.5(第1回)、2018.8(第2回)、2018.12(第3回)
接遇研修	2018.9.5 「医療スタッフの接遇①基本的な接遇マナー②医療現場のコミュニケーションスキル」
ACLS研修会	2018.11.26、2019.1.25(2回で1クール) 10名
海外研修	(韓国 東岡病院 受入/派遣)
受入	2018.6.11～6.16 第15回 韓国 東岡病院研修生受入 5名
派遣	2018.11.5～11.10 第9回 原三信病院研修生派遣 原三信 4名、香椎原 1名
医学総会	2018.9.27～9.29 第24回 原三信病院 医学総会

● 保険診療録管理委員会

●開催頻度 1回/月

●構成メンバー

委員長	林 真(総合診療科主任部長)
委員	廣田伊千夫(診)、武井実根雄(診)、藤木富士夫(診)、谷村 明美(看) 下釜 里美(看)、若松由起子(技)、松井勇二郎(技)、隅田 幸恵(事)、飯盛 修一(事)、長峰麻衣子(事)
事務局	北御門智之(事)
書記	中山田真理(事)

●主な議題

- ・ 査定過誤の報告と分析
- ・ 審査結果通知報告
- ・ 保険診療に関わる報告
- ・ 退院サマリー未記入数報告
- ・ 判断料にかかるカルテ監査
- ・ 入院診療計画書の監査と報告
- ・ カルテ記載内容の監査(量的監査・質的監査)と報告
- ・ 各種文書の書式や運用について
- ・ がん登録に関する事項

● カルテ運用委員会

●開催頻度 1回/月

●構成メンバー

委員長	林 真(総合診療科主任部長)
委員	藤木富士夫(診)、当間 宏樹(診)、崎村 陸(診)、片岡 伸(診)、谷村 明美(看)、田原 恒(看) 下釜 里美(看)、宮田 美紀(看)、烏山 邦敏(技)、廣門 将一(技)、中小川 隆(技)、和佐野智美(技) 石崎 律子(技)、河北 俊和(技)、那須百合美(看)、神崎 達也(事)、隅田 幸恵(事)
事務局	平原 俊吾(事)
書記	斎藤 栄介(事)

●主な議題

- ・ 電子カルテ 各種機能追加の検討
- ・ メンテナンス、障害の報告
- ・ クリニカルパス検討会報告

● 病院管理委員会

●開催頻度 1回/月

●構成メンバー

委員長	江口 徹(副院長)
委員	林 真(診)、武井実根雄(診)、庄野 禎久(診)、宮崎 薫(泌)、眞崎 拓朗(診)、崎村 陸(診) 赤塚 裕(診)、野口 賢一(診)、柳迫 昌美(看)、村岡 弘恵(看)、宮崎さとみ(看)、金子 浩子(看) 栗秋佐智恵(看)、藤川 暢子(看)、下釜 里美(看)、谷村 明美(看)、野田佳代子(看)、川崎美智子(看) 寺脇 深香(看)、山田恵理子(看)、永井 智子(看)、松本真知子(看)、大田 敏枝(看)、矢羽田こずえ(看) 宮田 美紀(看)、矢嶋 光江(看)、阿部 健吾(技)、和佐野智美(技)、廣門 将一(技)、鳥山 邦敏(技) 河野 祐子(技)、石崎 律子(技)、高尾 秀明(技)、松井勇二郎(技)、久保田景子(技)、弥永 伸治(事) 泉 敏郎(事)、藤原 勝(事)、加藤宗一郎(事)、北御門智之(事)、宮本 亮(事)、音嶋 智子(事) 小野 敬太(事)、飯盛 修一(事)
事務局	平山 憲史(事)
書記	原 成孝(事)
下部組織	病床運営委員会
委員長	柳迫 昌美(看護部部長)
委員	村岡 弘恵(看)、金子 浩子(看)、栗秋佐智恵(看)、村上 あい(事)、山崎 聖子(事)
下部組織	病院機能評価委員会
委員長	当間 宏樹(消化器外科部長)
委員	平 祐二(診)、江口 徹(診)、林 真(診)、原口 和大(診)、宮崎 薫(診)、奥島 一洋(診) 看護部(科長以上全員)、技術部(科長以上全員)、事務部(主任以上全員)
書記	小野 敬太(事)

●主な議題

〔病床運営委員会〕

- ・病床利用率について
- ・個室減免現状報告について
- ・週末の病床管理について

〔病棟運営委員会〕

- ・退院通知時間について
- ・病棟運営にかかわるもの全般

〔病院機能評価プロジェクト〕

- ・受審内容検討および受審準備

〔外来運営委員会〕

- ・患者満足度調査について
- ・処方箋について
- ・外来支援システムについて
- ・外来患者様の振り分けについて
- ・外来患者様の動線について
- ・来院者駐車場について

〔時間外運営(救急)委員会〕

- ・時間外診療運用について
- ・救急車搬送件数について
- ・救急車搬送お断り事例について

● 広報・連携委員会

●開催頻度 1回/月

●構成メンバー

委員長	原 直彦(副院長)
委員	武井実根雄(診)、原口 和大(診)、片岡 伸(診)、大野 聡子(看)、田原 恒(看)、奈良定典子(技) 吉武 靖展(技)、筒井 玲子(事)、宇野 尚和(事)、斎藤 栄介(事)、徳永 彩佳(事)、衛藤千亜紀(事)
事務局	加藤宗一郎(事)
書記	音嶋 智子(事)

●主な議題

- ・紹介、逆紹介、救急車件数報告
- ・ホームページ診療科別アクセス件数報告
- ・院外広報誌、ホームページに関する検討
- ・その他、検討議題

● NST委員会

●開催頻度 1回/月

●構成メンバー

委員長	藤木富士夫(脳神経内科部長)
委員	真矢 正代(看)、外園 春香(看)、永田 今子(看)、藤原 椎那(看)、永石真知子(看)、中村 理恵(看) 米村 成美(看)、中野 典子(看)、石川 愛菜(看)、二宮美由紀(技)、東 さやか(技)、原 繚留美(技) 奈良定典子(技)、酒見 千春(技)、幾波 絢子(技)、小原 寿美(技)、田邊 順子(技)、村上 あい(事)
事務局	石崎 律子(技)
書記	高橋 則子(技)
臨時メンバー	古谷 淑子(看)、川口 桂子(看)、西 弘樹(事)、日清医療食品(小山田結子、廣田 豪、武富 一浩)

●主な議題

- ・回診報告
- ・情報提供
- ・勉強会実施
- ・給食委員会報告

● WOC（褥瘡）委員会

●開催頻度 1回/月（第2水曜日）

●構成メンバー

委員長	武井実根雄(泌尿器科部長)
委員	橋爪健太郎(診)、庄野 禎久(診)、山本 光孝(診)、藤木富士夫(診)、志賀健一郎(診)、谷村 明美(看) 黒田 豊子(看)、宮川みどり(看)、岩崎 彩奈(看)、木崎 仁美(看)、池田 康英(看)、濱田 千裕(看) 辻 有紀(看)、大西 那苗(看)、原田 真弓(看)、羽野 尚華(看)、石川 愛菜(看)、鈴木真由美(看) 川波 詩絵(技)、黒木 勝仁(技)、花野 絵美(技)
事務局	真矢 正代(看)
書記	立分 恵梨(事)

●主な議題

- ・委員会内での専門分野における勉強会を開催
- ・褥瘡発生表を元に先月新たに発生した患者の報告、発生率、保有率、褥瘡ハイリスク患者ケア加算の統計発表
- ・症例報告
- ・新規情報の提供
- ・褥瘡対策研修会の運営
- ・褥瘡予防に必要な物品の管理

● 手術室運営委員会

●開催頻度 1回/2ヶ月

●構成メンバー

委員長	渡邊 隆郁(手術部部長)
委員	崎村 陸(診)、一倉 晴彦(診)、当間 宏樹(診)、下澤 浩基(診)、香取 清(診)、片岡 恵子(診) 下釜 里美(看)、松本真知子(看)、吉川 清美(看)、穴井 祐介(看)、稲富 実婦(看)、東田加奈子(看) 伊津野 瞳(看)、加藤 致(技)、松浦 修平(技)、小嶋 千恵(技)、西園 麗音(技)、大村 昭博(事) 宮園 江美(事)
事務局	藤川 暢子(看)
書記	宮園 江美(事)

●主な議題

- ・手術件数、麻酔科依頼手術件数報告
- ・インシデント、アクシデント報告
- ・その他……手術室運営基準・マニュアル改訂報告

● 検査運営委員会

●開催頻度 1回/月

●構成メンバー

委員長	赤塚 裕(循環器科主任部長)
委員	河野 真司(診)、林 真(診)、小松 潔(診)、奥島 一洋(診)、野村 博之(診)、金子 浩子(看) 下釜 里美(看)、阿部 健吾(技)、加藤 致(技)、吉武 靖展(技)、赤司 萌(技)、北御門智之(事) 平城 浩代(事)
事務局	和佐野智美(技)
書記	中小川 隆(技)

●主な議題

- ・膠質反応 (ZTT, TTT) のオーダー削除について
- ・H29年度九州臨床検査精度管理研究会 精度管理調査報告
- ・H29年度日臨技 臨床検査精度管理調査 結果報告
- ・H29年度全国労働衛生団体連合会 精度管理調査 結果報告
- ・リンパ球サブセット検査 院内測定について
- ・アデノウイルス抗原定性検査 院内検査開始
- ・アデノウイルス抗原定性検査 尿での自費検査開始
- ・超音波検査科及び救急外来からのお願い
- ・可溶性インターロイキン - 2 レセプターの院内化について
- ・時間外心電図判読のため医師個人の ipad への転送
- ・CT、MRI 検査説明書及び同意書の書式変更
- ・検査結果表記の変更案提示
- ・腹部 MRI 用陰性造影剤 (ボーステル) の服用開始
- ・医療法改正に伴う臨床検査科 新体制の承認
- ・異常値やパニック値の取り扱いについて

放射線障害予防委員会

●開催頻度 2回/年

●構成メンバー

委員長	寺嶋 廣美(放射線科顧問)
委員	奥島 一洋(診)、大野 聡子(看)、阿部 健吾(技)、中小川 隆(技)、松島 毅(技)、岩本 博義(技) 大津 宏仁(技)、生田 康明(技)、早田 俊一(事)
事務局	福山 幸秀(技)
書記	西 弘樹(事)

●主な議題

第1回

- I) 議事録確認
- II) 報告事項(平成30年度上半期)
 1. 業務従事者及び診療従事者の登録について
 2. 教育訓練実施報告について
 3. 平成30年度健康診断受診状況について
 4. 業務従事者の個人被ばく線量測定結果と評価について
 5. 放射線医療機器等の新設・更新・移転及び管理区域廃止について
 6. その他
- III) 議題
 1. 平成30年度下半期教育訓練スケジュールについて
 2. 法令改正に伴う予防規程の変更について
 3. 新規放射線取扱主任者の選任について
 4. 立ち入り検査、定期確認・定期検査の準備について
 5. マネジメント層の委員会メンバー参加について
 6. 電離放射線健診の採血について
 7. その他
- IV) 院内巡視(放射線使用施設)

第2回

- I) 議事録確認
- II) 報告事項(平成30年度下半期)
 1. 業務従事者及び診療従事者の登録について
 2. 教育訓練実施報告について
 3. 平成31年度健康診断受診状況について
 4. 業務従事者の個人被ばく線量測定結果と評価について
 5. 放射線医療機器等の新設・更新・移転及び管理区域廃止について
 6. その他
- III) 議題
 1. 放射線障害予防委員会組織改編について
 2. 放射線取扱主任者解任について
 3. 障害予防規程関連(進捗報告等)
 4. 定期確認・定期検査の準備について
 5. 新入社医師オリエンテーションについて
 6. 院内教育及び一時立入者の教育訓練について(新入職員向け)
 7. 認定看護師取得時の看護師不在について
 8. その他
- IV) 院内巡視(放射線使用施設)

DPC委員会

●開催頻度 1回/月

●構成メンバー

委員長	江口 徹(副院長)
委員	林 真(診)、野田佳代子(看)、久保田景子(技)、北御門智之(事)、隅田 幸恵(事)、村上 あい(事)
事務局	長峰麻衣子(事)
書記	平原 俊吾(事)

●主な議題

- ・部位不明・詳細不明コード、未コード化傷病名使用率報告
- ・コーディング検討
- ・DPC コーディングカンファレンスの開催・報告
- ・医療機関係数の報告
- ・DPC 影響調査に係わる報告

● 薬事運営委員会

●開催頻度 1回/月

●構成メンバー

委員長	赤塚 裕 (循環器科主任部長)
委員	江口 徹 (診)、林 真 (診)、廣田伊千夫 (診)、崎村 陸 (診)、上村 智彦 (診)、宮崎 薫 (診) 柳迫 昌美 (看)、大野 聡子 (看)、横田 宜子 (看)、阿部 健吾 (技)、栗崎 淳子 (技)、田邊 順子 (技) 藤原 勝 (事)、川上 優 (事)、岡本真由香 (事)
事務局	河野 祐子 (技)
書記	久保田景子 (技)
下部組織	医薬品安全管理委員会
委員長	赤塚 裕 (循環器科主任部長)
委員	江口 徹 (診)、林 真 (診)、廣田伊千夫 (診)、崎村 陸 (診)、上村 智彦 (診)、宮崎 薫 (診) 柳迫 昌美 (看)、大野 聡子 (看)、横田 宜子 (看)、阿部 健吾 (技)、河野 祐子 (技)、栗崎 淳子 (技) 田邊 順子 (技)、藤原 勝 (事)、川上 優 (事)、岡本真由香 (事)
書記	久保田景子 (技)
下部組織	がん化学療法委員会
委員長	上村 智彦 (血液内科部長)
委員	江口 徹 (診)、横溝 晃 (診)、原口 和大 (診)、青木 孝友 (診)、小原井朋成 (診)、高木 陽一 (診) 川崎美智子 (看)、横田 宜子 (看)、豊永万紀子 (看)、孝橋 摩耶 (看)、甲斐田宣子 (看)、永田 令子 (看) 井手みどり (看)、長田佐緒里 (看)、川上 奈菜 (看)、古井亜沙美 (看)、大野 真季 (看)、田邊 順子 (技) 若松由紀子 (技)、市丸沙和子 (技)、隅田 幸恵 (事)
書記	久保田景子 (技)

●主な議題

- ・ 医薬品の採否検討
- ・ ジェネリック医薬品の採否検討
- ・ 仮採用薬剤の報告
- ・ 院内副作用報告
- ・ 医薬品・医療機器安全性情報報告
- ・ 抗癌剤情報
- ・ 抗癌剤プロトコールシステムについて
- ・ 新規プロトコールについて
- ・ 化学療法に関する副作用報告
- ・ 外来化学療法室運用状況
- ・ 癌化学療法認定看護師活動報告

● 輸血運営委員会

●開催頻度 1回/2ヶ月

●構成メンバー

委員長	上村 智彦 (血液内科部長)
委員	平 祐二 (診)、青木 孝友 (診)、廣田 伊千夫 (診)、野口 賢一 (診)、松本真知子 (看)、横田 宜子 (看) 大島 誠吾 (看)、武次 玲果 (看)、矢羽田こずえ (看)、四ヶ所里穂 (技)、隅田 幸恵 (事)
事務局	福山 了平 (技)
書記	城成 加奈 (技)
臨時メンバー	下澤 浩基 (診)、崎村 陸 (診)、宮崎 薫 (診)、津田 知輝 (診)

●主な議題

- ・ 輸血検査診療報酬改訂内容について
- ・ 血液製剤使用の前年度比較
- ・ 血漿分画製剤同意書変更について
- ・ 輸血管理料・輸血適正使用加算について
- ・ 宗教的輸血拒否に関するガイドラインについて
- ・ 血液センターにおける血液製剤副作用の報告
- ・ 2016年血液センターによる血液安全監視報告についての報告
- ・ 輸血副作用院外事例の報告
- ・ 自己血貯血パックの選定について
- ・ 輸血後感染症検査について
- ・ 輸血後副作用報告
- ・ 血液製剤使用状況

● リハビリテーション委員会

●開催頻度 3回/年(平成30年7月、11月、平成31年3月)

●構成メンバー

委員長	庄野 禎久(脳神経外科部長)
委員	永野 賢(診)、高木 陽一(診)、片岡 伸(診)、小原井朋成(診)、野間 秀哉(診)、原 律子(診) 野田佳代子(看)、谷村 明美(看)、田代 信司(事)
事務局	烏山 邦敏(技)
書記	石橋 誠史(技)

●主な議題

- ・リハビリ科実績報告
- ・がんリハビリ報告
- ・心臓リハビリ報告
- ・糖尿病教室進捗報告
- ・地域包括ケア病棟実績報告など

● 緩和ケア委員会

●開催頻度 1回/月

●構成メンバー

委員長	小原井朋成(乳腺内分泌外科部長)
委員	江口 徹(診)、野口 賢一(診)、志賀健一郎(診)、瀧澤 延喜(診)、浦田 真吾(診)、穴井 諭(診) 栗秋佐智恵(看)、染矢麻衣子(看)、横田 亜水(看)、烏山 邦敏(技)、田邊 順子(技)、河北 俊和(技) 小野 敬太(事)、城間 夏美(事)
事務局	徳永 真弓(看)
書記	田代 信司(事)

●主な議題

- ・特定領域がん診療連携拠点病院申請への取り組み
- ・新規薬剤紹介
- ・緩和ケア研修会運営について
- ・緩和ケアラウンドについて
- ・症例報告

● ME 機器・医材管理委員会

●開催頻度 1 回/月

●構成メンバー

委員長	山本 光孝 (心臓カテーテル室長)
委員	野村 博之 (診)、金子 浩子 (看)、稲富 実帰 (看)、八波 隼 (看)、秋元 夕香 (看)、竹谷 剛 (技) 川上 優 (事)
事務局	嶽本 洋 (技)
書記	北御門智之 (事)

●主な議題

- ・サンプリング依頼
テガダーム CHG ドレッシング、セーフタッチエクステンションチューブ、セーフタッチプラグ、アンシルク・プロ J、吸引器 vica
- ・新規採用
クリアパワー、ワンタッチベリオビュー、フリースタイルリブレリーダー、高周波止血鉗子 RAICHO、EBL デバイス、サージカルスキンマーカ、SpaceOAR
- ・サンプリング結果報告
- ・ME 機器修理報告

平成30年度 院外研修生受入状況

10

部門	部署	期間	研修生所属	人数	目的
看護部	病棟・外来	2018/3/28～29	産業医科大学など計6校	11	インターンシップ(職場体験)
		2018/5/15～24	九州大学医学部保健学科	2	地域看護学実習
		2018/6/19～7/4	日本赤十字九州国際看護大学	3	看護学臨時実習
		2018/7/19～20	麻生看護大学校	2	地域看護学実習
		2018/7/24～25		2	
		2018/7/25～26	九州看護福祉大学など計8校	13	インターンシップ(職場体験)
		2018/8/23～24	博多中学校	3	職場体験
		2018/8/29	福岡県看護協会	2	福祉領域の実習
		2018/9/3～6	久留米大学認定看護師教育センター	2	在宅看護実習
		2018/9/14	福岡県看護協会	2	訪問看護実習
		2018/9/18～10/4	国際医療福祉大学	10	成人看護実習Ⅰ
		2018/10/1～19	博多高等学校	8	成人看護学Ⅱ・統合と実践
		2018/11/29～30	専門学校 麻生大学校	6	成人看護実習
		2018/12/10～21	福岡大学医学部看護学科	2	地域看護学実習
		2019/1/11～2/8	国際医療福祉大学	2	感染管理臨地実習
		2019/1/21～2/5	日本赤十字九州国際看護大学	8	慢性看護実習
		2019/2/19～28	九州大学医学部保健学科	2	地域看護学実習
技術部	臨床検査科	2018/6/4～29	純真学園大学	1	臨地実習
		2018/7/2～27		2	臨地実習
		2018/9/13	国際医療福祉大学	4	病院見学
		2018/9/14		3	病院見学
		2018/9/18	熊本大学医学部保健学科	1	病院見学
			国際医療福祉大学	1	病院見学
			熊本保健科学大学	1	病院見学
		2018/9/25	純真学園大学	1	病院見学
			九州医学技術専門学校	1	病院見学
		2018/10/19	九州大学医学部保健学科	1	病院見学
	2018/11/26～12/21	純真学園大学	2	臨地実習	
	2019/1/7～2/1		2	臨地実習	
	リハビリテーション科	2018/4/9～6/2	金城大学	1	理学療法臨床実習
		2018/4/9～5/30	畿央大学	1	理学療法臨床実習
2018/7/23～9/21		麻生リハビリテーション大学校	1	理学療法臨床実習	
2018/7/23～9/21		福岡国際医療福祉学院	1	理学療法臨床実習	
2018/11/5～12/7		金城大学	1	理学療法評価実習	
2019/2/4～10		麻生リハビリテーション大学校	1	理学療法見学実習	
			1	理学療法評価実習	
2019/1/28～2/20		福岡国際医療福祉学院	1	理学療法評価実習	
2019/2/4～23	麻生リハビリテーション大学校	1	言語聴覚療法評価実習		

部門	部署	期間	研修生所属	人数	目的
技術部	薬剤科	2018/8/21 ~ 10/19	福岡大学	1	長期実務実習
		2018/9/5	九州大学	3	早期体験学習
	放射線科	2018/5/14 ~ 7/6	純真学園大学	2	臨床実習
		2018/9/25 ~ 12/14	帝京大学	2	臨床実習
		2018/10/29 ~ 11/22	純真学園大学	1	臨床実習
		2019/1/7 ~ 18		2	臨床実習
	臨床工学科	2018/10/1 ~ 26	博多メディカル専門学校	2	血液浄化業務
	栄養科	2018/6/25 ~ 30	精華女子短期大学	3	校外実習
		2019/2/4 ~ 23	中村学園大学	4	臨地実習
		2019/3/4 ~ 15	九州女子大学	2	臨地実習
2019/3/4 ~ 15		西南女学院大学	2	臨地実習	
事務部	各課	2018/6/11 ~ 7/6	福岡医療秘書福祉専門学校	1	病院実習
		2018/7/30 ~ 8/10	大原保育医療福祉専門学校福岡校	1	病院実習
		2018/8/13 ~ 25	広島国際大学	1	病院実習
		2018/8/13 ~ 28	保健医療経営大学	1	病院実習
		2018/9/18 ~ 28	F・C フチガミ医療福祉専門学校	1	診療情報管理実習
		2018/6/11 ~ 7/6	福岡医療秘書福祉専門学校	1	病院実習
		2019/2/12 ~ 3/8	ILP お茶の水医療福祉専門学校	2	診療情報管理実習
			F・C フチガミ医療福祉専門学校	1	診療情報管理実習
		2019/2/18 ~ 22	医療ビジネス専門学校	2	病院実習
		2019/3/11 ~ 22	ILP お茶の水医療福祉専門学校	2	診療情報管理実習

香椎原病院

香椎原病院 院長 寺田 憲司

2025年には5人に1人が75歳以上という超高齢社会を迎えます。一方で労働人口の減少や家族介護力低下といった社会変化を背景に医療・介護保険制度は見直され続けています。当院では平成30年7月から医療療養病棟の一部を介護医療院へ変換しました。これは日常的な医療管理と介護を必要とする患者さんに介護施設としての場を提供する制度として発足しました。すなわち在宅復帰や施設入所が困難な方への医療機能を内包した施設系サービスです。



2025年問題を解決するために、「可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで継続できる」地域包括ケアシステム構築が厚生労働省により推進されています。当院は地域に開かれた健康づくりセンターを目指して、体力向上支援センターや地域活動連携室を中心に健康づくりの実践指導を地域の皆様に院内外でおこなっています。また加齢などにより心身機能が低下された方々には、健康管理・身体機能向上・生活支援を目的に介護支援専門員（ケアマネジャー）・訪問看護・訪問リハビリ・通所リハビリを充実させて、快適な在宅生活を支援させて頂いております。一方、入院を必要とされる方々には、早期の入院治療とリハビリをおこない、適切な栄養管理の下で身体機能の回復と安全な在宅生活に向けた退院支援をおこなっています。特に転倒による骨折や脳血管障害などの重篤な疾患を起こされた方々には、回復期病棟での集中的なりハビリを通して以前の生活に戻って頂けますように努めております。

「手の暖かさの伝わる病院」を基本理念として、地域高齢者が心豊かに安心して日常生活を送って頂けますように、職員一同やりがいを持って皆様一人一人の生命の尊厳を大切にしながら日々研鑽いたしております。

患者動態指標

	平成 29 年度	平成 30 年度
入院患者数（人/日）	205	203
医療療養病棟	167	114
回復期リハ病棟	38.0	37.4
介護医療院	平成 30 年 7 月開設	54
平均在院日数（日）	144	164
医療療養病棟	167	228
回復期リハ病棟	88.0	88.7
介護医療院	平成 30 年 7 月開設	300
通所リハ 延べ利用者数(人)	8,740 (39人/日)	10,497 (43人/日)
体力向上支援センター 延べ利用者数(人)	6,866 (28人/日)	6,968 (29人/日)



編集後記

2019年4月30日、天皇陛下が退位され、5月1日、皇太子さまが即位・改元されることとなり、平成も最後の年となりました。平成30年間の国内外を振り返りますと、元年・天安門事件、3年・湾岸戦争、7年・阪神淡路大震災、地下鉄サリン事件、10年・長野オリンピック、13年・米同時多発テロ事件、14年・ワールドカップ日韓大会、小泉首相北朝鮮電撃訪問、20年・後期高齢者医療制度開始、リーマンショック、21年・民主党政権誕生、23年・東日本大震災、28年・熊本地震、オバマ大統領（現職米大統領として初）の広島訪問、30年・史上初の米朝首脳会談などの主な出来事に加えて、国内では、ここ数年度重なる、地震・豪雨などにより、多くの方が犠牲となり自然災害の恐ろしさを認識させられた時代でもありました。又、スマートフォンの誕生、インターネットの普及により、私達のライフスタイルも大きく変化しました。次の新しい時代は、今まで以上に変化が大きくなると思われませんが、平成同様に戦争がない時代である事を願っています。

私達職員は、どのような時代であろうと、常に「恕」（思いやりの心）を忘れることなく、患者さん、地域医療に貢献することが使命であることを肝に銘じて役割を果たしていきたいと考えております。

最後に、平成30年度の年報発刊にあたり、ご協力頂いた皆様に心よりお礼申し上げます。

編集後記 医療連携課 加藤宗一郎

広報・連携委員会委員長 原 直彦
事務局 広報・連携委員会
製作 企画情報室